

リアホナ



**救い主からもたらされる
平安と喜びの贈り物, 18ページ**

霧の中から抜け出し、
主の光の中へ, 42ページ

ニーファイが父とわたしを
変えてくれました, 56ページ

ウークトドルフ姉妹の
クリスマスの思い出, 66ページ



「主の降誕」 フィリス・ラッチ画

マタイによる福音書第2章9節から11節を読むと、博士たちが幼いイエス・キリストに贈り物をしたこと、また博士たちはイエスがお生まれになったときに現れた新しい星に導かれたことが分かります。

「彼らは王の言うことを聞いて出かけると、見よ、彼らが東方で見た星が、彼らより先に進んで、幼な子のいる所まで行き、その上に

とどまった。

彼らはその星を見て、非常な喜びにあふれた。

そして、家にはいって、母マリヤのそばにいる幼な子に会い、ひれもつひく伏して拝み、また、宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬などの贈り物をささげた。」

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
感謝するという選択
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
幅広い活動

特集

- 18 救い主が生きておられると
知ることのできる平安と喜び
ラッセル・M・ネルソン長老
皆さんが生ける神の御子である
主を愛して主の戒めを守るなら、
主は皆さんを愛し、高く上げ、皆
さんに御自身を現されるでしょう。
- 24 神殿への道
チャド・E・ファレス
それぞれ歩む道は違っても、義に
かなった道はどれも神殿に至るこ
とをウクライナの末日聖徒は見い
だしています。
- 28 機会を得るための鍵^{かぎ}——
永代教育基金 10 周年を祝う
レベッカ・アトキン
2001年に発表された永代教育基
金は、これまでに何千人もの教会
員の生活を祝福してきました。

- 34 失われたものを見いだす
アダム・C・オルソン
ある夫婦は日々の決断を永遠の
目的と結びつけました。

シリーズ

- 8 小さな、簡単なこと
- 11 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
音程は外れても熱烈に
ジャニール・B・フリーマン

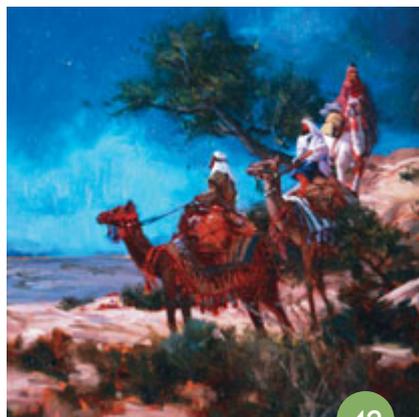
表紙

表紙——フォトイラストレーション/
マシュー・ライアー。
裏表紙——「イエスの降誕」
カール・ヘンリック・ブロック画、
デンマーク・ヒレレズの
フレズレクスボー城内にある
国立歴史美術館の許可を得て掲載

- 12 教会での奉仕——
独身会員としての奉仕
ジュリー・バーデット
- 14 キリストについて語る——
あらゆる「もしも」への答え
マイケル・D・ウッドベリー
- 16 福音クラシック——
主から授けられた教え
マービン・J・アシュトン長老
- 38 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——世の光
ジェフ・S・マッキントッシュ

ウクライナ・キエフ神殿 24





42

42 わたしたちに対する指導者の言葉
—— 急ぎ行きて拝まずや
パトリック・キアロン長老



こんげつごう なか かく
今月号の中に隠れている
リアホナを探しましょう。
ヒント——
き した おく もの
木の下にある贈り物

46 質疑応答

「どうしたら将来を楽観的に見ることができのでしょうか。」

48 ポスター——

あなたは独りではありません

50 確かな証

カール・B・プラット長老
モロナイの約束はあなたに当てはまりますか。

52 これがあなたがたへのしるしである

ホイットニー・ヒンクレー
イエス・キリストの降誕についての預言は、奇跡的な状況の中でどのように成就したのでしょうか。

55 心のこもった贈り物

幼子キリストに贈られた黄金、乳香、没薬にはどのような意味が込められていたのでしょうか。

56 変わらなければならないのは家族の方です

フランシスコ・ハビエル・ララ・エルナンデス
家族の中で福音を受け入れたのはわたし一人でした。家族の生き方が福音の原則と一致しないときにどうすればよいか知る必要がありました。

58 ジョセフ兄弟をご紹介します

預言者ジョセフ・スミスについてあなたが知らないかもしれない幾つかのこと。



50



72

59 とくべつな しょうにん——

わたしは どのように
すくいぬしに したがつうことが
できのでしょうか
クエンティン・L・クックちょうろう

60 そういう言葉

アンジー・ベルグストローム・ミラー
友だちが悪い言葉を使ったときに、シェルビーには何ができて
しょうか。

62 わたしたちのページ

63 しんでんカード

64 しょうきょうかいを かていでも
——せいぶんは すくいぬしの
こうたんと さいりんについて
教えてくれます
ジェニファー・マディ

66 クリスマスツリー

ハリエット・R・ウークトルフ
わたしが子供のころドイツにいた
ときのクリスマスのおもいで

68 ぼくの伝道資金

スペンサー・S
今日から伝道資金を貯金し始める
ことができます。

69 信仰箇条

13 条から成るわたしたちの信条

70 ちいさな おともだちへ

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)

普通号/大会号 120円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2011 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

December 2011 Vol. 35 No. 12. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]



成人

「永代教育基金」は、10年前にゴードン・B・ヒンクレイ大管長が発表してから今まで良い成果を上げてきました(28ページ参照)。pef.lds.orgにアクセスすれば、もっと多くの成功談を読むことができます。さらに、永代教育基金の貸し付けを受ける方法や、献金する方法を知ることができます。

青少年

ウクライナ・キエフ神殿によって、どのように家族が強められているか読んでください(24ページ参照)。そして、この神殿が奉獻される前に行われた「青少年による文化の祭典」を通して、それに参加した青少年の証がどのように強められたかを見てください。靈感あふれる映像を youth.lds.org で見てください(「Kyiv Ukraine Temple」[ウクライナ・キエフ神殿]で検索してください)。

子ども

64, 66, 70 ページのクリスマスのお話を読んでください。それからルカによる福音書第2章を基にして作った最初のクリスマスのビデオを見てください。lds.org/new-testament-videosにアクセスしてください。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

証	41, 42, 52, 55,
癒し	4, 14, 66, 70, 72, 73
イエス・キリスト	4, 14, 16, 18, 42, 48, 52, 55, 59, 64, 70, 80
癒し	14
永代教育基金	28
教え	11, 16
音楽	11
改宗・改心	49, 50, 56
家族	11, 34, 56
活発化	34
感謝	4
希望	42, 46
教育	28
教会歴史	8
悔い改め	24, 34, 42
クリスマス	4, 9, 12, 18, 38, 39, 40,
祝福	4
信仰	69
神殿活動	24, 63
スピーチ	60
スミス, ジョセフ	58
聖霊	50
態度	46
伝道活動	39, 49, 50, 56, 68
標準	60
扶助協会	7
奉仕	4, 7, 12, 28, 38, 39, 40, 41, 68
召し	12
模範	7, 11, 60
預言者	52, 58
ロレンゾ・スノー	10

大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

感謝するという選択

天の御父はわたしたちにすべてのことについて感謝するように命じ(1テサロニケ5:18参照),受けている祝福に感謝するように求めておられます(教義と聖約46:32参照)。わたしたちは、神の戒めはすべてわたしたちを幸福にするために与えられることを知っており、戒めを破ると不幸を招くことも知っています。

ですから幸福になり、不幸を避けるには、感謝の心を持たなければなりません。わたしたちは生活の中で感謝と幸福の関係を目にしています。だれもが感謝したいと思っていますが、人生の試練を経験する中で常にすべてのことについて感謝するのは容易なことではありません。人生では時に病気や失望、愛する人の死を経験します。悲しみに暮れていると、受けている祝福に気づくことも、神が将来受けようと用意してくださっている祝福に感謝することも難しい場合があります。

祝福を数え上げるには努力が必要です。わたしたちは良いものを当たり前のように思ってしまうがちだからです。住居や食物、友人や家族の温かさを失ったときに、それがあることにどれほど感謝すべきであったかを悟るのです。

何よりも、わたしたちが受けている最も大いなる賜物たまものに対して、十分に感謝の念を抱くのが難しいときがあります。すなわち、イエス・キリストの降誕しよくざい、贖罪、復活の約束、家族とともに永遠の命を享受する機会、福音と神権かきおよびその鍵の回復に対して、なかなか十分に感謝の念を抱けないことがあるのです。それらの祝福が自分や愛する人たちにとってどのような意味があるのかは、聖霊の助けがあって初めて心で感じ始めることができます。そしてそのとき初めて、すべてのことに感謝したいと願うことができ、感謝を忘れて神を怒らせることのないようにすることができるのです。

試練のただ中にあるときでも受けている祝福にはっきり

と気づけるように、神が聖霊の力によって助けをくださるよう祈り求めなければなりません。神は御霊みたまの力によって、わたしたちが当たり前になっている祝福に気づき、感謝できるように助けることがおできになります。わたしにとって最も役立ってきたのは、神にこう祈り求めることです。「どうかわたしがあなたに代わって助けることのできる人のもとにわたしをお導きください。」わたしは神がだれかに祝福を授けるのを手伝うことを通して、自分自身が受けている祝福をよりしっかりと理解する機会を得てきました。

次のような形で祈りがこたえられたことがありました。ある夫婦に病院へ招かれたときのことで。面識のない夫婦でした。病院に行くと、わたしの片手に収まるほど小さな赤ん坊がいました。その子は生後わずか数週間のうちに、何度も手術を受けていました。両親は医者から、その幼い神の子供の命を維持するには心臓と肺にさらに難しい手術が必要だと告げられていました。

わたしは両親に頼まれて、赤ん坊に神権の祝福を授けました。祝福には、寿命が延ばされるという約束が含まれていました。わたしは祝福を授けただけでなく、自分自身も、より深く感謝する心という祝福を授けました。

御父の助けを受けて、わたしたちは皆、もっと感謝の念を抱くという選択ができます。どのような状況にあっても、受けている祝福にもっとはっきりと気づけるように御父に助けを求めることができます。あの日わたしは、自分の心臓と肺が働いているという奇跡にかつてなかったほど感謝しました。帰り道、自分の子供たちに与えられている祝福に感謝しました。それらの祝福が神の優しさ、彼らの周囲の善良な人々の優しさによってもたらされている奇跡であることがはっきりと分かりました。

そして何より、あの心配そうな両親の人生とわたしの人生



父なる神は御子を与えてくださり、イエス・キリストはわたしたちに、あらゆる賜物の中で最も大いなるものである贖罪を与えてくださいました。

に贖罪の効力が及んでいる証拠が示されたことに感謝しました。つらい試練の中にあっても、彼らの顔に希望とキリストの純粋な愛が輝いているのが見て取れました。贖罪によって希望と愛を感じられるということを、わたしははっきりと感じました。もし神に願うなら、皆さんもそのことをはっきりと感じ取ることができます。

特に救い主の降誕を祝うこの季節に、わたしたちは皆、感謝の祈りをささげ、御父に代わって人に仕えるために導きを求めるという選択ができます。父なる神は御子を与えてくださり、イエス・キリストはわたしたちに、あらゆる賜物の中で最も大いなるものである贖罪を与えてくださいました（教義と聖約 14:7 参照）。

感謝の祈りをささげることで、これらの祝福や受けているほかのすべての祝福の大きさに気づき、より深く感謝する心という賜物を授かることができます。■

このメッセージから教える

経験や祝福を書き留めると、それらを覚えておくのに役立ち、後で振り返ることができます。あなたが教える人たちに、自分が感謝しているものを書き留めてもらうとよいでしょう。そうすることで、過去に受けてきた祝福を思い出し、現在受けている祝福に気づき、将来の祝福を待ち望むのを助けることができるでしょう。

また、アイリング管長の模範ならに倣い、自分が助けたり仕えたりできる人のもとに導いてくださるよう天の御父に求めるように、あなたが教える人たちに勧めるとよいでしょう。

感謝にチャレンジ

ジョン・ヒルトン3世, アンソニー・スウェット

祝 福を数え上げることに話だけで終わらずに、実行しましょう。感謝していることを100個書き出しましょう。多すぎるように思えるなら、次のことを試してみてください。

1. ありがたく思う身体の能力を10個書きます。
2. ありがたく思う持ち物を10個書きます。
3. 生きている人で感謝している人を10人書きます。
4. 亡くなった人で感謝している人を10人書きます。
5. 自然についてありがたく思うことを10個書きます。

6. 今日についてありがたく思うことを10個書きます。
7. ありがたく思う地上の場所を10か所書きます。
8. ありがたく思う現代の発明を10個書きます。
9. ありがたく思う食べ物を10個書きます。
10. 福音についてありがたく思うことを10個書きます。

このように書き出してみると、100個挙げても神から頂いているすべてのもののほんの一部にすぎないことが分かります。

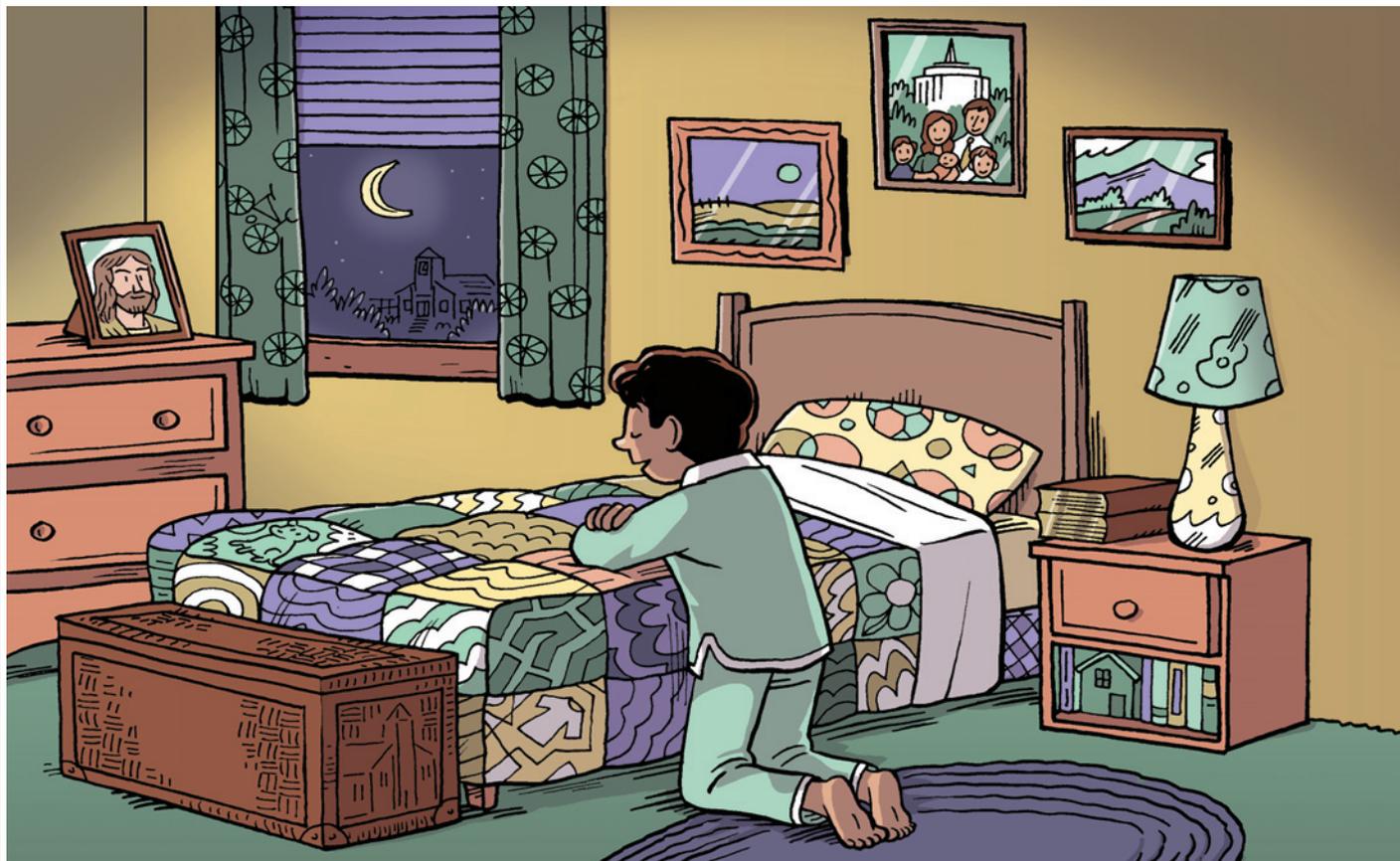
こども

しゅくふくに 気が つけるように たすけてください

フェリペは 天のお父さまに、いただいているしゅくふくに 気が つけるように たすけてくださいとおねがいでいます。フェリペを 手つだってあげましょう。フェリペが かんしゃ できるものを 見つけて 丸をつけましょう。絵の中に つぎのものが かく

されていますから、しっかり 見つけてくださいね。家、バナナ、犬、教会、学校、ふく、じてんしゃ、ギター、ボール、花。

あなたが かんしゃしている ものを 書き出して、かぞくの 人たちに 教えてあげると よいでしょう。





信仰・家族・扶助

幅広い活動

この資料を学び、
必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、
あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

主や主の教会、家族、そして地域社会は、義にかなった女性の影響力を必要としています。実際に、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は次のように教えています。「主と聖約を交わした教会のすべての姉妹は、人々の救いの手助けをなし、世の女性を導き、シオンの家庭を強め、神の王国を築くようにとの神聖な命令を神から受けています。」¹

個そのような高い目標が自分に達成できるだろうかと思う姉妹がいるかもしれません。しかし、第2代中央扶助協会会長であるエライザ・R・スノーも説明しているように、「孤立していて、力の及ぶ範囲が狭いために地上に神の王国を築く手助けがあまりできない姉妹などいません。」² スノー姉妹はまた、扶助協会が組織されたのは「あらゆる気高い良い業を達成するため」であるとも教えています。³

扶助協会に参加する姉妹はそれぞれ、信仰を築き、家族と家庭を強め、家庭の中で、そして世界中で奉仕する機会を得、それらを通して自分の影響力の及ぶ範囲を広げていきます。そして幸いにも、わたしたちが個人として、また扶助協会として行う取り組みは大規模で人々を圧倒するほどのものである必要はありません。ただし、思慮深く着実に行うべきです。毎日の個人や家族の祈り、毎日の聖文研究、そして堅実に教会の召しを尊んで大いなるものとするなど義にかなった行いは、信仰を増し加え、主の王国を築く助けとなるでしょう。

このような一見ひそかに行っていることが違いを生むのだろうか疑問に思う姉妹たちに対して、バラード長老は次のように断言しています。「真理と義を擁護する姉妹は皆、悪の勢力を弱めています。家族を強め、守る姉妹は皆、神の業を行っています。神に従う女性として生活する姉妹は皆、人々が従うべき旗印となり、義の影響力という種をまいているのです。そしてその種は、数十年後に刈り取られることでしょう。」⁴

何ができる でしょうか？

1. 訪問先の姉妹が義の影響を及ぼす力があることに気づき、その力を発揮できるように、どのような助けができるでしょうか。
2. ほかに人に祝福をもたらすために自分の賜物や才能をどのように用いることができるでしょうか。

聖文から――

- 1 コリント 12:4 - 18;
1 テモテ 6:18 - 19;
モーサヤ 4:27;
信仰簡条 1:13

詳しくは
www.reliefsociety.lds.org [英語] を
ご覧ください。

わたしたちの歴史から

ノーブーで扶助協会が組織されたときに書記として奉仕していたエライザ・R・スノーは、ブリガム・ヤング大管長(1801 - 1877年)から、各地の教会を回ってビショップがワードで扶助協会を組織するのを助けるように召されました。

スノー姉妹は次のように教えています。「もしイスラエルの娘たちや母親たちの中に、現在、自分の活動範囲は限られているとほんの少しでも感じている人がいるなら、これからは非常に豊かに授かっている善を行う力と能力を発揮する機会を十分に見いだすことでしょう。……ヤング大管長によって、幅広く活動し人の役に立つための門戸が開かれたのです。」⁵

注

1. M・ラッセル・バラード「義にかなった女性たち」「リアホナ」2002年12月号, 39
2. エライザ・R・スノー, "An Address," *Woman's Exponent*, 1873年9月15日付, 62
3. エライザ・R・スノー, "Female Relief Society," *Deseret News*, 1868年4月22日付, 81
4. M・ラッセル・バラード「リアホナ」2002年12月号, 39
5. エライザ・R・スノー, *Deseret News*, 1868年4月22日付, 81



小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」
(アルマ 37:6)

世界各地の教会歴史



メキシコ

最初の末日聖徒の宣教師がメキシコに到着したのは1875年のことでした。宣教師は二つのグループに分かれました。一つのグループはメキシコ全土の有力な指導者にモルモン書のスペイン語抜粋版を送り、多くの人々を教えました。改宗者は得られませんでした。もう一つのグループは、ソ

ノラ州エルモシージョにおいて、メキシコで最初の教会員となる5人にバプテスマを授けました。それから4年後、1875年に教会資料を受け取っていた指導者の一人、メキシコシティのプロティノー・C・ロダカナティは、自分自身とほかの人々に対するバプテスマの執行を要請しました。1885年には、スペイン語訳のモルモン書が完成しました。

何年にもわたって、この国は政治的緊張に直面しましたが、初期の会員は忠実であり続けました。1961年12月3日に、教会で最

初のスペイン語使用ステークとなるメキシコステークが組織されました。教会は幾つかの学校を開きました。1963年にメキシコシティで設立され、今もなお授業が行われているベネメリト・デ・ラス・アメリカスもその一つです。

メキシコで最初に建築された神殿は、メキシコシティにあり、1983年に奉献されました。2000年には、メキシコで8つの神殿が奉献されました。

2004年、メキシコは合衆国以外で100万人の会員数を有する最初の国となりました。



1963年11月4日、ベネメリト・デ・ラス・アメリカスの鎮入れ式に参加する教会指導者。



メキシコの教会	
会員数	1,234,545
伝道部数	23
ステーク数	221
ワード/支部数	2,009
神殿数	儀式が執行されている神殿数 12 建設が発表されている神殿数 1

初期の開拓者のクリスマス

何 か月も続く厳しい冬は、ほとんどの開拓者にとって苦難の時期でした。クリスマスのプレゼントやお祝いに必要な物資も、無いに等しい状態が度々でした。それでも、初期の開拓者はくじけることなく、このクリスマスの季節に特別な思い出を作りました。開拓者の時代はどのようにクリスマスを祝ったのか、幾つかの記録を紹介しましょう。

最高に幸せなクリスマス

「〔ソルトレーク〕盆地での最初のクリスマスは土曜日でした。安息日にクリスマスを祝いました。皆でとりでの真ん中にあった旗竿の周りに集まりました。そこで集会を開きました。ほんとうにすばらしい集会でした。神を賛美する歌を歌いました。開会の祈りの輪に加わりました。その日の話者のことを今でも覚えています。感謝と励ましの言葉が語られ、悲観的な言葉は一言も発せられませんでした。人々は希望に満ち、心を弾ませていました。将来、自分たちの信仰が報われるという望みがあったからです。集会が終わると、至る所で握手が交わされました。喜びで涙を流す人もいました。その夜、子供たちはとりでの中のヤマモモのたき火の周りで遊びました。わたしたちは一緒に歌いました。『恐れず来たれ、聖徒 進み行けよ。』夕食には、ウサギの肉を煮込んだ料理と少しのパンを食べました。皆、おなががいっぱいになるまで食べました。そこには完全な平安と善意が満ちていました。生涯でその時ほど幸福なクリスマスを過ごしたことはありませんでした。」

ケイト・B・カーター編、*Our Pioneer Heritage*、全20巻(1958-1977年)、第14巻、198でブライアント・S・ヒンクレーにより引用、著者不明。

まあ、時がたつのは何て早いんでしょう

「16歳のある夜のこと、父が自分の子供たちとその家族、またごく近所の人々のためにクリスマスパーティーを開きました。皆で踊りました。兄たちが楽器を弾きました。父が10時にパーティーを終わらせるつもりでいることは分かっていました。予定どおり、父はスクエアダンスをしている真っ最中に楽

器の演奏をやめさせました。しかし、そんな父も知らないことがありました。兄たちがその夜、何度もわたしを時計の所まで持ち上げ、その度にわたしは時計を30分遅らせていたのです。ですから、パーティーが実際に終わったのは真夜中過ぎだったに違いありません。」

カーター、*Our Pioneer Heritage*、第15巻、199、クリスチャン・オルセン家族の記録より抜粋。

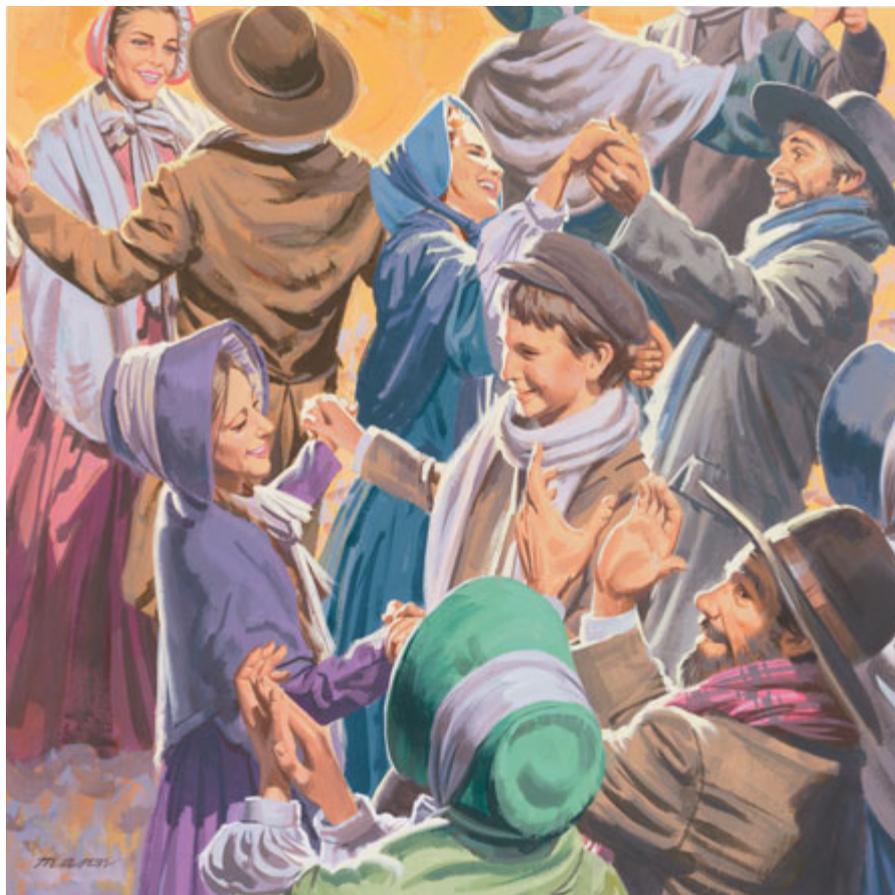
すてきな時間

「1849年のクリスマスの朝、子供たちが目を覚ましたとき、どこを探しても人形はありませんでした。小屋にはキャンディーもリングもありませんでした。それにもかかわらず、子供たちは両親も幸せでした。わずかながら食べ物があること、新しい家での暮らしの展望が日ごとに明るくなりつつあることを喜んでいました。たとえ子供たちに与える

人形やおもちゃがなくても、その日がクリスマスであるということを父親や母親たちは忘れませんでした。その日が終わるまで、彼らは皆、すてきな時間を過ごしました。

その晩彼らはジョン・ロウベリーの小屋で集会を開きました。そこは最初の集会が開かれた所でした。そこで彼らは、クリスマスの締めくくりとして、昔ながらのダンスをしました。こんなににぎやかな楽しいクリスマスの集いはかつてありませんでした。……しかし大きな問題がありました。音楽でした。どんな種類の楽器も見つけることができなかったのです。しかしサイラス・コールは口笛を吹くのがとても上手でした。彼が口笛でメロディーを奏で、陽気な開拓者たちは、そのメロディーに合わせて踊ったのです。」

ケイト・B・カーター編、*Treasures of Pioneer Heritage*、全6巻(1952-1957年)、第4巻、197-198、サラ・トルマン



語り継がれる偉大な生涯

ロレンゾ・スノー大管長(1814-1901年)



後に教会の第5代大管長となったロレンゾ・スノーは、姉のエライザに誘われてオハイオ州カートランドの預言者の塾で行われていたヘブライ語のクラスに参加するまで、バプテスマを受けることにほとんど関心がありませんでした。この塾にはジョセフ・スミスやその他の指導者が出席していました。ロレンゾはやがて福音に関心を持ち、1836年6月19日に教会員となりました。スノー長老は、イタリア、サンドウィッチ諸島(現在のハワイ)、イギリスで伝道しました。イギリスではビクトリア女王にモルモン書を贈呈しました。

スノー長老は人並み外れた賜物たまものに恵まれ、その賜物を使って主に仕えました。



スノー長老は祝福師の祝福の中で、高齢になるまで生きながらえるものの、肉体的な衰えを感じることはないという約束を受けました。スノー長老は、活力に満ちあふれ、使徒として、また預言者として、晩年まで精力的に働き続けました。また彼は神権を使って何人かの人々を死からよみがえらせた。

スノー大管長が預言者であったときに、ユタ州南部の末日聖徒は干ばつに苦しみました。ユタ州南部の町、セントジョージで行われた大会で話している最中に、スノー大管長は、その地域の聖徒に、じゆうぶん 什分の一を納めるならば、雨が降って豊かな収穫に恵まれるという約束をするよう靈感を受けました。会員は什分の一を納めましたが、数か月たっても雨は降りませんでした。スノー大管長は天の御父に雨を降らせてくださるよう嘆願しました。その後、次のように書かれた電報を受け取りました。「セントジョージに雨。」

詳しくは、フランシス・M・ギボンズ、*Lorenzo Snow: Spiritual Giant, Prophet of God* (1982年)をご覧ください。

上—ロレンゾ・スノーの肖像〔1865年ごろ〕。スノー大管長(中央)と大管長会顧問のジョージ・Q・キャンン(左)およびジョセフ・F・スミス(右)〔1900年〕。下—聖徒たちは什分の一を納めるようにというスノー大管長の勧告に従った後、雨が降り豊かな収穫に恵まれた。



音程は外れても 熱烈に

ジャーニール・B・フリーマン

父は独特の音程で歌いました。テナーでもなければ、ベースでもありません。その両方のどこかで、なおかつ全体をカバーする音域で歌うのです。父は、ドとラのフラットの違いが分かりませんでした。大きな声で力強く歌いました。

父の歌声を恥ずかしいと思った記憶はまったくありませんが、その楽しい「騒音」に喜びながらも当惑したことはよく覚えています。ほかの人が聞いていることに気づかなかったのでしょうか。

父は福音を題材にした賛美歌が大好きでした。才能に欠けているからといって、音楽による礼拝を思いとどまったりはしませんでした。喜びにあふれ、情熱的に、気持ちを込めて歌いました。「主の御霊は火のごと燃え」といった賛美歌を歌うときは元気に確信をもって、また、数分後、聖餐の賛美歌を歌うときは優しく敬虔に歌いました。わたしはそのような父の歌い方が大好きでした。

ある日の午後、父から賛美歌を通してすばらしい教訓を学びました。わたしはよく学校から帰ると一息つくためにピアノを弾いていました。父は短くともわたしと一对一の時間を持つよういつも心がけていました。そんな父が部屋に入って来て演奏に加わりました。いつもよくやることでしたが、父は賛美歌集のページをめくり、歌を見つけ、わたしにその曲を弾くように言って、自分は歌うのでした。

あの特別な日、父は賛美歌集を取り出すと、ある賛美歌のページを開きました。

「これはすばらしい歌だよ。わたしのお気に入りだ。」父はこう言うと、賛美



歌集をピアノの上に置きました。「悩める旅人」でした。それは預言者ジョセフ・スミスの好きな賛美歌で、ジョセフがハイラムとともに殉教する少し前にカーセージでジョン・テラーに歌うよう頼んだ歌だと父は言いました。

それから父はわたしの伴奏で7番まで全部歌いました。そのとき驚くべきことが二つ起こりました。その一つは、父が最後まで一度も音程を外さずに歌ったことです。ラのフラットを正確に歌ったのです。父の声は、飾り気がなくシンプルでした。わたしはそれを聞いていて美しいと思いました。二つ目の驚くべきこと、それはそれほど意外なことではありませんでしたが、はるかにもっと大切なことでした。父の歌を聞いているときに、父がジョセフ・スミスを愛していること、ジョセフ・スミスの預言者としての召しに対して証があることが分かったのです。御霊がわたしにジョセフは預言者であると証してくれました。

それから数年たって、父は亡くなりましたが、その日のことと、その日の出来事から受けた影響について、考えることがよくあります。福音に関するわたしの証の重要な部分がしっかりと保たれているのは、「歌えなかった」父が真心を込めて歌ってくれたからです。■



教える機会を
とらえる

「模範によって道を示すことに加え、わたしたちは若人の気持ちを理解し、福音の道とともに歩むことによって、彼らを導きます。彼らの気持ちを真に理解するには、同じ部屋にいたり、家族や教会の活動と一緒に参加したりする以上のことが必要です。彼らの思いと心に、深く、永続する印象を残せるような『教えるひととき』を計画し、うまく使わなければなりません。……」

わたしは、神が生きておられ、イエスがキリストであられることを知っているという証を述べる機会がわたしたちにあるようにと望みます。わたしたちが証を述べるときに、わたしたちの心がどこにあるかを子供たちが知り、わたしたちが子供たちを愛していることを知ることができるようにと望みます。最も大いなる愛と、最も大いなる教えは、わたしたちの家庭の中で見いだされるはずです。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「神に対するわたしたちの義務——
次の世代に対する親と指導者の使命」
『リアホナ』2010年5月号、95、98

独身会員としての奉仕

教会機関誌

ジュリー・バーデット

新しい召しを聞き、愕然がくぜんとしました。
「わたしにできるだろうか」と自問しました。

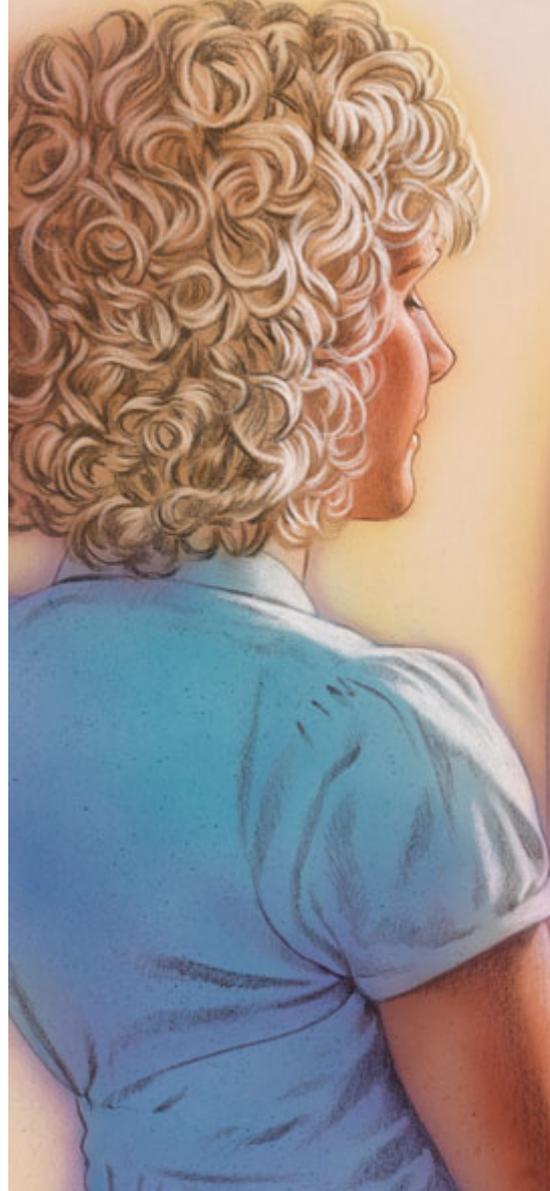
わたしは7年ほど前、29歳のときにアメリカのオレゴン州からユタ州に引っ越しました。様々な選択肢を検討した結果、わたしは地元の家族ワードに集うことにしました。引っ越し前は独身ワードに集っていましたが、変わった方がよいと思ったのです。

教会の召しを常に引き受けるよう両親に教えられて育ってきたわたしは、ビショップと会う約束をし、働く意欲があることを示しました。程なく初等協会の5歳の子供たちを教えることになり、この召しを楽しみました。5か月後、ビショップはわたしを初等協会の会長に召すと言いました。わたしは愕然としました。「わたしにできるだろうか」と自問しました。

独身で子供もいなかったわたしは、そのような責任を受ける資格が自分

にあるのか疑問に思いました。これまで集ったことのある家族ワードの初等協会会長といえば、幸せな結婚生活を送っている、有能で献身的な母親ばかりでした。しかし、両親の教えを思い出し、新しい召しを受け入れました。ビショップは、「すべてのヤングシングルアダルトのために有意義な召しを選ぶ」¹べきであるというビショップへの勧告を重く受け止めていました。その召しは、わたしが想像していた以上に有意義なものとなっており、そのことに感謝しています。

新しい召しを果たす中で、かわいらしい子供たちとの楽しい出来事や霊的な瞬間を経験しました。ある年のクリスマス、特別な分かち合いの時間のためにみんなで降誕劇を演じました。歌を歌い、羊飼いとヨセフにバスローブを着せてタオルの頭飾りを付けま



した。天使の頭には、きらきら光る飾りを着けました。賢者には段ボールをアルミ箔はくで覆った冠を作りました。

クリスマスの話を再現しクリスマスあかしの神聖な歌を歌っているうちに、わたしはマリヤを演じている美しい少女に気づきました。少女がひざまずき赤ちゃんのイエス様役の人形をそっと抱く姿に表れていた敬虔さと穏やかさの模範は、わたしの心の琴線に触れました。少女の姿に感動し、わたしは救い主を送ってくださった愛にあふれた天の御父に感謝しました。また、深遠で愛にあふれた主の使命に対する証が強まりました。さらに、奉仕の業に召されたことにより授かった多くの祝福と、奉仕をする機会を与え



てくれた靈感あふれるビショップに感謝しました。

教義と聖約にこのように記されています。「あなたがたは神に仕えたいと望むならば、その業に召されている。」(教義と聖約4:3) 通常、この節は伝道の業と関連づけられますが、福音に基づくあらゆる形の奉仕に当てはめることができるのではないのでしょうか。

既婚か未婚か、あるいは社会的な地位にかかわらず、最も重要なことは、わたしたちはそれぞれ愛にあふれた天の御父の子供であるということです。天の御父はわたしたちが成長し、人々と交わり、才能を伸ばし、互いに奉仕し、天の御父のもとに戻れるよ

う互いに助け合うことを望んでおられます。

わたしがそのワードに移ってすぐに感じた、受け入れられ愛されているという気持ちは、今なお心に残っています。奉仕をしたいというわたしの望みは認められ、生かされました。また、多くの人がわたしに手を差し伸べて歓迎してくれました。天の御父はほんとうにわたしを祝福してくださいました。優しく思いやりのある指導者のおかげで、わたしは天の御父の素晴らしい子供たちを教え、子供たちから学ぶことができたのです。■

注

1. 『手引き 第2部——教会の管理運営』(2010年)、16. 3. 3



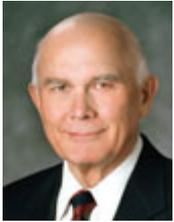
愛と関心

「多くの独身会員は、人生とその問題にうまく適応していますが、それでもなお、教会や教会員から愛と関心を受ける必要があります。それは自分が必要な存在であり、一人一人が神から愛されていることを再認識するためです。」

大管長会第二顧問
ジェームズ・E・ファウスト管長
(1920 - 2007年)
「一人残らず歓迎しましょう」
『リアホナ』2007年8月号、4

あらゆる 「もしも」への答え

「そして〔イエス・キリスト〕は、あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられる。これは、神の御子は御自分の民の苦痛と病を身に受けられるという御言葉が成就するためである。」(アルマ7:11)



あがな いや
贖いの癒しの力

「救い主はわたしたちの苦悩を御存じです。救い主は、わたしたちのためにおられるのです。主は、自らたとえで教えられた良いサマリヤ人のように、わたしたちが道端で傷を負っているときに、傷の手当てをし、世話をしてください(ルカ10:34参照)。兄弟姉妹の皆さん、主の贖いの癒しの力は、皆さんのため、わたしたちのため、すべての人のためにあるのです。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老
「主は重荷を負っている人を癒される」
「リアホナ」2006年11月号, 7

マイケル・D・ウッドベリー

数年前、乗っていたスクーターが転倒し、わたしは道路の真ん中に倒れてしまいました。すぐさま後からやって来た大きな車にひかれ、道路の上を引きずられました。事故を通報した人たちは、わたしが死んだものとして伝えたといひます。

救急隊員はわたしがまだ生きていることを知ると、わたしを病院まで搬送しました。わたしはその後数日間に幾つもの緊急手術を受けました。生命維持装置につながれ意識が戻らないままのわたしに、父と何人かの兄弟が手を置いて神権の力により祝福を授けてくれました。それ以降起こった癒しの過程は奇跡的なものでした。しかし、わたしの身に起こった出来事で重要なのは肉体的なことよりも霊的なことでした

この経験により、わたしは救い主の影響力に気づきました。事故の1週間後、

わたしは意識を取り戻し、何が起きたかを知りました。主がわたしを守ってください、妻と子供たちとともに地上に残ることを許してくださったことを知りました。神に見放されたとは思わず、むしろ、神からの慰めを感じました。自分の前に待ち構えている回復までのつらい道りを考えたり圧倒されたりすることはなく、むしろ平安を感じていたのです。

その後、天の御父とイエス・キリストに対するわたしの愛はさらに深まり、ずっと忠実であり続けたいというわたしの望みは強まりました。わたしが出会った善良な人々を通して主の愛を目の当たりにしました。また、様々な宗教の人々がわたしのために行ってくれた祈りや断食を、主が心に留めてこたえてくださったことも分かりました。

この話をほかの人に話すと、「もし」の質問が幾つも返ってきました。「もし死ん



でいたら」「もし歩けなくなっていたら」「もし死ぬまで激痛と闘わなければならぬ」としたら」。わたしがすばらしいと思うのは、贖い^{あがな}があらゆる「もし」の質問に答えを与えてくれることです。

贖いのおかげで、わたしは復活してあらゆる肉体的な弱さや痛みはぬぐい去られます。わたしは妻と子供とともに永遠の家族として結び固められています。それを可能にしてくれたのも贖いです。救い主を信じる信仰をもって前進しながら、人生の様々な試練を乗り越えて最後まで堪え忍ぶならば、贖いにより従うべき道が備えられ、最後には永遠の命を得るという栄えある約束が与えられます。■

「また神の御子は、御自分の民を束縛している死の縄目を解くために、御自身に死を受けられる。また神の御子は、肉において御自分の心が憐れみで満たされるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように、彼らの弱さを御自分に受けられる。」
(アルマ7:12)

このテーマについて詳しくは、マタイ11:28-30; 3ネーファイ17:7-9; ブルース・C・ヘーフェン「灰にかえて冠を与え——キリストの贖罪」『聖徒の道』1997年4月号, 38を参照してください。

主はわたしたちをどのように強めてくださるのでしょうか

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は総大会説教「主の強さの内に」(『リアホナ』2004年11月号, 76-78)の中でこの質問に答えています。

- 「主の強さの内であれば、すべてを行い、堪え忍び、克服することができるのです。」
- 「わたしたちは、人に能力を授け、強める贖いの力を通して、死すべき人間としての限られた能力では到達することも達成することもできない方法で、理解し、行動することができ、さらに善良になることができます。」
- 「主の強さと恵みの内にあるなら、皆さんもわたしもすべてのことを成し遂げられると知っています。」

イエス・キリストの贖いのおかげでもたらされる祝福^{あかし}について、証をだれかに伝えてみましょう。

主から授けられた教え

マービン・J・アシュトン長老は1971年12月2日に使徒に聖任されました。以下の記事は、1988年6月5日にブリガム・ヤング大学で行われたディボーショナルでの説教の抜粋です。



十二使徒定員会
マービン・J・
アシュトン長老
(1915-1994年)

物 心がついたところから、わたしはイエス・キリストに特別な愛情を抱いてきました。イエス・キリストは生ける神の御子だと教えられてきました。イエスはわたしの友であり、教師であり、力であると教えられてきました。何年も前にイエス・キリストについての特別な証あかしを述べる召しと責任と栄誉が与えられて以来、わたしは主の生涯と主の方法から教えを受けようと努力してきました。主はほんとうに偉大な教師です。自分の働きと献身の助けとなるよう、わたしはしばしば新約聖書のヨハネによる福音書第8章を開き、力と導きと模範を得てきました。よろしければ、わたしと一緒に幾つかの節を読み、生活を力づけ、イエス・キリストとの関係を強めてください。これらの聖文や御言葉みことばのおかげでわたしは主についての理解を深め、主のように行い主のようにになりたいという望みを持つことができました。……

〔律法学者たちやパリサイ人たちが、〕姦淫かんいんをしているときに捕まえられた女をイエスのもとに引っ張って来ました。これらの敵は主をわなにかけようとしていたのです。彼らは汚れた罪人の見世物として女を真ん中に立たせました。主は女からお逃げになりませんでした。……女は姦淫の最中に捕まえられました。女に罪があることに疑う余地はありません。律法学者たちは、不可能と思われる状況に主を陥れようとしていました。モーセの律法には、このよう

な女は石で打ち殺せと記されています。律法学者たちは「あなたはどう思いますか」〔ヨハネ8:5〕と主に尋ね、挑み、主をわなにかけ、絶体絶命の状況に主を追い詰めます。

主がどのようにお答えになっても、違法行為と誤った判断の罪に問われるでしょう。律法学者たちは、主が忍耐を失いかつなことを言うように仕向けようとしたのです。女を石で打ち殺すことは残忍な行いです。しかし、女を見逃すことは誤りです。……イエスは身をかがめて、律法学者たちの声が聞こえていないかのように地面に何かを書いておられました（人々の注意を集め、聞こえる場所にいるすべての人に教えを授ける準備をしておられたのです）。……沈黙の中、律法学者たちはさらに質問を続けました。悪意に満ちた質問が投げかけられたことは想像に難くありません。「おい、何か言ってみろ。もう逃がさないぞ。答えるのが怖いのか。」しかし、イエスはその場を収められました。……

イエスは謙遜けんそんで柔和な中にも威厳をもって身を起こして、きわめて力強い次の言葉を語られました。「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの女に石を投げつけるがよい。」〔ヨハネ8:7〕完全な御方から発せられた完璧かんぺきな答えでした。

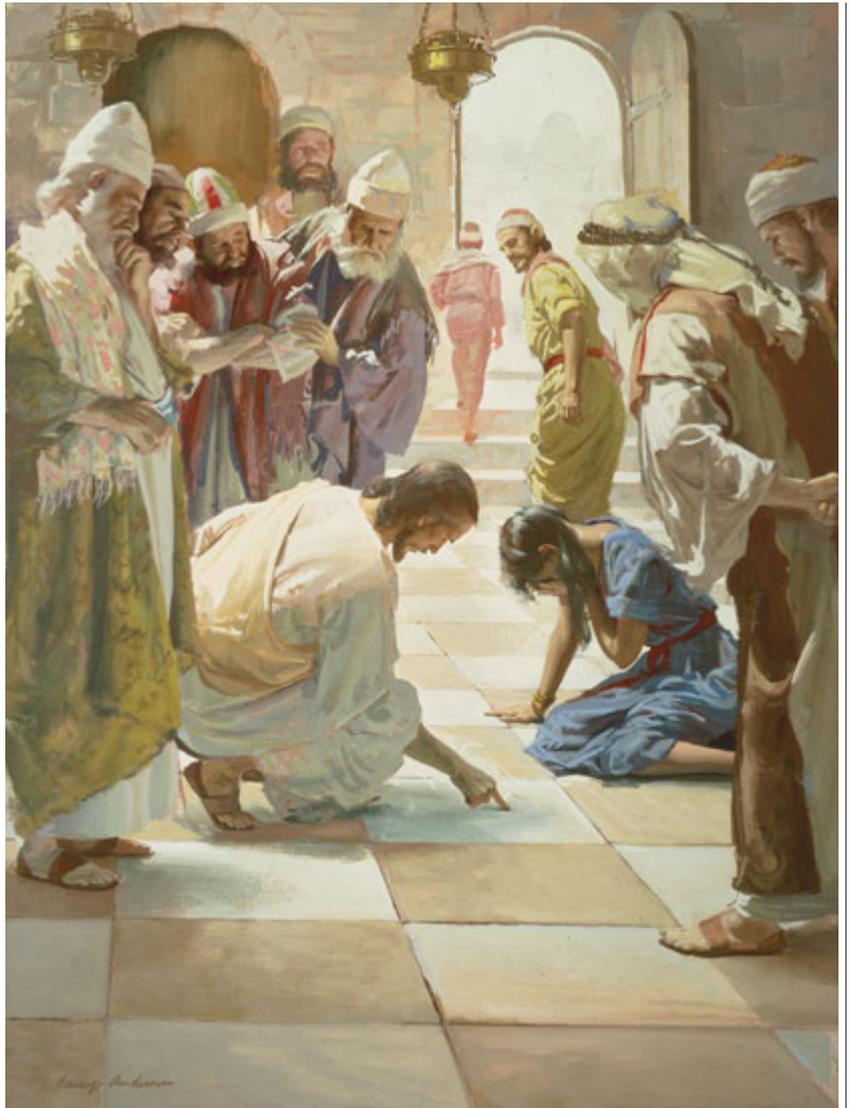
今日、それぞれの責任や状況、召しにあって、わたしたちはこのことを繰り返し思い出す必要があります。あらゆる人とかかわりの中で、人の批判やあら探しや、人を軽視する権利があるとしたら、それが許されるのは罪のない人だけだということ覚えておきましょう。……イエスは身をかがめて地面に何かを書き続けられました。律法学者たちは主の言葉を

聞きました。イエスの冷静さにたじろいだことでしょう。良心に責められた律法学者たちは、追いやられるのではなく自分から去って行きました。石を探すためではなく、霊的な痛手を癒すために一人一人出て行ったのです。

イエスと女だけがそこに残されました。その記述があることをうれしく思います。過ちを犯した人とともにいることを避けようとする人が時々いるからです。……イエスは言われました。「みんなはどこにいるか。あなたを罰する者はなかったのか。」「[ヨハネ 8:10] ……イエスは時間を取って尋ね、耳を傾けられました。わたしたちももっとそのようにできたらどんなによいでしょう。そうすればわたしたちの答えはとても平易なものとなり、ずっと改善されるでしょう。

姦淫の場で捕まえられた女性は、自分を責めていた人々に関する主の質問にこう答えました。「主よ、だれもございません」。すると、次のような力強い宣言が発せられました。「お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように。」「[ヨハネ 8:11] 主はその時代にも教えをお授けになり、まさに今この瞬間にも教えておられます。主は偉大なメッセージを伝えられました。「罪を憎んで罪人を愛せよ。」このメッセージによりわたしたちが力と自信を得て、救い主イエス・キリストとさらに親しい関係を築くことができるよう願っています。イエスは姦淫の罪を大目に見られたわけではありません。高圧的な説教の代わりに愛をその女性に与えられたのです。その女性と、非難していた人たちは、愛について教えを受ける必要がありました。その場に求められていたのは、慈悲と憐れみでした。人が犯すあらゆる罪よりも人は勝っているとイエスが確信してくださっているという知識は、何と実りあるものでしょう。イエスが「よい羊飼」と呼ばれることは驚くに値しないでしょう。イエスは、道をそれた羊や飢えている羊、無力な羊、凍えている羊、道に迷った羊などを含め、御自分のすべての羊を愛しておられるのです。

愛と憐れみについてのこの偉大な教えの最後に、重要な節が記されています。



「イエスは、また人々に語ってこう言われた、『わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう。』」(ヨハネ 8:12)。

イエスの光に従いましょう。これらの御言葉にしばしば注意を向けましょう。これらの御言葉があらゆる人の益となるよう取っておかれたことを皆さんに証します。■

説教の全文を英語で読むには、speeches.byu.edu にアクセスしてください。



救い主が 生きておられる

と知ること得る平安と喜び



主の聖なる御名の特別な証人として、
キリスト・イエスが
生ける神の御子であられることを
証します。

十二使徒の一員として言えることは、十二使徒は愛する救い主について教え証する特権を大事に思っているということです。わたしたちは主の生涯と務め、そして現世での使命について喜んで証します。

実際にお生まれになったのは12月ではないことを知っていますが、わたしたちはこの時期に救い主の質素な降誕を祝います。それどころか、主は4月にお生まれになりました。聖文や史実も、春の季節、ユダヤの過越の祭が行われるところであることを示しています（教義と聖約 20:1 参照）。

聖典には、救い主の母マリヤはヨセフのいなずけであったことが明言されています（マタイ 1:18；ルカ 1:27 参照）。現代の婚約と似ていて、後で実際の婚礼が行われます。

ルカの記録には、天使ガブリエルがマリヤに現れて彼女の現世の使命を伝えたことが記されています。

「御使がマリヤのところにきて言った、『恵まれた女よ、おめでとう、主があなたと共におられます。』……

すると御使が言った、『恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みをいただいているのです。

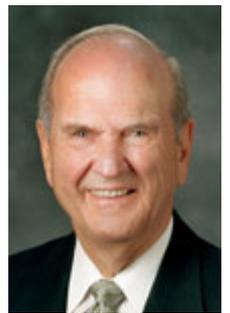
見よ、あなたはみごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。

彼は大いなる者となり、いと高き者の子と、となえられるでしょう。』（ルカ 1:28, 30 - 32）

御父はいと高き者であられ、イエスはいと高き者の子であられます。

「そこでマリヤは御使に言った、『どうして、そんな事があり得ましょうか。わたしにはまだ夫がありませんのに。』

御使が答えて言った、『聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう。』（ルカ 1:34 - 35）



十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老

ヨセフとマリヤが夫婦となる前にマリヤは聖なる御子を宿していました。ヨセフはマリヤを守りたいと思いました(マタイ1:18-19参照)。正式に結婚せずに子供をみごもった女性に下される刑罰を免れさせたいと思ったのです。これらのことを思い巡らしていると、天使ガブリエルがヨセフに現れて次のように告げました。

「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである。」(マタイ1:20-21)

マリヤとヨセフは「イエス」という名前の深い意味を教えられるまでもありませんでした。その語源であるヘブライ語の「エホシュア」は「エホバは救いである」という意味です。¹ですから、程なくイエスと名付けられる主なる神エホバの業は、救いの業でした。イエスは世の救い主とされるのでした。

モルモン書にはニューファイが天使と交わした会話が記されています。天使は次のように尋ねました。「神が御自身を低くされることがあなたに分かるか。」

ニューファイはこのように答えました。「『わたしは、神がその子供たちを愛しておられることは知っていますが、すべてのことの意味を知っているわけではありません。』……

すると天使は言った。『見よ、あなたが見ているおとめは、肉に関して神の御子の母である。』

……わたしは、そのおとめが御霊に連れて行かれるのを見た。そのおとめが御霊に連れて行かれてからしばらくして、天使がわたしに『見なさい』と言った。

それで眺めると、腕に幼子を抱いたおとめが見えた。

すると天使がわたしに言った。『神の小羊、まことに永遠の父なる神の御子を見なさい。』(1ニーファイ11:16-21)

ルカによる福音書から得られる洞察

ルカ書第2章には、わたしたちがクリスマスの時期に語る、大好きで慣れ親しんだ出来事が記されています。この物語は貴重な洞察を与えてくれます。「そのころ、全世界の人口調査をせよとの勅令が、皇帝アウグストから出た。」(ルカ2:1)

実際のところ、これは人頭税を課すための人口調査、



すなわち全ローマ帝国における市民の登録でした。ヘロデ王は人々が自分の先祖の地へ出向いて登録するように命じました。当時ナザレに住んでいたマリヤとヨセフは、南方にあるダビデの町まで約90マイル(145キロ)旅しなければなりません。ダビデの町との間には、対立関係にあるサマリヤ地方があったので、もし迂回したのであれば、道のりはもっと遠かったでしょう。

ほぼ間違いなく、彼らは、同じ理由で先祖の地へ行くこと

以上の重要な意味があるように感じます。英語では5つの単語を使っているこの箇所が、ギリシャ語の新約聖書の原文ではたった1つの単語で表されています。その言葉は *sparganoo* で、新生児を特別な布、すなわち細長い布で巻くことを表す動詞です。⁴ 恐らく布には家系を表す独特な印が付いていたことでしょう。長子が生まれた場合は特にそうです。

天使はこのように宣言しました。「あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである。」(ルカ2:12) 主をくるんだ布はきっと認識しやすい、はっきりと分かる目印だったことでしょう。

飼葉おけについてはどうでしょうか。飼葉おけは家畜小屋で動物の飼料を入れるおけ、またはふたのない箱です。汚れた中庭の地面より少し高い位置にある飼葉おけが、いちばん清潔な場所だったことでしょう。飼料を入れるおけがわたしたちの主の揺りかごとなったのです。

救い主の独特の血統

救い主の質素な降誕場所以上に大切なのは、その独特の血統です。2,000年たった今日、わたしたちはキリスト・イエスが不死不滅の御父と死すべき肉体の母親からお生まれになったと宣言します。イエスは不死不滅の御父から永遠に生きる力を、死すべき肉体の母親からは肉体の死という宿命を受け継がれました。

イエスは御自分の生涯に影響を及ぼすこれらの現実を認めておられました。「だれかが、わたしからそれを取り去るのではない。わたしが、自分からそれを捨てるのである。わたしには、それを捨てる力があり、またそれを受ける力もある。これはわたしの父から授かった定めである。」(ヨハネ10:18)

主がその血統から受け継がれた独特の属性は、全人類の罪を贖うという主の使命に不可欠でした。こうしてキリスト・イエスがお生まれになったのは、死んで、よみがえり、永遠の命を得るためでした(3ニーファイ27:13-15参照)。主が亡くなられたのは、わたしたちが再び生きようとするためでした。主がお生まれになったのは、すべての人が死のとげを克服し、墓を超えて生きられるようにするため

でした(1コリント15:55; モーサヤ16:7-8; アルマ22:14; モルモン7:5参照)。

主の贖罪は、主が血の汗を流されたゲツセマネ(ルカ22:44参照)と、主の肉体が十字架につけられたゴルゴタ(またはカルバリ)で成し遂げられました。ゴルゴタ(カルバリ)は死を象徴する「されこうべ」という意味です(マルコ15:22; マタイ27:33。3ニーファイ27:14も参照)。この無限の贖罪は人を無窮の死から解放することとなります(2ニーファイ9:7参照)。救い主の贖罪は復活を実現し、すべての人が永遠の命を得ることを可能にしました。主の贖罪は人類の歴史の中心を成す業となりました。

預言者ジョセフ・スミスは贖罪の重要性についてこのように強調しています。「わたしたちの宗教の基本原則は、使徒と預言者たちがイエス・キリストについて立てた証です。すなわち主が亡くなり、葬られ、3日目に再びよみがえって、天に昇られたことです。わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は、それに付随するものにすぎません。」⁵

救い主の降誕2,000年の祝いを控えた数年前、大管長会と十二使徒定員会はジョセフのこの言葉から靈感を受けました。王国の鍵を託されたわたしたち15人は、自分たちの証を書き記しました。この証に『生けるキリスト——使徒たちの証』という題を付けました。⁶ そして、当時の15人の生ける使徒が証に自分の名前を添えました。

主に対する証を持つ人は皆、信仰によって、主の神聖な血統を知るとともに、イエスが生ける神の御子であられることを証する特権を受けます。真の証があれば、12月23日に誕生を祝う、預言者ジョセフ・スミスに御父と御子が御姿を現されたことも確信するでしょう。また、末日聖徒イエス・キリスト教会がまことの教会であり、生ける主によって導かれていることも確信するでしょう。すなわち、教会は正しい権能を持つ人々が主の指示を受けてそれにこたえ、預言と啓示を通して管理されていることを確かに知ることができるのです。

この知識は、現代生活の最も困難なときにあっても平安と喜びをもたらします。「元気を出しなさい」と主は言われました。「恐れてはならない。主なるわたしはあなたがたとともにおり、あなたがたの傍らに立つからである。あなた



救い主の贖罪は復活を実現し、
すべての人が
永遠の命を得られるようにしました。
主の贖罪は人類の歴史の
中心を成す業となりました。

がたは、わたし、すなわちイエス・キリストについて、わたしが生ける神の子であること、わたしがかつており、今おり、やがて来ることを証ししなければならない。」(教義と聖約 68:6) わたしたちは主への愛を込めて、主の聖なる約束を信じています。

主にささげる贈り物

この先、苦難の時代が待ち受けています。罪がますます世にはびこっています。パウロは教会員が迫害を堪え忍ぶことを予見しました(2テモテ3:1-13; 教義と聖約112:24-26参照)。ペテロは次のように勧めました。「キリストチャンとして苦しみを受けるのであれば、恥じることはない。かえって、この名によって神をあがめなさい。」(1ペテロ4:16) イエスはあらゆるもの下に身を落とし、あらゆるものに打ち勝たれました。主は御自身の模範に従うことをわたしたちに望んでおられます。主とともにくびきを負うなら、わたしたち一人一人は、どんなに難しくても、あらゆる困難を乗り越えることができます(マタイ11:29-30参照)。

救い主がしてくださった、そして今もしてくださっているすべてのことを考えて、わたしたちは主のために何ができるでしょうか。クリスマスの時期、あるいはいつでも、主にささげることができる最高の贈り物は、世の汚れに染まらないようにし、主の聖なる神殿に入る^{たまもの}ふさ^のわさを保つことです。そして主がわたしたちに下さる賜物は、主にお会いする用

意がいつでもできているという平安です。

将来、主の務めが満ちます。再臨の預言はこれから成就します。クリスマスの時期、わたしたちは当然ながら主の降誕に思いを向けます。そして、主は再びこの地上に来られます。最初の降臨では、主はほとんど人知れず来られました。地上の限られた人しか主がお生まれになったことを知らなかったのです。再臨のときは、主が戻られたことを全人類が知るでしょう。そのとき主は「地上を旅する男の姿」では来られず(教義と聖約49:22)、「主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る」のです(イザヤ40:5。教義と聖約101:23も参照)。

主の聖なる御名の特別な証人として、キリスト・イエスが生ける神の御子であられることを証します。皆さんが主を愛して主の戒めを守るなら、主は皆さんを愛し、高く上げ、皆さんに御自身を現されるでしょう(ヨハネ14:21参照)。実際、賢明な男女は今もなお主をあがめ続けているのです。■

注

1. エリック・D・ハンツマン “Glad Tidings of Great Joy” *Ensign*, 2010年12月号, 54参照
2. ジェームズ・ストロング “Greek Dictionary of the New Testament” の単語 2596番および2646番, *Strong's Exhaustive Concordance of the Bible* (1890年), 39, 40参照
3. *Merriam-Webster's Collegiate Dictionary* 第11版 (2003年), “caravansary” および “khan” の項参照
4. “Greek Dictionary of the New Testament” の単語 4683番, 66参照
5. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』49-50, 強調付加
6. 『生けるキリスト——使徒たちの証』『リアホナ』2000年4月号, 2-3参照



神殿への道

それぞれ歩む道は違っても、義にかなった道はどれも神殿に至ることを
ウクライナの末日聖徒は見いだしています。

教会機関誌
チャド・E・ファレス

夜 明け前、ウクライナ・キエフ神殿へ続く
キルツェバ通りは、比較的静かです。
まばらな小さなくぼみをよけて通るほ
んの数台の車のヘッドライトが、朝霧を貫いて光
を放ちます。

先方に見える神殿の輝きは、かがり火のよう
に、神殿を目指す人を導き、行くべき場所をはっきり
と示しています。

2010年8月に神殿が奉献されて以来、神殿へ
と続くこの静かな道をたどる祝福に恵まれてきた
人もいれば、神殿への道のりはそれほど穏やかで
はなかったと語る人々もいます。

夜が明けて、地平線から太陽が顔を出すと、車
やバスがキルツェバ通りに流れ込みます。先ほど
まで静かだった道は、今や車であふれかえり、騒
がしい駐車場と化します。

多くの神殿参入者は、交通渋滞があることも承
知していて、気長に数メートル進んでは止まり、止
まっては進みながら、道にとどまります。神殿を
目指し続けながらも、進み方はゆっくりです。

違う道を選ぶ人もいます。神殿の裏には、舗装
されていない道や裏道がたくさんあり、標識が不
十分なため、人々はすぐに方向を誤ってしま
います。しかし、目を上げれば、神殿の尖塔がまた
も目印となってすべての人を神殿に招いている
のが見えます。

ウクライナの会員たちが主の宮に行くために
たどった霊的な道は、神殿の周辺にある道と似
通っています。

恵まれて教会の中で育った若い会員の中には、
今、自分の儀式を受けるためにウクライナ・キエフ
神殿に参入できる人もいますが、途中で霊的な渋
滞に遭遇する人々も多くいます。

1998年にゴードン・B・ヒンクレー大管長
(1910 - 2008年)によって発表されたキエフ
神殿は2010年に完成しました。この12年の間、
ウクライナ・キエフステークの多くの会員たちは、
たとえ進みが遅く思えても、狭い道にとどまり、
神殿の完成を待ちました。神殿という目標を一時的
に見失い、違う道に行った人々もいました。



神殿にたどり着くまでに会員たちがたどる霊的な道はそれぞれに異なりますが、ウクライナの忠実な会員たちは、義にかなった道はどれも、再び神殿に導いてくれることを見いだしています。

まっすぐな道

東ヨーロッパの多くのヤングアダルト会員は、若いころに福音に導かれました。早くに福音を知ったおかげで、若いころから証を培うことができただけでなく、神殿で結婚するという強い決意を持つことができました。

ハーキフスキーワードに通うニコライ・チェメゾフ兄弟と妻のアーシヤ姉妹は、二人とも若いころに福音を知りました。ニコライは8歳、アーシヤは10代でした。

「わたしはバプテスマを受けて以来ずっと、天の御父の計画は昇栄に至る道であると確信していました」と、チェメゾフ兄弟は言います。「家族の神聖な使命に関する教会の教えは、わたしにとって常に重要なものでした。」

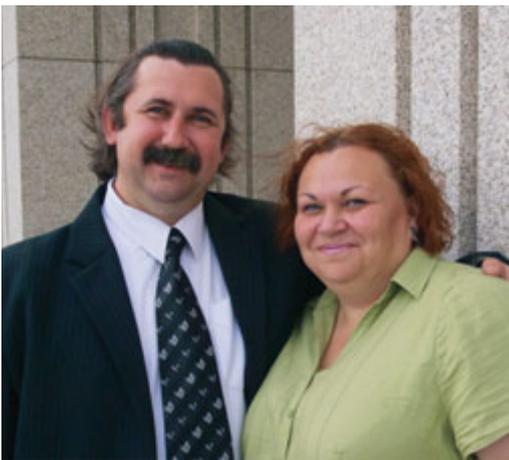
アーシヤ姉妹もまた、若いころ、永遠の家族の大切さを理解しました。「若い女性として教会に通っていたとき、聖なる神殿の聖約に入ることがいかに大切かを教えられました」と言います。「いつも神殿結婚を夢見ていました。そして、神殿で結婚できるようにいつもふさわしくあろうと努力してきました。」

二人は2009年にデートを始めました。愛が深まり、結婚について話し始めた二人には、次に進むべき段階が何であるか、すでに分かっていました。「2010年8月にキエフ神殿が奉獻されるという発表があったとき、そこで結び固めを受けると決心しました」とアーシヤ姉妹は言います。

「あまり長く待たずに済んでよかったです」とチェメゾフ兄弟は続けて語ります。

二人は2010年9月に結び固めを受けました。

「人生で最高の日でした」とチェメゾフ兄弟は語ります。「愛するアーシヤの手を取って主の宮に連れて行くことができ、ほんとうに祝福されていると感じました。その日、永遠の家族を築くというわたしの夢がかなったと言えるでしょう。」



写真上から／ウクライナ・キエフ神殿が奉獻されて3日後に結び固めを受けたニコライ・チェメゾフ兄弟と妻アーシヤ姉妹。ピョートル・ミハイリエンコ兄弟とアダリーナ姉妹は孫娘のマーシャが祖国の神殿に参入するのを楽しみに待てることを感謝しています。アンドレイ・ドゥドゥカ兄弟とバレンチナ姉妹は、神殿が建設されている間、頻りに神殿用地を訪れました。

長い道のり

ピノフラダールスキーワードの会員であるピョートル・ミハイリエンコ兄弟と妻アダリーナ姉妹にとって、永遠の結婚への道のりは、やはりまっすぐではありましたが、もっと長いものでした。ミハイリエンコ夫妻は、ウクライナの初期の改宗者です。キエフに最初の支部が設立されてちょうど2年後の1993年にバプテスマを受けました。

それにもかかわらず、神殿が遠いことなどの理由で、何年も結び固めを受けられずにいました。それでも二人は互いに忠実であり続け、永遠の結婚という夢を抱き続けました。

「わたしは忍耐強く神殿を待ちました」とミハイレンコ兄弟は語ります。「教会から離れることなど考えたこともありません。行くべき道は常にはっきりと見えていました。」

トーマス・S・モンソン大管長によって2010年8月に神殿が奉献された後、二人は、結び固めを受けたいという気持ちを抑えることができませんでした。「結び固めの当日、あまりに早く神殿に着いたので、神殿はまだ開いていませんでした」とミハイレンコ姉妹は言います。

二人だけでなく、ワードの多くの会員たちもその日神殿を訪れ、ミハイレンコ夫妻の喜びを心から分かち合いました。

「結び固めはすばらしいものでした」と、ミハイレンコ姉妹は語ります。「そのとき彼に対して、それまで抱いたことのないほど深い愛を感じました。」

その日以来、愛情が続いています。「二人の関係は完全に変わりました」とミハイレンコ兄弟は言います。「結婚して何年もたちますが、今、まったく違った気持ちを感じています。お互いのためにもっと尽くしたいと感じますし、もっと愛を込めて尽くせるようになりました。」

道に戻る

ピノフラダールスキーワードのアンドレイ・ドウドウカ兄弟と妻バレンチナ姉妹は、2003年に近所の人から福音を紹介されました。何週間か宣教師と話した後、二人は教会に入ることに決めました。

末日の神殿の必要性や、永遠の家族を築くことなど、福音の真理を喜んで学びましたが、徐々に教会から離れていきました。「何かしら理由を見つけて教会に行かなくなりました」と、ドウドウカ姉妹は言います。「疲れているとか、見たいテレビ番組があるとか、成り行きに任せてしまうようになったのです。」

教会に活発でなくなると、二人の幸福に悪影響が出始め

教会で
儀式を行っている
134番目の神殿、
ウクライナ・
キエフ神殿には、
9か国の会員が
参入しています。

ました。「教会を去ってから、教会員としての生活とこの世的な生活との間には、ほんとうに違いがあることに気づき始めました」とドウドウカ兄弟は言います。「わたしたちは幸せではありませんでした。」

教会に通わなくなって4か月が過ぎたとき、ドウドウカ姉妹はそれ以上耐えられなくなりました。「ある日曜日のこと、わたしは『もし今日行かなかったら、もうやっていけないかもしれない』とつぶやきました」と語ります。「まるで、何日も水なしで生きてきたかのようにでした。その水が必要だったのです。」

教会に戻ったドウドウカ姉妹は、夫も一緒に教会に戻って来られるように忍耐強く祈り、励ましました。彼女が教会に戻ってからおよそ半年後、夫も教会に戻りました。

「妻の祈りに心動かされました」と、ドウドウカ兄弟は語ります。「メルキゼデク神権者として、活発な会員でいる責任があることを悟ったのです。神なしには何もできないことが分かりました。」

教会に戻った後、二人は神殿の救いの儀式に再び心向けました。ほかのウクライナの末日聖徒たちとともに、2007年の神殿の^{くわ}鋳入れ式に喜んで出席しました。

「神殿建設が始まってからは、作業の様子を見に、よくここに来ました」と、ドウドウカ兄弟は言います。

「最初の石が置かれるのを見たとき、思わずすごく高く跳び上がりました」と、ドウドウカ姉妹は続けて言います。

天使モロナイの像が神殿の頂に据えられたとき、多くの聖徒が涙を流して抱き合いましたが、とりわけドウドウカ夫妻は泣き、抱き合って喜びました。

「ついに神殿の建設が完了したとき、自分たちが参入するにふさわしいことを考えると、とても安心しました」と、ドウドウカ兄弟は語ります。

ドウドウカ夫妻は、神殿で結び固めを受けることによって、より堅固な永遠の視点を持てるようになったと言います。「今はわたしたち夫婦だけではなく、主も家族の一員となってくださったと分かります」とドウドウカ姉妹は言います。「今は、お互いを永遠の視点で見るようになりました。」■

永代教育基金 10周年を祝う

機会を得る ための鍵



ゴードン・B・ヒンクレー大管長が、永代教育基金の設立を発表して10年が経過した現在、この試みとその利用者は大きな成功を収めています。

18 50年にブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）は、ソルトレーク盆地への入植からわずか3年で、末日聖徒の教育を目的とした専門学校や大学の設立に着手しました。この神権時代の預言者たちは一様に、教会員に教育を受けるよう勧めてきました。

中でもゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）は、19世紀にブリガム・ヤングが手がけた永代移住基金に倣^{なら}って、永代教育基金（PEF）を導入しました。この新しい教育基金は、トーマス・S・モンソン大管長の言葉を借りると、ヒンクレー大管長の時代を象徴するプログラムとなりました。¹ ヒンクレー大管長は、教会の多くのヤングアダルトが貧困の渦中にあり、さらには教育と訓練の機会がないために将来性を失っている状況を目にし、主に答えを求めました。

2001年3月31日の総大会において、ヒンク

レー大管長はプログラムの構想を発表しました。それが「大胆な試み」であることは認めながらも「教育は機会を得るための鍵」であると考えたのです。² ヒンクレー大管長は善意ある人々に献金を呼びかけ、プログラムは進められました。

現在10年が経過し、世界中の提供者から寄せられる大小様々な額の献金により、この試みは——そして利用者も——成功を収めています。七十人名誉会員で、PEF（永代教育基金）の管理ディレクターを務めるジョン・K・カーマック長老は、このプログラムが「聖徒を貧困ののろいから救い出している」と述べています。PEFの訓練とコミュニケーション部門でボランティアディレクターを務めるレックス・アレンは、永代教育基金が貧困からの救出に成功していると語っています。なぜなら、それは永遠の原則に基づいて設けられたものであり「人知をはるかに超えた遠大な影響力」があると預言者が約束しているからです。

教会機関誌
レベッカ・アトキン

創設から10年間に、
永代教育基金は
50か国以上で約5万人の
利用者の生活を改善しました。
基金による恩恵を受けた
西インド諸島のケビン・ムーアと
ペルーの利用者たち(左)。



2001 年ごとの利用者の総計

2011



数字で見るPEF利用者

永代教育基金によって、過去10年間に、51か国で5万人を超える利用者の生活が祝福されました。以下はそのヤングアダルトに関する統計です。

- 47パーセントが男性、53パーセントが女性。
- 34パーセントが既婚者。
- 男性の80パーセントが帰還宣教師。
- 82パーセントが勤労学生。
- 平均年齢 24.5 歳。
- 学業終了までの平均年数 2.6 年。
- 教育を受けた後の収入は3倍ないし4倍に増加。

大胆な試み

2001年にヒンクレイ大管長が説明したように、この基金は献金で創設されました。元金から生み出された利息分が学生となる人々に貸し付けられます。

利用したいと思うヤングアダルトは、地元の神権指導者とインスティテュートディレクターに相談します。彼らの承認を受けると、「高い理想を持った男女」（その多くが帰還宣教師）は、融資を受けて地元の学校へ通います。³ 彼らは在学中から返済を始め、ほかの学生も基金を利用できるようにします。

創設から10年間に、プログラムは50か国以上で約5万人の利用者の生活を改善し、彼らが「代々続いてきた貧困から抜け出す」助けをしてきました。⁴ これはヒンクレイ大管長が約束したとおりです。

アレン兄弟はPEFについてこのように述べています。「預言者はその日偉大な業を行いました。昔、モーセがその杖を紅海上に差し伸べると水が分かれました。それと同じ信仰を、ヒンクレイ大管長は表したのです。すなわち預言者の外套で貧困という漆黒の海を覆い、PEFを始めました。」

原則

永代教育基金は福音の原則を土台にして築かれています。それは、イエス・キリストへの信仰と希望、教育、労働、犠牲、自立、誠実、それに奉仕です。世界各地にいるPEFの利用者と卒業生は、生活の中でこれらの原則を実践しています。

カロリーナ・テジョ・バルガスは、コロンビア大学の卒業生です。彼女はPEFが「希望の光」であり、天の御父が「(自分)を導き、進歩の扉を開いて」助けてくださった証拠であると語っています。

彼女は教育の大切さと、それを得るには努力と犠牲が必要であることを理解しています。PEFを利用する前は、複数の仕事をこなし、

手持ちの宝石をすべて売り払ってお金を工面し、法律を勉強していました。彼女の家族も同様の犠牲を払いました。

「勉強するためには犠牲が付き物です。でも将来、今よりずっと良い仕事に就けるなら、そんな苦勞はいといません」とカロリーナは語ります。

しかしその後、最終学年に差しかかったとき家族に問題が起これ、授業料が払えなくなりました。彼女はPEFから融資を受け、それを使って無事にその学年を終えることができました。

南アフリカのシャーリー・ムウエラセもこの原則が真理であることを伝えています。彼女はPEFの融資を利用してコンピュータープログラミングのコースを終了しました。そして保険会社に就職すると、貸し付けの残金をすぐに返済しました。これによって自分が「信頼に足る」人間だと感じられるようになりました。

シャーリーはこう語ります。「より良い給料の仕事に就くことで、安定した生活ができるようになりました。両親や家族を助けられますし、自分が仕事で培った技術や教養は、教会の召し全般で奉仕の質を上げることに大きく貢献しています。」

プログラマーとして彼女は多くのことを成し遂げました。「もし教育も受けず、教会にも続けて来ていなければ、仕事には就けなかったでしょう。ましてやこういうすばらしいことは何一つ達成できませんでした」と言います。

約束と祝福

ヒンクレイ大管長は永代教育基金について発表した際、それによってもたらされる祝福について約束しました。すなわち、この基金によって雇用が創出され、奉仕が増え、指導者が育成される機会へとつながり、結果的に個人と家族と地域社会への祝福となり、さらには教会全体が恩恵を受けるといえるものです。



最初の10年間の10の成果

PEFの管理ディレクターであるジョン・K・カーマック長老は、基金によって次の成果が得られたと述べています。

1. 自立と誠実さを身に付ける。義務を果たし、家族を養う。
2. 永遠の進歩を促す。来るべき世で有利となる英知をこの世で得る(教義と聖約130:18-19参照)。
3. 有能な指導者を育てる。教会の奉仕に時間を割くことのできるより良い職に就く。
4. 教育を通じて機会を広げる。特定の訓練や技術を要する職業の資格を得る。
5. 生活を豊かにする。理解力を広げ、心を開く。
6. 奉献の律法を精神を促す。すべての人に献金を呼びかけ、心が通って一つとなる(教義と聖約38:27参照)。
7. 貧しい人々の世話を支援する。教会の重要な責務を果たす(教義と聖約81:5; 83:6参照)。
8. より堅固な家族を築く。貧困の悪循環を断ち切る。
9. 卓越した伝統を築く。福音の原則を実行する。
10. 救い主の犠牲の模範に倣う。ほかの人を助けるために持っているものを与える。



ヒンクレー大管長は、その利用者が「良質な教育を受けられるようになるでしょう。……貧困の淵から救われるでしょう。また、結婚し、生計を立て、社会に貢献できる地位に就けるような技能を身に付けることができるでしょう」と約束しました。⁵

この約束は何千人というPEFの利用者に果たされました。そのうちの一人がウルグアイのパブロ・ベニテスです。パブロはスーパーマーケットで1日12時間働き、どうにか暮らしていました。そのようなときに彼は生活を変えようと決心し、学校に通い始めました。しかし、授業料や諸経費が値上がりし、独りではその額を賄い切れなくなりました。

PEFを通じて、彼は体育の学位を取ることができました。その結果、ここ数年間複数の仕事に就き、新しい仕事を得る度に収入が増してきました。彼はこう言っています。「しばしば常勤や非常勤の仕事を依頼されますが、忙しくて応じ切れません。これはすべてPEFと、学業によって門戸が開かれたおかげです。」

フィリピンからの帰還宣教師、ミリアム・エルクイザは旅行代理店に就職しました。この仕事に就いてからは、若い女性会長として、またインスティテュートの教師としても奉仕する余裕ができました。



利用方法

PEFは、承認された地域に住む人々がそのプログラムを利用するための5つのステップを示しています（訳注：日本では現在このプログラムは承認されていません）。このステップや資格に関する詳細については、pef.lds.org を見てください。まず地元の神権指導者かインスティテュートディレクターに相談するのがよいでしょう。

ステップ1：夢を描く — PEFのプログラムについて学び、自分の地域で利用できるかどうか調べる。教育や就職に関するステークのファイヤサイドに出席する。

ステップ2：計画し、利用資格を得る — インスティテュートの「成功のための計画」ワークショップに出席する。神権指導者の承認をもらい、助言を受ける。

ステップ3：申請する — 「成功のための計画」ワークショップで学んだことを基に、PEFのオンライン申請書に記入する。

ステップ4：決意する — 承認された場合、PEF融資の面接を受け、自分の義務を果たすことに同意する。

ステップ5：学び、卒業し、より良い仕事に就き、貸付金を返済する — 信仰を行使して、努力、誠実さ、献身、自立を実践する。夢を実現するために熱心に努める。



教育を通して得た機会によって、パブロは自分の家族を養うことができるようになりました。その一方で、教師として地域社会で奉仕し貢献しています。

長時間働いてもかろうじて生活費と^{じゅうぶん}自分の一が賄える程度では、教会で奉仕をすることは大変なチャレンジだとアレン兄弟は言います。これは世界中で多くの会員が直面する問題ですが、ヒンクレイ大管長はPEFの利用者について、このように約束しています。「彼らは自分たちの母国でこの偉大な業を導く指導者となります。什分の一やその他の献金を納めます。その結果として全世界の津々浦々で教会の業の発展が可能となるのです。」⁶

多くの利用者が、PEFを通じて身に付けた教育のおかげで、より良い職業に加え、教会で奉仕する時間の余裕が得られることを知っています。フィリピンからの帰還宣教師であるミリアム・エルクイザは、2年間のウェブデザインコースを終了し、また「熱烈な祈り」を通して、旅行代理店に就職できました。この仕事

ブラジルのバンデルレイ・リラは6年間支部会長として奉仕しながら、肉体労働者として働いていました。彼はPEFの貸付金で教育を受けると、以前よりも良い給料の職を見つけました。ステーク会長は彼のことを「機会により解放された巨人」と呼んでいます。

に就いたおかげで家族を支え、若い女性会長として、またインスティテュート教師としても奉仕する時間を持てるようになりました。

ブラジルのバンデルレイ・リラは6年間支部会長として奉仕し、支部の活発会員は18人から110人にまで増えました。しかし一方で、教育を受けていないために彼は肉体労働者として働いていました。PEFが発表されると、彼は労働安全を学んで新しい仕事を見つけました。その結果、給料は上がり、すぐに貸付金を返済することができたのです。彼は現在も教会で奉仕しており、ステーク会長は彼が偉大な指導者かつ父親であるとして「機会により解放された巨人」と呼んでいます。

ヒンクレー大管長は教会の会員たちに、教会には成功に必要な「組織があり……献身的に働く主の僕たちしもべ」がいるので、このプログラムは必ず成功すると告げました。⁷ 実際、永代教育基金は成功を取めています。それは大管長会と十二使徒定員会、その他の中央教会指導者の指示の下に、利用者と地元の神権指導者が連携して働いているからです。教会の職業支援センターとセミナー・インスティテュートも全面的にかかわっています。

永代という言葉が示すとおり、基金の影響はとどまるところを知りません。お金が返済されると、ほかの学生に貸し付けられる仕組みは財政面において恒久的と言えますが、そればかりではありません。霊や社会にかかわる面においても恒久的なのです。それは利用者や資金提供者、運営管理者、その他無数の人々が間



輝かしい未来

「永代教育基金……は世界中の多くの地域において、何世代にもわたる貧困から教会員が抜け出せるようにします。若い男性や女性に技術と訓練を提供して、良い収入の職業に就くための資格が得られるようにするのです。靈感を通して与えられたこの計画は、状況を変えることは不可能だとあきらめていた人々の目に希望の光をともし、今では輝かしい未来を手にする機会を与えているのです。」

トーマス・S・モンソン大管長
「偉大な模範に倣う」『リアホナ』2007年10月号、6

貢献のしかた

基金の成功は、全世界の会員とボランティアの好意と支援に大きくかかっています。あなたは下記の支援ができます。

- 地元のPEFサービスセンターで、パートタイムの奉仕をする。
- 伴はんりよ侶とともに、PEFプログラムの専任宣教師として奉仕する。
- 永代教育基金に献金する。

接的に祝福されるからです。「教育は鍵です」とアレン兄弟は言います。「この鍵が、本人ばかりでなくその家族や社会に対しても、頑強な壁に設置された扉を開くのです。」

過去10年間に技術が進歩し、経験を重ねたことで、利用者と助成者のために基金のプロセスは改善されました。しかし、永代教育基金は、預言者が打ち立てたそのあるべき姿をさらに求めていきます。この「大胆な試み」は今後も預言者が述べた努力を必要とすることでしょう。モンソン大管長は、彼の言う「将来に飛躍する」基金の業を続けています。⁸ ■

注

1. “16th President Fields Questions from Media,” *Church News*, 2008年2月9日付, 15 参照
2. ゴードン・B・ヒンクレー「『永代教育基金』『リアホナ』2001年7月号, 62, 67
3. ゴードン・B・ヒンクレー「『リアホナ』2001年7月号, 61
4. ゴードン・B・ヒンクレー「『リアホナ』2001年7月号, 62
5. ゴードン・B・ヒンクレー「教会は前進する」『リアホナ』2002年7月号, 6
6. ゴードン・B・ヒンクレー「手を差し伸べ、引き上げる」『リアホナ』2002年1月号, 62
7. ゴードン・B・ヒンクレー「『リアホナ』2001年7月号, 67
8. トーマス・S・モンソン, “16th President Fields Questions from Media,” *Church News*, 2008年2月9日付, 15

pef.lds.org を開いてPEF利用者の話をもっと詳しく読み、PEFにかかわる方法を学びましょう。



日々の決断が
永遠の目的に結び付いていなければ、
簡単に道を見失ってしまいます。

失われたものを見いだす



教会機関誌

アダム・C・オルソン

30 歳になる少し前のことです。自分は幸せではない、とロベルタ・ツイリムはつくづく思いました。3人のかわいい子供たちがいて、その父親ダニエル・ネピアを愛していましたが、ダニエルとは結婚していませんでした。ダニエルは教会員ではありませんし、ロベルタが定期的に教会に出席していたのはずっと昔のことでした。

ニュージーランドのオークランドで両親と一緒に毎週教会に行っていた若いころ、神殿結婚をひたすら夢見ていましたが、その夢ははるかかなたに行ってしまいました。しかし、一度の決断で永遠の目標に背を向けたわけではありません。日々小さな決断を下しながら、少しずつ背を向けていったのです。

「わたしは、うせたものを尋ね、迷い出たものを引き返し、
傷ついたものを包み、弱ったものを強く……する。」
(エゼキエル34:16)。

目的に至らない決断

ロベルタにとって、(それまでの数多くの選択も影響しているでしょうが) 福音の道から最初に足を踏み外した瞬間とはっきり分かるのは、ある一つの決断でした。10代のころ、宿題をするために教会を2、3週間休んだのです。「当時あんなに小さなことと思ったことがそもそもの始まりになるというのは、興味深いことです」と、彼女は言います。

2、3週間休んでしまうと、次の週ははるかに休みやすくなりました。数週間行ったり行かなかったりするうちに、それが数か月になりました。そして18歳になってからは、土曜日の夜遅く、友人からクラブに誘われるようになり、日曜日に教会に行くのはさらに難しくなりました。それに、酒も覚えました。

「良くないとは分かっていたのですが、その気になればすぐにやめられると思いました。自分の選択を正当化しようとしたのです」と、彼女は語ります。

ロベルタは神殿と相いれない生活をしていましたが、ダニエルに会うと、彼をニュージーランド・ハミルトン神殿の庭に連れて行き、神殿で結婚したいと伝えました。

ほんとうにそうだったとロベルタは言います。しかし、悪い決断を下す度に、そのような決断に対するためらいがなくなっていくようで、目指していた目標は遠ざかる一方でした。そのうちに、ロベルタとダニエルは一緒に生活するようになりました。

「自分の望みと決断がかけ離れていました。正しいと分かっていることとは違うことをしていたのです。目先のことだけを見ていました。決断とその結果が結び付いていなかったのです」と、彼女は語ります。

主は失われたものを捜される

目的からは遠く離れていましたが、それでもロベルタは主にとって失われたものではありませんでした。ダニエルとロ

ベルタは当時理解していませんでしたが、「失われたものを尋ね出して救う」ために来られた良い羊飼いは、ずっと彼らを探しておられたのです(ルカ19:10)。

ロベルタがダニエルを神殿の庭に連れて行ったときや、ロベルタの父親が彼らの子供たちに祝福を授けたときなどに、御霊はダニエルに働きかけていました。彼らは何度か転居しましたが、転居する度に宣教師に出会い、そして時折宣教師から学びました。

そして、2006年に再び転居した後、活発な教会員である昔の学友のダン・ネイサンとリサ・ネイサンに出会いました。ダニエルとロベルタが、ネイサンの家族のワードの管轄区域に引っ越して来たばかりのときのことです。

ロベルタは、一緒に教会に行こうというリサの誘いを受け入れるのを、3週間ためらっていました。「自分の状況を説明せざるを得なくなるのが嫌でした。でも、子供たちは初等協会に行かせようと思いました」と、彼女は語ります。

間もなく、ダニエルとロベルタは再び宣教師に会うようになりました。ダニエルは教会に出席し始め、福音の原則クラスの立派な教師から大きな影響を受けました。訪問教師が毎月訪問しました。夫妻は特別ディボーショナルで十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老にも会いました。

ロベルタには、天の御父が「大勢の善良な人々を備えてわたしたちを助けてくださった」ことが数々の経験から分かっています。

自分のなすべきことを考える

いろいろな経験と様々な人を通して、天の御父は、ダニエルとロベルタに「自分のなすべきことを考える」機会を与えられました(ハガイ1:7)。しかし、成長するためには、「[自分の]道を主にゆだね」なければなりません(詩篇37:5)。

「自分の道が主の道と異なっていることは分かっています



たが、自分の道と主の道を結び付ける方法が分かりませんでした」と、ロベルタは語ります（イザヤ 55：8－9 参照）。

ダニエルとロベルタに転機が訪れたのは、霊的な意味で何を目標したいのか、そのためには何をしなければならないのかを決めるよう宣教師から言われたときです。

「結局、主の道が導く場所に行きたいという結論に達し、主の道を歩むにはどうすればよいか考え始めました」と、彼女は語ります。

その後数か月、ロベルタは、過去の間違った決断に背を向け、10年以上前に離れた道に立ち返るように努力しました。ロベルタは10代のとき、小さな決断の積み重ねによって福音の道からそれて行きました。戻る道も同様に、一見小さなことを毎日行うことから始まりました。

「毎日基本的な事柄、つまり個人と家族の祈りや、聖文を読むこと、子供たちを教会に連れて行くこと、できるときにはほかの人々を助けることなどを行うよう努力し始めたとき、天の御父がわたしたちを心にかけて、祈りを聞いてくださっていると感じられました。家族は幸せになってきました」と、ロベルタは語ります。

このように小さな決断がダニエルとロベルタの力になって、大きな決断を下す時が来ました。二人は結婚することにしたのです。そして、ダニエルとロベルタが宣教師に会うようになってからおよそ1年後、いつまでも家族と一緒にいたいという願いから、ダニエルはバプテスマを受けました。

そして、将来の望みにつながることを毎日行うという努力を2年間続けた末、ついにダニエル

とロベルタは神殿で結び固めを受けました。ロベルタの子供のころからの夢がかなったのです。

永遠のために今日を生きる

天の御父の計画の一部として、ダニエルとロベルタには、どの道を選ぶか、すなわち自分の道を選ぶか主の道を選ぶか、毎日決断する機会があります。二人は、自分たちの日々の選択がどのような結果をもたらすのかを意識するようになりました。

永遠の行く末にどんな影響を与えるかを考えずに日々決断を下していると、いかに道を見失いやすいかが二人には経験から分かっています。しかしまた、引き返す道があることを実際に学べたことにも感謝しています。

ロベルタは言います。「わたしは、主がわたしを愛し、戻って来てほしいと思っておられることを知っています。なぜなら主は、わたしたちが戻れるよう助けてくれる人々に人生の旅路で出会わせるという祝福を与えてくださったからです。わたしが教会から離れていた間も、主がわたしを忘れることは決してありませんでした。」

良い羊飼いの愛と贖いの犠牲のおかげで、「悪しき者はその道を捨て、……主に帰〔ることが出来ます。]……そうすれば、主は彼に愛を施〔し)……豊かにゆるしを与えられます]……。」(イザヤ 55：7)

今、ネピア家族は、将来の望みにいつも心向け続けようと努めています。「この人生には今の状態以上のものがあることが分かると、何を選択するかが変わってきます」と、ダニエルは語ります。■



人の行く末を左右する決定

「歴史は小さな決断によって変わると語った人がいますが、人の生涯についても同じことが言えます。わたしたちの生涯は、わたしたちの下す決定のいかんにかかっています。言い換えれば、日々の決定が人の行く末を決めるのです。」

トーマス・S・モンソン大管長
「人の行く末を左右する決定」
『聖徒の道』1980年7月号、
30

キリストが慰めてくださるよう

■ ユージーランドの北島でわたしたちが迎えた初めてのクリスマスのことでした。そこは美しい魅力的な島です。しかし、気候は穏やかで、優しい教会員がいたにもかかわらず、わたしは親兄弟が近くにいないことにひどく寂しさを感じました。その年にアメリカから引っ越して来て、ホームシックになったのです。

新しい土地で、わたしたち夫婦はウィルソン家族と友達になりました。ほかのキリスト教会に通っている若いアイルランド人の家族です。彼らも最近ニュージーランドに来たばかりでした。ノレーン・ウィルソンはわたしの職場の同僚でした。わたしたちはすぐに良い友達になり、移住のことや新しい土地を愛していることなど、様々な経験について語り合いました。こう

して友情が深まるにつれて、わたしは、その家族もストレスだけでなく寂しさとも戦っていることを知るようになりました。その家族には3人の幼い子供がおり、奥さんは4人目をおなかに宿していました。

ある晩、わたしは特に寂しさを感じ、自分がみじめに思えてきました。その時です。自分の寂しさに打ち勝つ最も良い方法はほかの人を助けること、特にウィルソン家族を助けることであるという気持ちを強く感じました。その夜わたしたち夫婦は、ウィルソン家族の玄関先にメッセージとささやかな贈り物を毎日匿名で届けることに決めました。12日間にわたってウィルソン家族とともにクリスマスを祝うことにしたのです。毎晩、わたしの寂しさは興奮と期待に代わりました。家にそっと

近づき、メッセージと贈り物を置くと、ドアをノックして逃げるのです。笑いが止まりませんでした。

ノレーンは毎日職場で、前の夜にやって来た不思議な「クリスマスの妖精」についてわたしに話すのでした。楽しいクリスマスの訪問者が来るのを子供たちが今か今かと待っている様子を話すのです。わたしたちは何回か、ワードの青少年に協力してもらいました。

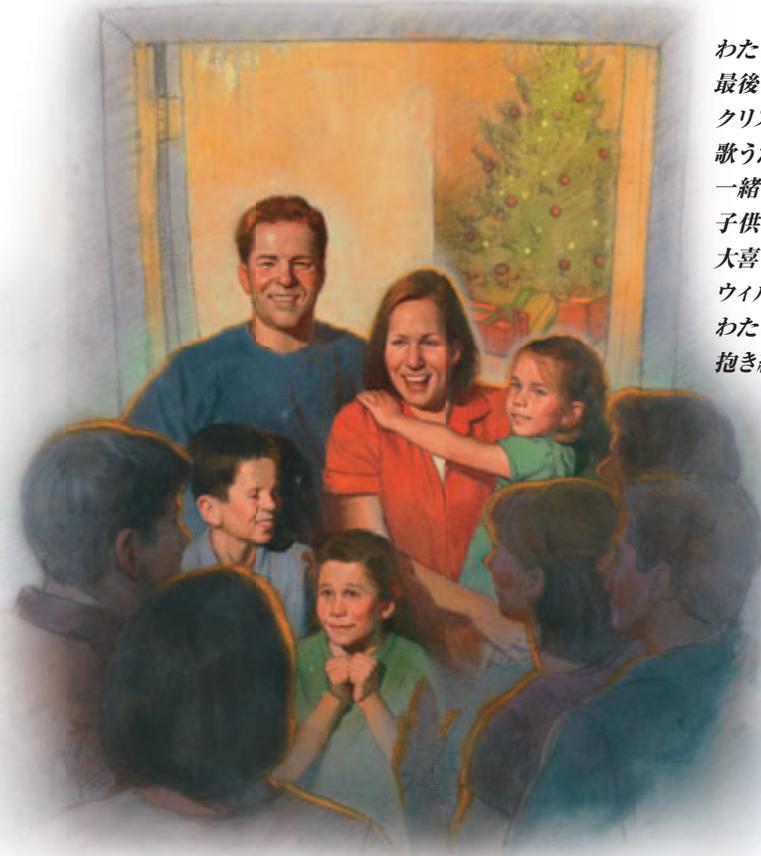
最後の夜、つまりクリスマスイブのことです。ウィルソン家族は、妖精たちに会うことができますようにというメッセージとクッキーを玄関先に置きました。わたしたちが最後の贈り物としてクリスマスキャロルを歌うために青少年と一緒に訪れると、子供たちは大喜びでした。ウィルソン夫妻はわたしたちを抱き締め、感謝の涙を流しました。わたしの寂しさは愛と喜びに代わり、家族の友情のきずなは強められたのです。

後日、わたしたちはウィルソン家族の教会の人から電子メールを受け取りました。わたしたちがその家族のために行ったことに感動したので、わたしたちの教会について、またわたしたちがほかの人々のために行っている奉仕活動について教えてほしいと書いてありました。その教会の人々は、クリスマスの12日間についてまったく聞いたことがありませんでしたが、今では末日聖徒と一緒にこの伝統を守っています。

わたしはニュージーランドでのあの最初のクリスマスを決して忘れないでしょう。困っているとき、寂しいときにイエス・キリストがわたしたちを慰めてくださるよう、自分のことを忘れて出かけ、「慰めの要る者を慰める」ということを、わたしは思いがけない方法で学んだのです（モーサヤ 18：9）。■

アンジェラ・フォーレンティン
(ニュージーランド)

わたしたちが最後の贈り物としてクリスマスキャロルを歌うために青少年と一緒に訪れると、子供たちは大喜びでした。ウィルソン夫妻はわたしたちを抱き締めました。



オブレゴンからの クリスマスカード

メキシコで伝道していたときのことで。同僚とわたしは、カリフォルニア湾に近いメキシコ北西部のオブレゴンから来た一人の男性に会いました。わたしたちが伝えている福音の回復についてのメッセージに彼は興味を示しましたが、話をする時間は10分しかありませんでした。列車に乗らなければならなかったからです。わたしたちはその短い時間内でできるかぎり教え、モルモン書とあらゆるパンフレットを渡しました。当時、わたしたちの伝道部ではオブレゴンに宣教師はいませんでした。

数か月後、オブレゴンからクリスマスカードが届きました。カードを見ても、送り主に心当たりはありませんでしたが、ふと気がつきました。10分間話したあの人からだったのです。わたしはそのカードを、ほかの長老たちや自分ももらったほかのクリスマスカードと一緒にアパートに飾りました。

クリスマスが過ぎてそのカードを捨てようとしたのですが、取っておくようにという導きを感じました。声が聞こえたわけではなく、心に感じたのです。わたしはそのカードを捨てないで、スーツケースに入れました。

数か月後、伝道本部発行の月例通信を読んでいると、オブレゴンで伝道活動が開始されるという発表が目に入りました。この都市が自分に何か関係があるような気がして考えました。そして、オブレゴン出身の男性のことをまた思い出したのです。わたしはスーツケースをくまなく探してクリスマスカードを見つけました。わたしは「この長老たちはわたしの友人です。福音



クリスマスが過ぎてそのカードを捨てようとしたのですが、取っておくようにという導きを感じました。

を伝えるために、この長老たちを送ります」と書いて、カードをオブレゴンで伝道する長老たちに送り、それを持って彼を訪ねよう頼みました。

程なくして、オブレゴンの長老たちから手紙をもらいました。それにはこう書かれていました。「愛するラモス長老、ここでの伝道は非常に難しいため、伝道部会長はわたしたちを引き揚げさせることを計画していました。そのときに、あなたのカードが届いたのです。わたしたちはこの兄弟に会いに行きました。すると彼はわたしたちの

メッセージをととても喜び、家族の全員と友人たちに会わせてくれました。この兄弟のおかげで、支部ができました。」

あれから何年かたち、現在、オブレゴンには3つのステーキが組織されています。御霊の^{みたま}促しに従ったおかげで、オブレゴンの兄弟姉妹がイエスキリストの福音を受け入れるうえでささやかながら力になれたのです。このことを知って、へりくだる思いを感じています。■

ロバート・ラモス
(アメリカ合衆国、オレゴン州)

食べる物がありませんでした

クリスマスの前日、その日のクリスマスディナーに食べる物が何もなかったのが心配で、わたしは朝早く目が覚めました。食べ物を買うお金もありませんでした。当時、わたしはベネズエラのマラカイボで妹のエディクタと一緒に生活していました。

わたしはベッドから出ると、ひざまずいて祈り始めました。わたしたちを思い出してくださるように天の御父に嘆願しました。その非常に特別な日「ノーチェブエナ」(クリスマスイブ)のために何か少しでも食べ物を与えてくださるようお願いしました。

祈ると平安に満たされました。「万事がよくなる。心配しないように」と語りかける優しい声が聞こえたような気がしました。祈り終えたとき、その日何か良いことが起こることが分かりました。

わたしは妹を起こすと、表のポーチを掃きに行きました。すると、向かいの人がわたしを見るとやって来て、1,000 ポリバルをくれたのです。わたしが刺しゅうしたクリスマスのテーブルクロスと飾り付けの代金でした。忘れていたので驚きました。

わたしは妹の部屋に走って行き、受け取ったお金を見せました。妹は驚いて、どこで手に入れたのかと聞きました。わたしは、「神にはなんでもできない事はないのよ」と答えました(マタイ 19:26)。

数分後に、外で妹を呼ぶ声が聞こえました。同じ人だと分かり、わたしたちは外に出て話しました。すると彼女は妹に、縫い物の代金として1,000 ポリバル払ってくれました。妹とわたしはとても喜びました。朝食と昼食、また

夕食も買えるようになったからです。

わたしたちが食料品店で買い物をから帰ると、友人が待っていました。クリスマスイブを独りで過ごしたくないので、一緒に「ノーチェブエナ」を過ごさせてくれないかと言われました。家でささやかながらディナーを食べる予定なのでいいですよと答えました。するとこの友人は、夕食の費用の足しにと2,000 ポリバルをくれました。このように信じられないほど、神はわたしたちを祝福してくださったのです。

その後、めいから電話があり、その夜に着くので、マリネにした肉を15キロほど持って来るとのことでした。また正午には、おいが妻や子供たちとともにやって来て、夕方にもまた幾らか食

べ物を持って戻って来るので一緒にクリスマスイブをお祝いできるだろうかと言いました。

「豪勢なディナーはないけど、全員に足りるだけは十分あるわ」と、わたしたちは答えました。

その夕べに、エディクタとわたしは、鶏肉を焼き、ポテトサラダとレモンデザート、それに、伝統的なココナツプリンデザート、「マハレテ」を作り、お客様全員と楽しみました。しかし、わたしたちはまず、わたしたちに与えてくださった大なる祝福を天の御父に感謝しました。その日、わたしたちは、信仰をもって疑わないかぎり、わたしたちが助けを求めれば天の御父はわたしたちを祝福してくださるということを思い起こしたのでした。■

エスチータ・チャシン・ハート
(アメリカ合衆国、ユタ州)

わたしはベッドから出ると、ひざまずいて祈り始めました。わたしたちを思い出してくださるように天の御父に嘆願しました。



リンダの最後のクリスマス

わたしがブリガム・ヤング大学2年生のとき、ワードのビショッププリックは、ワードとしてサンタクロース代役プログラムへの参加を申し込みました。貧しい家族にクリスマスプレゼントを渡すプログラムです。

ところが、いつまでたってもボランティアの名簿にわたしたちのワードの名前が載りません。クリスマスが近づいても、助ける家族がなかったのです。するとビショップの顧問の一人が、代わりに助けられそうな家族がいると言って、ある家族のことを話してくれました。これを聞いて、わたしたちは皆、この家族を助けるべきだと確信しました。

リンダ(仮名)には9歳から15歳までの息子が数人おり、乳癌にゅうがんと闘っていました。病に苦しんでいる最中に、夫は出て行きました。彼女は職探しのために他州からユタ州プロボに引っ越して来たばかりでしたが、仕事は見つからず、収入がなくなりました。

わたしたちはリンダに会うと、すぐに彼女のことを真剣に考えるようになりました。わたしたちは祝福されて、救い主が御覧になるように、彼女のことを「多くの困難な問題に打ち勝ってきた偉大で高潔な霊」として見ることができました。彼女はわたしたちにとってプロジェクトの対象者などではなく、永遠の友でした。ワードの全会員が彼女とその息子たちを助けるために何かをささげました。わたしたちは皆、若い大学生であり、自分自身貧しかったにもかかわらず、喜んで与えました。彼女を愛していたからです。

リンダがワードのクリスマスパーティーに来ている間に、何人かのワー



リンダがワードのクリスマスパーティーに来ている間に、何人かのワードの会員が彼女のアパートに行き、食器棚と冷蔵庫を食料品でいっぱいしました。

ドの会員が彼女のアパートに行き、食器棚と冷蔵庫を食料品でいっぱいしました。クリスマスツリーを飾り付け、その周囲に家族全員のためにプレゼントを置きました。また、車の新しいタイヤも4つ置いて帰り、数か月分の家賃を支払いました。わたしたちのわずかばかりの寄付がこのすべてを行うためにどれほど役立ったのかよく分かりません。しかし、天の御父がわたしたちの犠牲を用いて彼女を祝福してくださったことは分かりました。

1年後、わたしは別の学生ワードに所属していましたが、クリスマスのときに前のワードのビショッププリックを

訪ねました。そして、リンダの夫が家族のもとに戻って来たことと、家族が経済的に安定したことを知りました。しかしその後リンダは、癌が再発して亡くなっていました。わたしたちが助けたのは、リンダにとって最後のクリスマスだったのです。

わたしは、その経験を通して「キリストの純粋な愛」を非常に強く感じ(モロナイ7:47)、真の慈愛とは救い主たまたものに代わって働くよう促す貴い霊的な賜物であることを学んだのでした。■

J・オードリー・ハンマー
(アメリカ合衆国、ユタ州)

七十人

パトリック・
キアロン長老



急ぎ^ゆ行きて 拝まずや

昨年のクリスマス、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーにある教会本部で務めを果たしていた時のことです。「逆転層」と呼ばれる局地的な気象現象を経験しました。逆転層とは、地上付近の気温が上空の気温よりも低い、通常とは逆の状態、つまり気温が「逆転」した状態のことです。ソルトレーク・シティーに特有の現象というわけではありませんが、この街は高い山に囲まれた盆地にあるため、逆転層の影響がより顕著に現れます。この地形のために都市のсмоッグが閉じ込められて谷底にとどまり、ソルトレーク・シティーと周辺の地域を冷たく厚い暗雲が覆うのです。смоッグは呼吸器に問題を抱える人にとって有害であるほか、空気が汚く感じられ、太陽が何日間も、時には何週間も見えないため、多くの人が沈んだ気分になります。

しかし、車で少し山を上ると、смоッグの厚さはほんの百メートルほどであることが分かります。数分後には、明るい日の光の中で、澄み切った空気を吸い、雪を頂く汚れない山々を眺めることができます。足もとの盆地とはまったく対照的です。さらに山を上って行きながら、さっきまでいた盆地のсмоッグを見下ろすと、青空の下に広げた汚れた毛布のように見えます。

比喩的な表現をすれば、わたしたちは人生の中で、смоッグがかすんだ暗い谷底で行き詰まっている自分に気づくことがあります。賢明で

**わたしたちは、
谷の汚れた空気を
抜け出して、
平安と希望という
明るい日の光の中に行く
力と能力が
自分にあることを
理解しなければなりません。
その光は、
救い主のもとに
行くことによるのみ
見いだせるものです。**



ない選択や御霊を遠ざけるような振り舞いをしたために、あるいは単に現世に付き物のつらい決断や難題のために、息の詰まるような濃い霧から抜け出せずにいるように感じるのです。視界が利かず、戸惑い、天の御父の愛の光とぬくもりから遠ざかってしまったと感じます。主の清らかな光が自分を待ち受け、呼んでいること、信仰をもってほんの数歩進んだ先にその光があることを忘れてしまいます。わたしたちは、谷の汚れた空気を抜け出して、平安と希望という明るい日の光の中に行く力と能力が自分にあることを理解しなければなりません。その光は、救い主のもとに行くことによるのみ見いだせるものです。

このクリスマスの季節に、わたしたちは世の光であるイエス・キリストの降誕を喜びます。主は御自分のもとに、光の中に来るようにわたしたち全員を招いておられます。聖典には、主がお生まれになったときに文字どおり主のもとに行くという祝福にあずかった男女のことが記されています。遠くからやって来た人もいれば、すぐ近くにいた人もいました。天使の訪れを受けた人もいれば、個人の啓示に従って行動した人もいました。しかしいずれの人も皆、主のもとに来るようにとの招きを受け入れたのでした。

恵まれて自分の目で幼子^{おきなご}キリストを見に行くことのできた羊飼いたち、シメオン、アンナ、博士たちからどのようなことが学べるでしょうか。キリストのもとに来るようにとの招きにこたえた彼ら



の忠実な行動について深く考えるとき、自分を覆っている逆転層の濃い霧から抜け出す効果的な方法を学ぶことができます。暗闇や混乱から抜け出して、世の光である御方が与えてくださる一点の曇りもない純粋な希望を得ることができます。そのときわたしたちは、主とともにあって、自分が実際に何者であり、神の永遠の計画の中でどのような立場にあるかを実感するようになるのです。わたしたちの逆転層は収まり、再び視野が開けます。

わたしたちは弟子となるために、羊を野原に残して出かけたり、荒れ野を横断したりするようには求められません。救い主のもとに行くわたしたちの旅は、物理的なものではなく、霊的なものであり、行いに関するものなのです。この旅には、主の贖罪を認め、受け入れることが含まれます。

羊飼いたち

ルカによる福音書第2章のよく知られた聖句から、キリストの降誕の最初の証人である、ベツレヘム近くの野原にいた羊飼いたちについて重要な事柄が学べます。「主の御使が現れ〔たとき〕、彼らは非常に恐れました(9節)。しかしその後、「大きな喜び」のおとずれ、すなわち、昔から預言されていた救い主、メシヤであるキリストがお生まれになったことを告げられます(10節)。そして「幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてある」と聞き、救い主を見分けるためのしるしを知りました(12節)。天の軍勢が喜びに満ちた宣言を終えると、羊飼いたちは直ちにこたえて、「さあ、ベツレヘムへ行って、……その出来事を見てこようではないか」と言い(15節)、「急いで」行って、天使が言ったとおりに幼子キリストを見つけました。そして、「神をあがめ、またさんびしながら帰って行〔き〕」ました(20節)。羊飼いたちは救い主の降誕という栄えあるおとずれを知らせたいと思い、「人々に伝え」ました(17節)。

わたしたちも羊飼いたちのように、御霊が語られたときにはいつでも直ちに、急いで応じなければなりません。トーマス・S・モンソン大管長の言葉を借りれば、「決して、決して、決して、御霊のささやきに従うのを引き延ばしてはならない」のです。¹ 時々、促しに従った後で、なぜそのように行動するよう御霊に導かれたのかははっきり分からないことがあります。しかししばしば、羊飼いたちのように、奇跡が起こるのを目にして、ささやきに忠実に従ったのは正しかったということが確認されるのです。その後、機会をとらえて喜びや証を人と分かち合うことができます。それによってほかの人の信仰と希望を強めることができ、自分自身の証もさらに確かなものとなり、救い主とその道に近づくことができます。

シメオン

シメオンもまた、恵みを受けて幼子キリストの証人となりました。シメオンはいつも聖霊と交わっていた「正しい信仰深い」人でした（ルカ 2：25）。「主のつかわす救主^{すくいぬし}に会うまでは死ぬことはない」という示しを受けていたシメオンは（26節）、その祝福された出来事を期待し、待ち望みながら生きていました。マリヤとヨセフが「幼な子を主にささげるため」（23節）に生まれて間もないイエスをエルサレムに連れて来た日、御霊がシメオンに神殿に行くよう促しました。シメオンはその赤ん坊が約束されたメシヤであることを認め、「幼な子を腕に抱き、神をほめたたえて」（28節）、「異邦人を照らす啓示の光、み民イスラエルの栄光」としての聖なる幼子の行く末について預言しました（32節）。

シメオンは義にかなった忠実な生活をしていたので、神殿にいて、ついに光を見いだしたときにその光について証することができました。わたしたちもシメオンのように、聖霊のささやきにさらに敏感に、また従順になるよう努め、それによって天の御父がわたしたちに

望んでおられる道を進むことができます。シメオンは御霊に聞き従う能力を培っていたので、適切なきに適切な場所にいることができました。そして、主から受けていた約束が最も栄えある形で成就したのです。

わたしたちもそれぞれ同様の機会を得て、同じように人生の中で主の計画を明らかにしていただくことができます。永遠にわたって重要な意味を持つ決断を下すときや人生の岐路に立つとき、わたしたちにははっきりとした考えと正しい見方が必要です。時々、重要な決断を下すべき状況にあって、逆転層の下の暗い谷底で不安や動揺を覚えることがあり、行動を起こせないと感じることもさえます。しかし、信仰をもって歩み、義の原則に従って行動するとき、神の計画が自分の人生で形を成していくのが少しずつ見えてきて、神の愛という明るい日の光の中に戻ることができるのです。

アンナ

アンナは「非常に年をとっていた」女性で、すでに夫を亡くしていました。「女預言者」であったと記されています（ルカ 2：36）。長く忠実な生涯において「宮を離れずに」、絶えず断食と祈りをしていました（37節）。神殿で赤ん坊のイエスを見ると、アンナは幼子キリストについて「感謝をささげ」、「この幼な子のことを、エルサレムの救^{すくい}を待ち望んでいるすべての人々に語りきかせ」ました（38節）。

アンナの経験から、絶えず断食と祈りを続けるならば、そして心の中で神殿から離れなければ、どのような状況でも忠実に生活できるということが学べます。神殿まで行ってその祝福を受ける機会をまだ得ていなくても、ふさわしい状態で神殿推薦状を持つことによって生活に注がれる祝福をやはり味わうことができます。預言者たちは、たとえ神殿に参入できない状況にあってでも神殿推薦状を持つように繰り返し勧めています。² わたしたち



「羊飼いの御霊」デル・ハートマン画。「シメオンの感謝の祈り」ロバート・T・ハレット画。「確かな証」エルスペース・ヤング画。複写は禁止されています。



「羊の群れ」マイケル・アルフレクトソン画。複写は禁止されています。





は神殿での礼拝によって、また、平安と希望を待ち望んでいるすべての人にイエスについて証することによって、暗い闇から感謝という光の中に自らを引き上げることができます。

博士たち

最後に、マタイによる福音書第2章には、遠くから旅をして来た博士たちについて書かれています。彼らは「東の方でその星を見」、そのしるしを理解していました(2節)。敬意と礼拝の思いを込めた贈り物を携えて、博士

**羊飼いたちやシメオン、アンナ、博士たちの
忠実な行動について深く考えるとき、
自分を覆っている逆転層の濃い霧から抜け出す
効果的な方法を学ぶことができます。
暗闇や混乱から抜け出して、
世の光である御方のもとに行くことができます。**

たちは幼子を探してやって来て、次のように尋ねました。「ユダヤ人の王としてお生まれになったかたは、どこにおられますか。」(2節) ついに幼子キリストを探し当てると、「ひれ伏して拝み」、宝をささげました(11節)。博士たちはヘロデの欺きに遭いましたが、「夢でヘロデのところへ帰〔らずに〕他の道をとって」帰るようとの「み告げを受け」ました(12節)。博士たちは神から受けたこの啓示に従って行動し、聖なる家族をヘロデの邪悪な企てから守りました。

博士たちから学べることはたくさんあります。わたしたちは皆、地上を救い主の再臨に備えるに当たって、博士たちのように聖文を研究し、待ち設けるべきしるしについて知る必要があります。そうするなら、聖文を調べて深く考えるときに、日々の生活でさらに主を見いだ

そうと求め、主への贈り物として、利己心や高慢な心、反抗心を捨てたいという望みをさらに強く持つようになります。個人の啓示を受けて、自分が立てていた計画を変える必要が生じたときに、神はわたしたちにとって何が最善かを御存じであるという信仰と信頼をもって従うことができます。そして最終的に、わたしたちは真の弟子としての生涯にわたって、謙遜と愛のうちにひれ伏して救い主を拝まなければなりません。

このような弟子となるために、必ずしも羊を野原に残して出かけたり、荒れ野を横断したりするように求められるとは限りません。主のもとに行くわたしたちの旅は、物理的なものではなく、霊的なものであり、行いに関するものなのです。この旅には、主の贖罪が無限であり、わたしたちの人生のあらゆる側面、すなわち罪や弱点、苦痛、病、弱さに及ぶという事実を認め、受け入れることが含まれます(アルマ7:11-13参照)。それは、わたしたちは自分を逆転層の暗い霧の中に引き留めるものを手放すことができ、世の光である御方のぬくもりと愛の中で生活できることを意味しています。大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は次のように教えています。「『キリストのもとに来なさい』という言葉は招きの言葉です。あなたが人に伝えることのできる最も重要な招きの言葉です。また、だれもが受け入れることのできる最も重要な招きでもあります。」³ ■

注

1. トーマス・S・モンソン「霊は人を生かす」『聖徒の道』1985年7月号, 70
2. 例として、ハワード・W・ハンター「教会員の大いなる象徴」『聖徒の道』1994年11月号, 6参照
3. ヘンリー・B・アイリング「キリストのもとに来なさい」『リアホナ』2008年3月号, 49



「どうしたら将来を楽観的に 見ることができるでしょうか。」

個

人に、時には地球上のすべての人に、勇気をくじくようなことや悪いことが頻発していると思うときがだれにでもあります。しかし、主イエス・キリストを信じる信仰を持つわたしたちには希望を持つ理由があることを忘れてはなりません。

2009年4月の総大会で、トーマス・S・モンソン大管長は「元気を出しなさい」という主の戒めを採り上げ(教義と聖約68:6)、次のような言葉でわたしたちを励ましました。「暗雲が立ち込めても、大雨に襲われるとしても、まっすぐに歩み、戒めを守るならば、福音の知識と、天の御父と救い主の愛はわたしたちを慰め、支え、心に喜びをもたらしてくれます。世のいかなるものもわたしたちを打ち負かすことはできません。」嵐あらしの中で、雲間から光が見える兆しすらなく、最悪だと思ふようなときでも、福音を理解していれば将来を楽観的に見ることができます。同じ説教でモンソン大管長はこう言っています。「未来は皆さんの信仰と同じく希望に満ちています。」(「元気を出しなさい」『リアホナ』2009年5月号、92)

読み、祈り、ほほえむ



2、3年前、中央若い女性の指導者は、100パーセント実行するよう、こんなチャレンジをしました。毎日モルモン書を読み、毎日祈り、そしてほほえみなさい、というものです。わたしはこれをやってみて、できるかぎり続けようと思いました。驚いたことに、このチャレンジのおかげで生活が大きく変わりました。さらに幸せになり、御霊みたまを受けようになり、物事を楽観的に見ることができるようになったのです。それでも逆境に陥ることはありますが、御霊の力があるので、喜んで忍耐できるようになりました。

アリアナ・G、16歳(アメリカ合衆国、バージニア州)

希望を持つ

楽観的な姿勢を保つためにできることのうち最も効果があるのは、ほほえむことと希望を持つことです。希望を持つことによって、これまで数え切れないほど助けられてきました。また、自分がどれほど祝福されているかを考え、天の御父からどれほど愛されているかを理解しなければなりません。わたしたちはどんな状況にあっても天の御父に頼って平安を求めることができます。御子はわたしたちのために苦しまれたのですから、わたしたちの痛みを御存じです。わたしたちは御子を通して希望を得、癒いやされ、そしてもちろん、幸せになるのです。

コリー・D、18歳(アメリカ合衆国、ユタ州)

あがな 贖いについて考える

救い主の贖いについてよく考えると、必ず希望がわき、前向きになれる。この世ではだれでも試練に遭います。でも、贖いは、この世的なものであれ霊的なものであれ、あらゆる試練や問題に、解決への道を与えました。贖いのおかげでわたしたちはこの道を知ることができるのです。贖いは、神が子供たちに対して持つておられる愛の大なる表れです。贖いは無限です。そして、わたしたちへの神の愛も無限です。そう考えると勇気がわき、恐れず未来に立ち向かうことができるようになります。

ダリル・A、18歳(フィリピン、ラグナ)

忠実である



こうした困難な時期があることも主の計画に含まれており、旧約の時代から預言されてきました。主は聖典の随所で、義人は祝福され、守られると約束しておられ

ます。忠実であれば、聖霊がそばにいてこのような騒然とした時代に導き、慰め、主はわたしたちのための計画をお持ちであることを思い起こさせてくださいます。祝福文を持っているなら、よく研究して、主が自分のために何を用意されているか考えてみてください。

レイ・B, 17歳
(アメリカ合衆国, ワシントンD.C.)

祝福について考える



つらいときには少し時間を取って立ち止まり、受けている祝福と自分が知っている福音について思い巡らすと、喜びと希望がわいてきます。親友がいるといった簡単なことでも、救いの計画のように壮大なものでもいいのです。考えていると喜びに満たされ、その喜びを人に伝えたいくなります。こうすると、わたしは楽観的な姿勢を保つことができます。

アネット・M, 15歳
(アメリカ合衆国, ミシガン州)

神殿のことを思い起こす



わたしは落ち込むと、若い女性のテーマの最後の言葉についてよく考えます。「わたしたちは、これらの徳質を受け入れ、それに従って行動するようになるにつれて、家庭と家族を強め、神聖な聖約を交わして守り、神殿の儀式を受け、昇栄の祝福にあずかる備えができるようになりますと信じます。」この言葉に安らぎを見いだすことができますし、この言葉がわたしの人生で実現することを知っています。この言葉は徳高いすべての若い女性の人生で実現するのです。何ととっても、わたしは神聖な神殿の儀式に対して希望

を抱いています。義にかなった生活をするので受ける祝福には限りがありません。これを思うと、喜びと希望、愛、勇気で胸がいっぱいになります。

ナタリア・M, 18歳 (ベネズエラ, メリダ州)

勝利者の側にいる



前向きでいるためには、最後は主の側が勝つ、という単純な真理を知る必要があります。簡単なことです。サタンには神に勝つ力がありません。どちらが勝つかはすでに分かっているのですから、主の側にとどまることだけを考えればいいのです。神殿に入るにふさわしい生活をしていれば、主の側にいることを主に示すユニフォームを着ていることとなります。聖文を読み、祈り、兄弟姉妹に奉仕するならば真の幸せを見いだし、物事を楽観的に見ることができるようになっていきます。

ブライデン・F, 17歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)

感謝の気持ちをはぐくむ

くよくよと悩んでばかりではいけません。わたしは「感謝日記」を付けています。毎日、その日にあったことで

感謝したことを最低一つ書くのです。どんなにつらく感じた日でも、わたしは必ず何か感謝することを見つかることができます。み恵みを数え上げましょう。感謝の気持ちをはぐくむと、人生の良い面に目が向くようになるものです。

アシュリー・H, 18歳
(アメリカ合衆国, オクラホマ州)



輝かしい 未来の自分

「若い友人の皆さん、主は皆さんに、そうした標準を守り、聖文にある福音の真理に従って生きることを心から望むよう期待しておられます。そのように生きるなら、皆さんは将来を知ることができるでしょう。偉大な機会と責任に恵まれた輝かしい未来の自分を知ることができるのです。皆さんは、忍耐強く熱心に働くことをいとわないでしょう。また、楽観的であることでしょう。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ワークトドルフ管長
「初めから終わりを知る」
『リアホナ』2006年5月号, 44

次回の質問

「神殿について
友達に聞かれたら、
どう答えたらいいのでしょうか。
わたし自身、神殿について
よく知らないのです。」

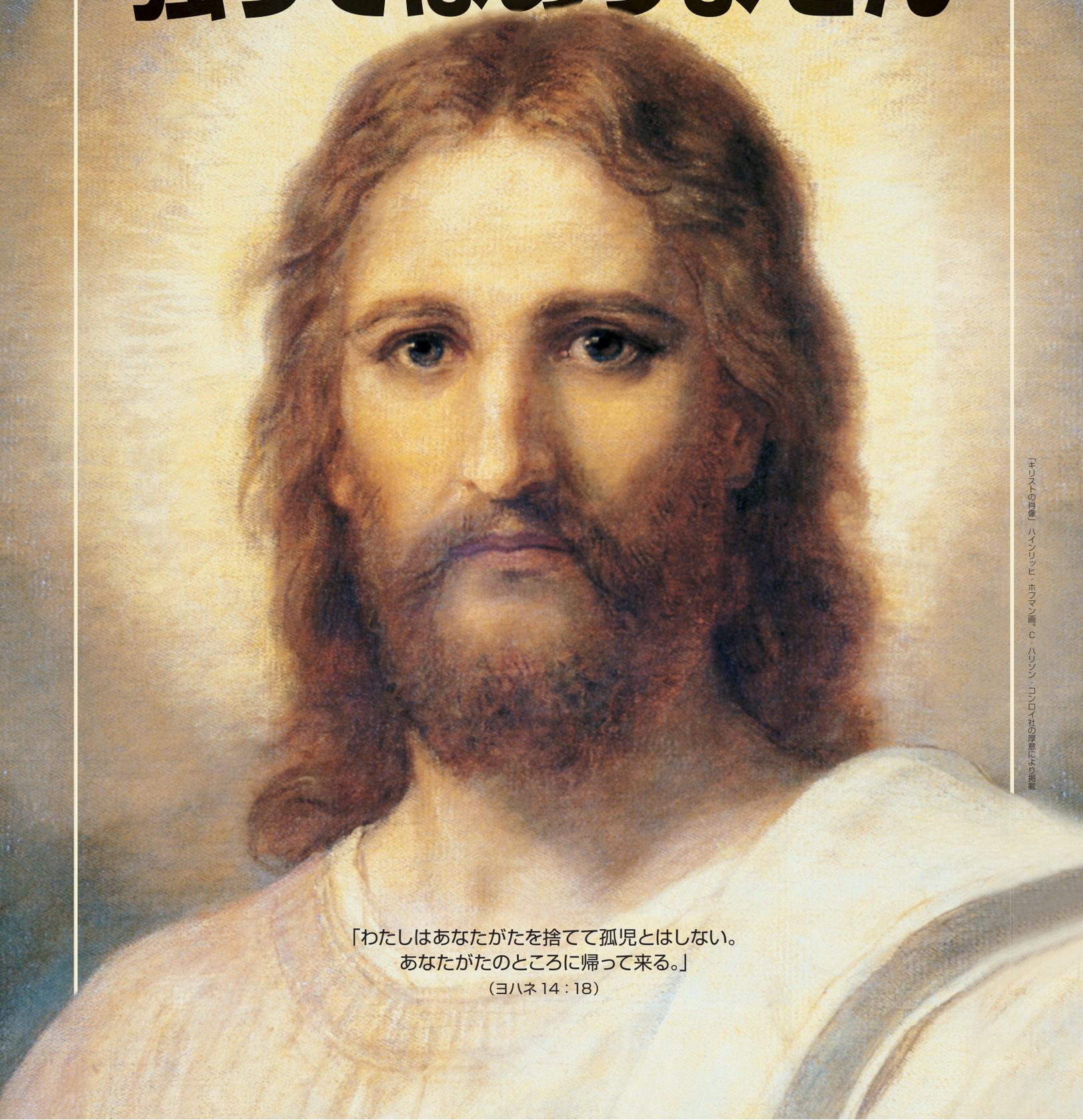
あなたの意見を聞かせてください。2012年1月15日必着で下記まで郵送するか、または電子メールでお送りください。

あて先——
Liahona, Questions & Answers 1/12
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メールアドレス—— liahona@ldschurch.org

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現のために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず含めてください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) あなたの回答と写真の掲載を承諾する文(あなたが18歳未満の場合は、保護者による承諾の文も必要です。電子メール可)。

あなたは 独りではありません



「わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。
あなたがたのところに帰って来る。」

(ヨハネ 14 : 18)

わたしはこのようにして知りました

主は祝福を 注いでくださる

神とはだれなのだろうか。

釈迦、あるいは

イエス・キリストなのだろうか、

それともほかに

神はいるのだろうか。

キム・コーン

わたしはカンボジアで生まれました。大半が仏教徒の国です。クメール・ルージュ政権下での大量虐殺の後、生存者の多くは、もしも神がおられるならば、なぜこんなことが国民に起こるのを許されたのか、と疑問を抱いていました。14歳だったわたしもそうでした。

クメール・ルージュ政権の崩壊後、カンボジアには幾つかの宗教が根づき始めました。教会によって教えがあまりに違うので、わたしは戸惑いました。家族は仏教徒のままでしたが、わたしは心の底からわき上がる疑問に対して、答えが欲しくてたまりませんでした。人はなぜここにいるのだろうか。この人生が終わったら、わたしたちはどこに行くのだろうか。

ある日学校から帰ると、白いワイシャツにネクタイ姿の二人の青年が家に来てイエス・キリストの話をして行ったとおばが教えてくれました。カンボジア語が上手なので驚いたと言っていました。わたしはキリストについて学びたくなりました。人を造ったのはだれなのか知りたかったのです。わたし

の疑問はこうでした。「神とはだれなのだろうか。釈迦、あるいはイエス・キリストなのだろうか、それともほかに神はいるのだろうか。」

おばとわたしは宣教師の訪問を受けることにしました。わたしたちは最初のレッスンで、宣教師が言っていることは真理だと御霊が告げるのを感じました。宣教師はわたしたちにモルモン書を渡して、こう約束しました。この書物を読んで深く考え、神を信じて誠心誠意神に問うならば、神は真理を

示してくださいと。わたしは大いに納得しました。おばとその子供たちとともに、わたしは福音を受け入れました。1か月ほどして、わたしたちはバプテスマと確認の儀式を受けました。

わたしはセミナーに4年間、インスティテュートに1年間出席し、セミナー教師として奉仕しました。19歳のとき、伝道に出るべきだと感じました。両親に話したところ、いいだろうと言われたので、申請書を提出しました。1か月後、英語とカンボジア語が使われているカリフォルニア州サクラメント伝道部で奉仕する召しを受けました。

伝道の召しを受けたわたしに、神は多くの祝福を下さいました。弟は最善とは言い難い決断を下していたので、わたしは断食して祈りました。すると、伝道地に発つ前に奇跡が起こりました。弟がわたしからバプテスマを受けたのです。弟は現在まじめに教会に通っており、セミナーにも出席しています。家族にはほかにもたくさん祝福がありました。それに主は伝道中、わたしにもたくさん祝福を注いでくださいました。

イエスはキリストです。イエスは生きておられます。わたしたち一人一人を愛し、わたしたち一人一人の名前を御存じです。イエスはわたしたちが直面する試練や困難をよく知っておられます。主の戒めを守ろうと努めるならば、主がわたしたちを祝福してくださいることを知っています。■





七十人
カール・B・
プラット長老

あかし

確かな証

熱心な末日聖徒の家庭で育ったわたしは、ずっと証を持っていたと思います。福音が真実であることを本気で疑ったことは一度もありません。多くの10代の若者と同様に、時々疑問を感じることはありましたが、教会が真実でないと感じたことはまったくありませんでした。

この信仰があったからこそわたしは伝道に出ました。そうすることが分かっていたのです。しかし、教会についてさほどの疑問がないとはいえ、自分自身の証を得る必要があることは分かっていました。

伝道に出たのは1961年2月です。冬のソルトレーク・シティを立ち、焼けつくような夏のアルゼンチンに着きました。当時は宣教師の言語訓練はありませんでしたが、伝道部長は、モルモン書を全ページ音読すればスペイン語がぺらぺらになると約束してくれました。わたしは子供のころにスペイン語を学んだことがあって、2、3週間もしないうちに流暢に話せるようになっていたのですが、それで

も伝道部長の指示に従いました。

最初に割り当てを受けた町で、同僚とわたしは古い店舗の裏の住居部分に住みました。アルゼンチンでは午後はシエスタ(昼食およびその後の仮眠のための休業時間)で、伝道ができません。そこで、わたしはその時間を使って古い店舗の玄関で祈り、モルモン書を読んでいました。

ある日、故郷から何千キロも離れたその店舗の前で、ふと、自分が読んでいる書物について考えました。人はモルモン書について祈って深く考えると、御霊の力を受けることができます。わたしはモルモン書の教えについてよく考えてみました。ジョセフ・スミスが版を翻訳したことについて考えました。そのとき突然、それまでずっと教えられてきたことがすべてほんとうなのだということが分かりました。ジョセフ・スミスが預言者であり、自分は神の言葉を読んでいるのだということが突然、はっきりと分かりました。すべてが真実だったのです。

突然感じたこの気持ちは衝撃的なものでした。それはわたしの全身を

頭のとっぺんからつま先まで貫きました。背筋が寒くなるような感じもなく、燃えるような感じでもありませんでした。しかし、確かな証でした。

その日のことは忘れたことがありません。以来、何度も聖霊を感じてきました。この経験のおかげで、わたしは聖霊が証しておられるとき、それを認識することができます。その感覚はいつでもまったく同じというわけではありませんが、いつも温かさや安らぎを感じます。

御霊が語りかけられるのはわたしたち一人一人に対してですが、モロナイの約束は万人に向けたものです(モロナイ10:3-5参照)。モルモン書に書かれているモロナイの約束とは、モルモン書を読んで研究し、深く考え、そして誠心誠意祈るならば、モルモン書が真実の書物であることを御霊が証してくださるというものです。この約束はわたしにも、あなたにも、そして全世界のあらゆる人にも当てはまります。求める人には、確かな証が与えられるのです。■

神に近づきなさい

「わたしは兄弟たちに言った。モルモン書はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守るにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」

ジョセフ・スミス、
『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』64



これが

あなたがたへの しるしである

「世界が始まって以来、
預言を述べてきたすべての預言者たちも、
これらのことについて多少にかかわりなく
述べてこなかったであろうか。」

(モーサヤ 13:33)

ホイトニー・ヒンクレー

ク リスマスは楽しいことがたくさんある季節です。プレゼント、おいしい食べ物、それにお祝いの行事、わくわくすることばかりです。12月に入ってから24日も待てないと思うことだってあります。それがもし1,000年待たなければならぬとしたらどうでしょうか。

救い主がお生まれになった、いわば最初のクリスマスについては、旧約聖書のイザヤからモルモン書のレーマン人サムエルまで何百年にもわたって預言されていました。イエス・キリスト降誕のしるしについて知っていた昔の預言者は、しるしが現れるのを楽しみに、辛抱強く待ちました。人々がしるしを見分けて、主が来られたことを知り、ともに喜ぶことができるように主の降臨を預言したのです。これらの預言の成就是、主が救い主、贖い主として神に召された御方であられることの証でした。

イエス・キリストの降誕と、降誕にかかわる奇跡的な状況についての預言を読み、それらの預言がどのように成就したのか学びましょう。

おとめマリヤからお生まれになる

預言——マリヤ誕生の700年前、マリヤがキリストの母親であることが預言されました。イザヤは次のように書いています。「主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。」(イザヤ7:14)

イエスがお生まれになる約80年前、イザヤのいた地からは地球半周分も離れた場所で、息子アルマもマリヤが救い主

の母親であることを知りました。「神の御子は……マリヤからお生まれになる。マリヤは聖霊の力により覆われて身ごもり、男の子、まことに神の御子をもうけるおとめであり、尊い、選ばれた器である。」(アルマ7:10)

成就——80年後、天使ガブリエルが一人のおとめに現れました。「この処女は……ヨセフという人のいいなづけになっていて、名をマリヤといった。」(ルカ1:27) マリヤは、神の御子であるイエスの母親でした。

ひとりのみどりごがわれわれのために生れた

預言——イザヤはメシヤの降誕を預言しました。「ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、『靈妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君』となえられる。」(イザヤ9:6)

成就——イザヤの預言は救い主の務めによってすべて成就しました。しかし、キリストは粗末な環境にお生まれになったのです。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。」(ルカ2:11-12)

ベツレヘムにお生まれになる

預言——預言者ミカはイザヤとほぼ同時代の人です。ミカは主がベツレヘムの村でお生まれになると預言しました。「しかしベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族のうち



で小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。その出るのは昔から、いにしえの日からである。」(ミカ 5:2)

成就——700年後、ヘロデは律法学者たちに、どこで新しい統治者を見つけることができるか言うよう命令しました。「王は……キリストはどこに生れるのかと、彼らに聞いた。彼らは王に言った、『それはユダヤのベツレヘムです。』」(マタイ 2:4-5)

ダビデの子孫

預言——キリストがお生まれになる6世紀前、主はエレミヤにキリストはダビデの血統より生まれるとお告げになりました。「その日、その時になるならば、わたしはダビデのために一つの正しい枝を生じさせよう。彼は公平と正義を地に行う。」(エレミヤ 33:15)

成就——マタイはキリストの系図を示し、主が古代の王の子孫であられることを伝えました。「アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。……だから、アブラハムからダビデまでの代は合わせて十四代、ダビデからバビロンへ移されるまでは十四代、そして、バビロンへ移されてからキリストまでは十四代である。」(マタイ 1:1, 17)

王の訪問を受ける

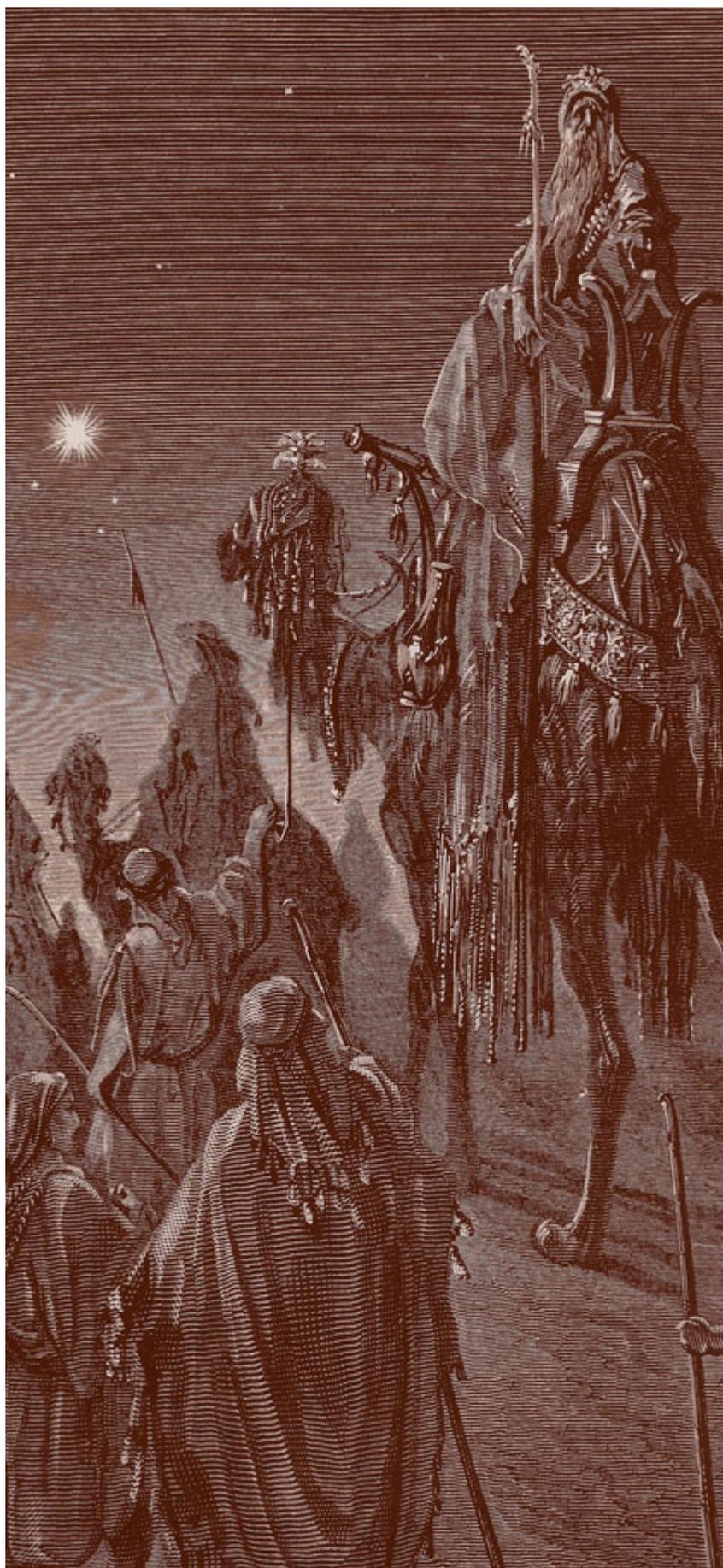
預言——粗末な環境にお生まれになったキリストでしたが、キリストのもとに王たちが訪ねて来ることを預言者たちは宣言しました。「もろもろの国は、あなたの光に来、もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに来る。」(イザヤ 60:3)

キリストがお生まれになる5年前、レーマン人サムエルはニーファイ人に、キリストの降臨を告げるしるしについて語りました。そのしるしの一つが、博士たちが追った星です。「あなたがたが一度も見たことのないような一つの新しい星が現れる。これもあなたがたへのしるしである。」(ヒラマン 14:5)

成就——どのようなしるしを探せばよいのか知っていた博士たちは、預言の成就を待ち望んでいたに違いありません。彼らはこう言っています。「ユダヤ人の王としてお生れになったかたは、どこにおられますか。わたしたちは東の方でその星を見たので、そのかたを拝みにきました。」(マタイ 2:2)

新世界でも、ニーファイ人はしるしを見つけ、預言が成就したことを知りました。「そして、預言者の言葉のとおり、すべてのことがことごとく成就した。そして、一つの新しい星もその言葉のとおり現れた。」(3ニーファイ 1:20-21)

クリスマスのプレゼントを開けるときでさえ、とてもうれしいことです。それが、待ち望んだキリスト降誕のしるしが現れ、預言が成就するのを目の当たりにするときの気持ちはどのようなものなのでしょうか。天の御父は前もってこれらのしるしを用意しておられました。それは、世界中の忠実な人々がともに御子の降誕を喜び合えるようにするためだけではなく、キリストが神から召されていることを証するためでもあったのです。■



「星に導かれる博士たち」キヌスタブ・ドリ画

心のこもった贈り物

博士たちはなぜ、

ヨセフとマリヤに黄金、乳香、
没薬をささげたのでしょうか。

多くの人には、贈り物をするときに大切なのは「思い」だと考えています。贈り物を単なる便利なもの、あるいは興味深いもの以上のものとするのが、贈り物に込められた思いだからでしょう。思いによって贈り物は、受け取る人に対する贈り手の愛や心遣いの象徴になるのです。中には、込められた思い以上の意味を持つ贈り物があります。そうした贈り物は、何かを象徴するものとして広く受け入れられていることから、さらに高い価値を持つのです。実用性、個人的な価値、そして象徴的な意味の3つがそろった贈り物は、どのようなものにも勝って心のこもった、喜ばれる贈り物となるでしょう。

博士たちが幼いキリストに贈った黄金、乳香、没薬という贈り物に込められた思いを考えてみましょう（マタイ2:11参照）。なぜ博士たちが特にこの贈り物をささげたのかについて、聖書は何も語っていません。しかし、この3つの贈り物には実用的な価値があり、そして恐らくは、神の御子と、キリストの地上における両親を象徴する意味もあったのです。

黄金

実用性——ヘロデの怒りを逃れてエジプトに行く費用がすぐにも必要となる若い夫婦にとって、黄金ほど貴重な贈り物はないでしょう。

象徴的意味——王への贈り物といえば黄金です（列王上9:14, 28参照）。なぜなら、黄金は王位と忠誠を象徴するものだからです。まさに「もろもろの王の王」にふさわしい贈り物です（1テモテ6:15）。

乳香

実用性——そのかなりの金銭的価値は別にしても、乳香は香り高い香や香水として使われていました。

象徴的意味——乳香は香木の樹脂を原料としており、神権の儀式、燔祭（レビ2:1参照）、祭司への油注ぎに使われていました。ですから、乳香は主の神権を表し、また、わたしたちに代わって犠牲となられる神の小羊という主の役割を表していると言えます（ヨハネ1:29参照）。

没薬

実用性——没薬は樹脂から作られる苦みのある油で、これも高価なものでした。しかし、マリヤとヨセフにとっては、薬としての価値の方が高かったことでしょう。

象徴的意味——新約聖書では、防腐作用のある没薬はいつも、遺体の保存と埋葬に関連して出てきます（ヨハネ19:39-40参照）。薬として使われる没薬は、癒し主であるキリストの役割を象徴することができます。また、埋葬に使われることから、主がわたしたちの罪のために苦しまれたときに飲もうとされた「苦い杯」を象徴しているとも言えるでしょう（教義と聖約19:18-19参照）。■



変わらなければ ならないのは 家族の方です

わたしがバプテスマを受けたとき、
家族は教会を拒みました。そこでわたしは、
家族が福音の原則に反することをするときには
どうすればよいか判断しなければなりませんでした。

フランシスコ・ハビエル・ララ・エルナンデス

バプテスマを受けたとき、福音を受け入れたのは
家族でわたし一人でした。そのときわたしは
19歳で、バプテスマを受けたことを幸せに思い
ました。メキシコ、ベラクルスのパヌコ第一支部の兄弟姉妹
の歓迎を受け、教会員となって1年たったらすぐに専任宣
教師になれるよう、準備を始めました。真実の教会を知る
ことはすばらしいことでしたから、福音を人にも伝えたいと
思ったのです。

わたしがバプテスマを受けたとき、父と継母ママはは(実母はわ
たしが12歳のときに亡くなりました)、それに3人の兄弟
は教会を受け入れませんでした。残念なことに、わたしは
それにうまく対応しなかったのです。家族には失礼な態度
を執ってしまいました。父のことも父の意見もよく考えませ
んでした。間もなく伝道に出ると父に話したとき、わたしが
仕事を辞め、しかも遠くに行くかもしれないということで父
はいい顔をしませんでした。わたしの信じる原則に反する
行動を家族が取ると、いちいちそれが気になりました。
日曜日にふさわしくないと感じるテレビを観たり、音楽を聴
いたりしているときや、断食安息日に父が昼食に誘ったり
したときなどです。

家族に対するそのような否定的な態度を、わたしは正当
化していました。間違ったことはしていない、たとえ家族に
嫌な思いをさせられても、自分は教会員として福音の原則
に従った生活をするべきだ、と自分に言い聞かせていま
ました。変わらなければならないのは、家族の方だと言いつ
て聞かせていたのです。ですから当然、父との関係は良くあり
ませんでした。わたしの態度と高慢のせいで、さらに悪化
していきました。父の霊的な幸福を考えないままでした。

ある日、インスティテュートの勉強をしていてニューファイ第
一書第16章を読みました。ニューファイが鋼の弓を壊したた
めに食糧を得ることが困難になった箇所です。皆が不平を
言い始めました。レーマンとレムエルはいつものように文句
を言い始め、しかもこのときは預言者である父親リーハイも
一緒になってつぶやいたのです。それに対しニューファイは、
木で弓と矢を作り、食糧を得るのにどこへ行ったらよいかと
父親に尋ねました。父親が導きを求めて祈ったところ、
つぶやいたことを主に叱責しっせきされました。しかし、リーハイは
それを肯定的にとらえ、家族の指導者として、また主の
預言者としての役割を再び果たすようになりました。ニュー
ファイはそれまで自分自身も主と話し、示現を受けていたに
もかかわらず、弱気になった父親を裁かず、父はこれ以上
預言者であるべきではないとも考えなかったのです。

わたしはこの話を読んで理解するとすぐに、自分が家族
にどんなにひどい態度を執っていたか考えました。自分が
家族よりも善い人間であると思っていたことを恥ずかしいと
思いました。特に父に対して、敬意をもって接しなかったこ
とを悔やみました。家族に福音を伝えることを優先しな
かったことが悲しかったのです。

家族がどのような人になる可能性があるか見ていません



わたしの態度と行動は徐々に変わっていきました。
父に賛同できないことは何度もありましたが、
どんなときでも父の意見を尊重するよう努力しました。

でした。欠点ばかりに目が行っていたのです。その日を境に、わたしの態度と行動は徐々に変わっていきました。父に賛同できないことは何度もありましたが、どんなときでも父の意見を尊重するよう努力しました。断食中に父から昼食に誘われたときは、一緒に食事ができないことを謝りました。また、家族がわたしと同じようには天の御父と聖約を交わしていないことを思い出すことで、日曜日に家族が見たり聞いたりする番組や音楽にもいらいらしくなくなりました。

ある朝、父を手伝って食事の支度をしていたとき、父を愛していることを伝え、失礼な態度を執っていたことを申し訳なく思っていると言いました。父が自分の父親であることを誇りに思っていること、そして、穏やかな関係を持ちたいことを伝えました。

すべてが変わり始めました。口論が減り、そしてまったくなくなりました。家族が教会員になるには長い時間がかかるだろうと思っていたのですが、彼らの教会に対する考えも良くなりました。もし先にわたし自身が変わっていなければ、こうした変化は起こらなかったでしょう。

教会員になって1年後、わたしはメキシコ・ティファナ伝道部の専任宣教師となりました。伝道が終わる3か月前、家族が福音を受け入れ、バプテスマを受けることを伝える手紙が来ました。わたしが家に帰ったとき、家族はすでに教会員となっていました。

教会員としての15年間で、モルモン書を研究することによって得た教訓と、家族といういちばん身近な神の子供たちとの生活によって得た教訓は、最高の教訓です。■



ご紹介いたします 兄弟を ジョセフ

皆さんはジョセフ・スミスが末日における最初の預言者だったことは知っていますね。でも、ジョセフが笑ったり、人を笑わせたりするのがとても好きだったことは知っていましたか。また、妻のエマとともに双子を養子にしたことはどうですか。ほかにもあなたが知らないかもしれないことを幾つか話しましょう。

• ジョセフ・スミス・ジュニアは1805年12月23日、アメリカ合衆国バーモント州シャロンで生まれ、父親の名前を取って名付けられました。ジョセフのきょうだいは年齢順に、アルビン、ハイラム、ソフロニア、サミュエル・ハリソン、エフライム、ウィリア

ム、キャサリン、ドン・カーロス、そしてルーシーです。

- ジョセフは7歳のときに腸チフスにかかり、回復したものの左足に感染症を併発しました。麻酔（痛み止め）を使わずに骨を9片取り除く手術を受けました。そのため生涯ずっと、少し足を引きずって歩いていました。¹
- ジョセフが初めて声に出して祈り、天の御父とイエス・キリストにまみえたのは、14歳のときでした（ジョセフ・スミス——歴史1:17参照）。
- ジョセフが17歳のとき、長兄のアルビンが亡くなりました。その13年近く後に、ジョセフは日の栄えの王国の示現でアルビンを見ました（教義と聖約137:5-7参照）。
- エマの父親アイザック・ヘイルはジョセフを認めず、二人の結婚に反対でした。ジョセフとエマは駆け落ちを決心し、1827年1月18日に結婚しました。²
- エマとジョセフは17年の結婚生活を送り、11人の子供をもうけましたが、そのうちの6人は幼くして亡くなりました。
- 1832年に暴徒の襲撃を受けたときに歯が1本欠けてしまったから、ジョセフの話し方は不明瞭でした。³
- ジョセフは野球、レスリング、雪合戦、釣り、棒引きなど、遊ぶことが好きでした。⁴
- ある初期の末日聖徒は、ジョセフの声を「天の雷」のようだと表現しました。⁵
- ジョセフは強くて背の高い人でした。身長は6フィート2インチ（190センチ）ほど、体重はおよそ200ポンド（91キロ）ありました。⁶
- ジョセフは教会の大管長を務めた

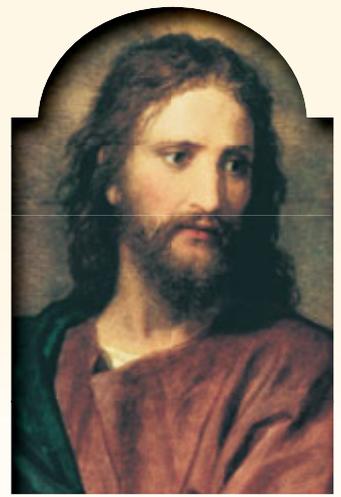
だけではなく、アメリカ合衆国の大統領に立候補したこともありました。⁷

- ジョセフの殉教後、当時十二使徒定員会の一員だったジョン・テラー長老（1808 - 1887年）はジョセフについて次のように書きました。「主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。」（教義と聖約135:3）■

注

1. 『歴代大管長』（教会教育システム生徒用引き、2003年）3-4参照
2. “Life of the Prophet: Joseph and Emma,” JosephSmith.net 参照
3. “Life of the Prophet: Friend of Man,” JosephSmith.net 参照
4. アレクサンダー・L・パウ，“Joseph Smith’s Athletic Nature” 参照，*Joseph Smith: The Prophet, the Man*，スーザン・イーストン・ブラックおよびチャールズ・D・テート・ジュニア共編（1993年），137に収録
5. ジョセフ・L・ロビンソン，“Life of the Prophet: Teacher of God’s Truth,” JosephSmith.net で引用
6. パウ，“Joseph Smith’s Athletic Nature” 138 - 139 参照
7. “Life of the Prophet: Leading with Love,” JosephSmith.net 参照





わたしは どのように すくいぬしに したかうことが できるでしょうか



じゅうに かい
十二しとていん会の
クエンティン・L・クック
ちょうろうは、
この テーマについて
つぎの ように
はな
話しています。



かみの いましめを まもり、かみの
子どもたちに つかえるときに かみに
あいを しめすことが できます。



せいさんによって、バプテスマの ときに
かわした せいやくを あらたにし、おん
子を いつも 思い出し、おん子の いま
しめを まもる きもちが あることを
かみに しょうめい できます。



すくいぬしは、わたしたちが たがいに
あいするならば わたしたちが しゅの
でしであることを、すべての ものが
みとめるようになるであろうと 言われ
ました。



わたしたちの 生きる よげんしゃ トーマス・S・
モンソンだいかんちょうの 教えを ちゅうじつに
まもりましょう。だいかんちょうは すくいぬしに
したかう すばらしい もはんです。



わたしたちは しゅの みなを うけ、しゅの おもかげ
が じぶん 顔に うつるように しなければ なりま
せん。しゅが おいでになるとき わたしたちが しゅ
に にた ものとなるためです。

「わたしたちはイエス・キリストに従う」【リアホナ】2010年5月号、84、86。
「恐れではなく、信仰によって生きる」【リアホナ】2007年11月号、73から

絵: スティーブ・ワッセル、C. HARRISON CONROY © S. HARRISON CONROY

こ と ば そういう言葉

アンジー・ベルグストローム・ミラー

実話をもとに書かれました。

「わたしの名によりいつわりちかって、
あなたがたの神の名をけがしてはならない。」
(レビ 19:12)

シエルビーは悪い言葉を聞くのが好きではありませんでした。特に、学校で友達が主の御名をみだりに口にしているときはいやでした。

「お願いだから、わたしのそばでそういう言葉は使わないでちょうだい」と友達に言いました。

でも時々友達は忘れてしまうので、そのたびに言わなければなりませんでした。

ある日、シエルビーの友達のバスはあきれた顔で、「ああ、そうだわ、忘れてた。だれもシエルビーの前でそういう言葉は使わないのよね。みんなを自分みたいに良い子にしようとしているのよ。」ほかの女の子たちは笑いました。

シエルビーははずかしくなりました。いつも友達に自分のそばでそういう言葉を使わないようにたのむのは気まずいことだと思いました。特に友達がそういう言葉が悪いと思っていないときはなおのことです。

シエルビーは家に帰るとベッドの上にごろりと横になりました。ほどなくしてお母さんが部屋に入って来たので、シエルビーは学校で起きたことを話しました。

「あまり気にしないようにしたら」とお母さんは言いました。「あなたが正しいことを続けていれば、そのうちに友達もそういう言葉を言いたくなくなるわ。」

「友達がそういう言葉を使うことがどうしていけないの？ わたしが悪い言葉を使っているのしっているわけじゃないでしょ。」シエルビーはお母さんに聞きました。

「預言者は、聖霊をいつも感じられるようふさわしくあるべきだとわたしたちに教えてくれているわ。悪い言葉は聖霊を退けるのよ」とお母さんは言いました。

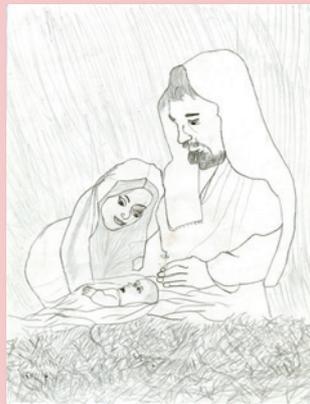
シエルビーは家庭の夕べや、あかしをしたとき、お父さんから祝福を受けたときに聖霊を感じたときのことを思い出しました。シエルビーは



わたしたちのページ



アンヒエ・D, 11才 (ペルー)



アリアーナ・A, 9才 (ブラジル)



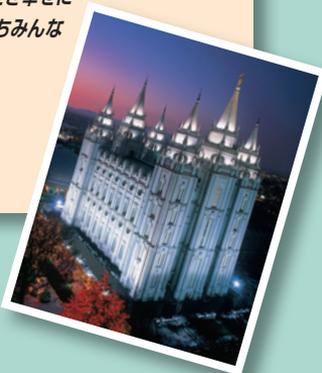
「イエス・キリストの降誕」,
アンヘレス・R, 10才 (ボリビア)



レベッカ・A, 7才 (ベネズエラ)

わたしは、あるクリスマスに学校で友達や先生にパス・アロング・カードをいくつかわたしました。1月になると、カードをわたした先生の一人がそこに書かれている番号に電話をしてクリスマスのDVDを受け取ったと教えてくれました。先生はそのDVDを見て、とても良かったと言ってくれました。パス・アロング・カードは特別なものだと思います。カードを人にあげるとき、聖霊を感じることができます。福音を伝えるとき幸せになります。イエス・キリストが生きておられることとわたしたちみんなを愛してくださっていることを知っています。

ライアン・R, 11才 (ブラジル)



「わたしたちのページ」に絵やしゃしん、けいけんだんやあかし、てがみをおくりたい人は、けんめいのところに「Our Page」(わたしたちのページ)と書いて、電子メールでおくってください。おくり先は liahona@ldschurch.org です。

Liahona, Our Page

50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3歳から12歳に限る)、それに親の名前、ステーク/地方部、ワード/支部名を明記し、親の許可書(電子メールでも可)を添えてください。お送りいただいた原稿は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために、編集されることがあります。

しんでんカード

自分用のしんでんカードを作るため、このページを切りはなし、あつ紙にのりづけしてカードを切りとります。切りとったカードは、2003年のすべての号、2005年4月号、2007年9月号にあるカードといっしょにしてください。カードは、liahona.lds.org からいんさつできます。

アイダホ州レックスバーク神殿の写眞、デビッド・ロウ・ウルフ、ヨシシル・クリテイハ神殿の写眞、ジョン・ルク・バナマ、バナマシティ神殿、ブリティッシュコロニア州バンクーバー神殿、フィリピン・セブ神殿の写眞、マシュー・ライアー © 2010
 アイダホ州アイダホフォールズ神殿の写眞、アンドレア・ニールセン © 2010
 ユタ州トレバ神殿の写眞、クリスティーナ・スミス © 2010
 ユタ州オカマウンテン神殿の写眞、ドナルド・メイヤー、ス、アリゾナ州ヒラバレー神殿の写眞、ジョン・ルク



アイダホしゅうレックスバークしんでん
 2008年2月10日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



ブラジル・クリティバしんでん
 2008年6月1日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



パナマ・パナマシティしんでん
 2008年8月10日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



アイダホしゅうツインフォールズしんでん
 2008年8月24日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



ユタしゅうドレーパーしんでん
 2009年3月20日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



ユタしゅうオーカーマウンテンしんでん
 2009年8月21日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



**ブリティッシュコロニアしゅう
バンクーバーしんでん**
 2010年5月2日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



アリゾナしゅうヒラバレーしんでん
 2010年5月23日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。



フィリピン・セブしんでん
 2010年6月13日に、トーマス・S・モンソン
 だいかんちょうによってほうけんされました。

こげつ
今月の しよとうきょうかいの テーマについて もっと 学ぶために
この レッスンと かつどうを つかうと いいでしょう。

せいぶんは すくいぬしの こうたんと さいりん について 教えてください

きょうかい
教会きかんし

ジェニファー・マディ

「人の 子は 父の えいごうの うちに、
みつかいたちを したがえて 来るが、
そのときには、

じっさいの おこないに おうじて、
それぞれに むくいるであらう。」

(マタイ 16: 27)

何 千年もの間、よげんしゃた
ちは かみの おん子、
イエス・キリストが 地上に
お生まれになる ことを あかしして
いました。これらの よげんしゃが
語った ことばが せいぶんの 中
に あります。旧約聖書の 中で、
イザヤは イエスが へいわの きみと
なり、まことの 教会の かしらと
なるであろうと、よげんしています。
モルモン書では、ニーファイが じげ
んの 中で イエスの 母、マリヤを
見ました。また イエスが 地上で
人人を 教えて おられるのを見た
と書かれています。ベニヤミン王は、
自分の 国の たみに キリストが
地上に 来たときに 行われる
きせきについて 語りました。

すくいぬしが お生まれになる
数年前、よげんしゃサムエルは
じょうへきの 上で、すくいぬしが



たんじょうされるときに あらわれる
しるしについて ニーファイ人
に 語りました。すくいぬしが お生ま
れになるとき、空に 新しい星が
あらわれると 言いました。新約聖
書には、この 同じ 星につい
て 行った けんじゃたちが おきな子
キリストを さがしあてたと 書かれ
ています。

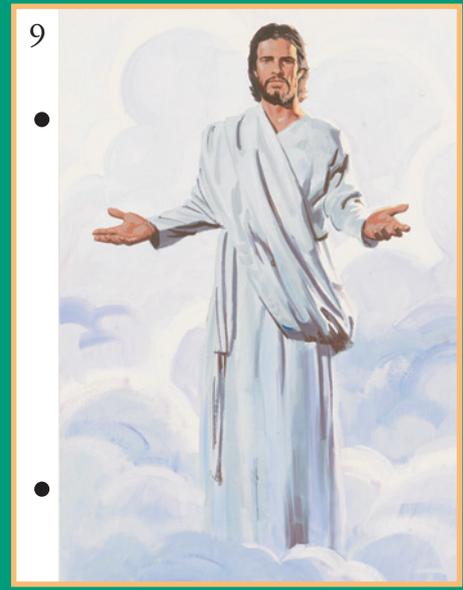
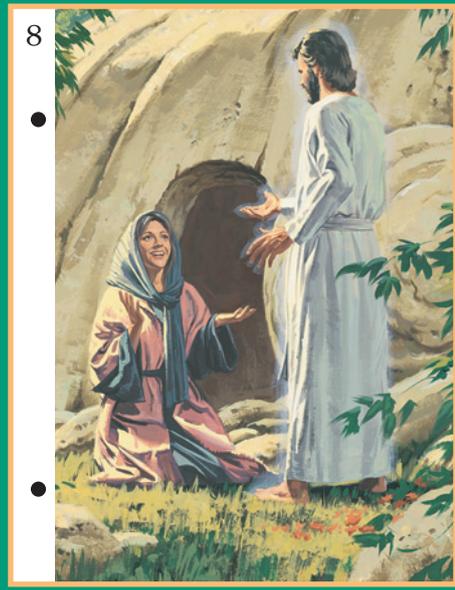
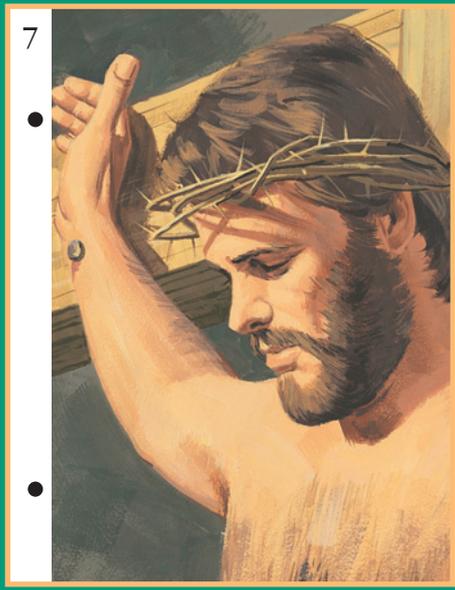
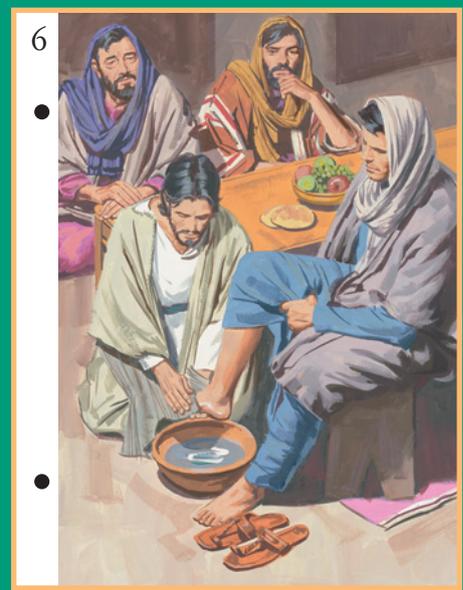
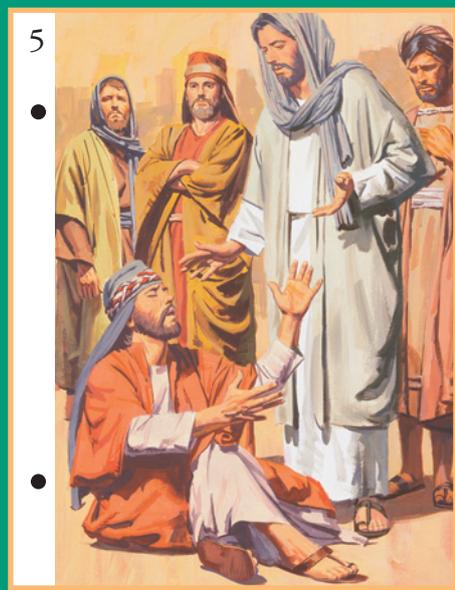
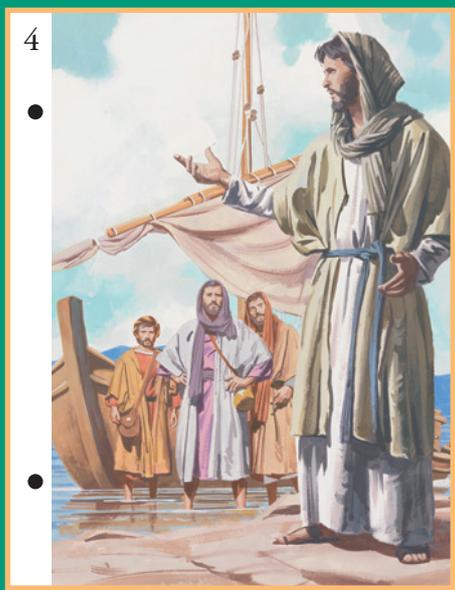
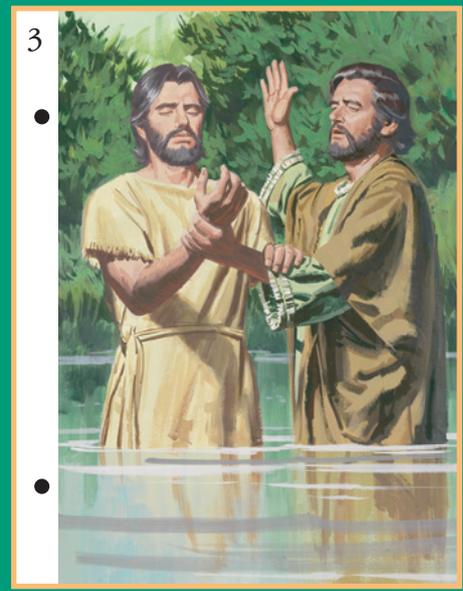
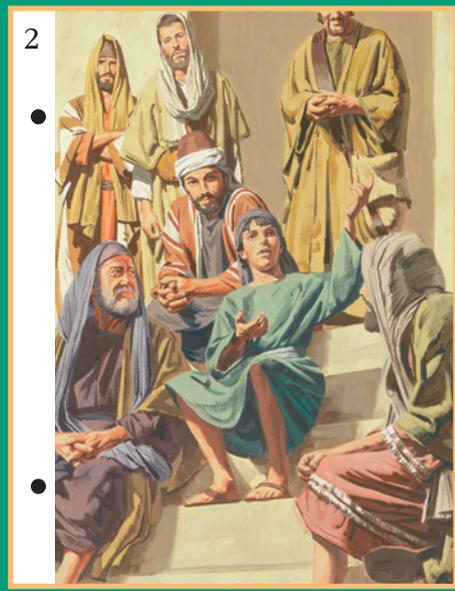
せいぶんで、よげんしゃは イエス・
キリストの さいりんについて 教え
ています。モルモン書の中で、モロ

ナイは すくいぬしの こうりに
ついて あかししています。旧約聖
書では、マラキは さいりんの 前
の おわりの 日に おこること
について 語っています。

せいぶんには れきし上の さま
ざまな じだいにいた、よげんしゃ
たちの イエス・キリストについての
あかしが 書かれています。また
せいぶんを 読むと イエス・キリス
トの もはんを 学ぶことができ
ます。イエスが ふたたび 地上に
来て すまわれるときの ために
わたしたちが そなえられるよう、
イエスの もはんに したがう ひつ
ようが あります。

かつどう

イエス・キリストの しょうがい
に かんする 自分だけの 絵本を 作
ることができます。65 ページの
絵を 切りぬいて ください。それ
ぞれの ページの しるしが ついて
いる ところを パンチで あなを
あけ、 ページを じゅんばんに
かさねましょう。それから あなに
糸を 通して たばねます。かていの
夕方で かぞくと いっしょに この
本を 見ながら、すくいぬしの しょ
うがいについて 話しましょう。■





クリスマスツリー

ハリエット・R・ウークトドルフ

第二次世界大戦が終わった直後のドイツでは、国民のほとんどが食料やお金にととも困っていました。クリスマスの数週間前にわたしは誕生日をむかえようとしていました。しかし、生活に必要な最低限のものを手に入れるために両親が大変な苦勞をしているのを小さいながらもよく知っていたので、クリスマスや誕生日のプレゼントをもらえるなどと思ってもいませんでした。わたしたちが住んでいた大都市では、人々は常にうえとたたかっていました。暗く悲しい時代でした。

ところが誕生日の日に、台所のテーブルの上にはわたしのためのすばらしいプレゼントが置かれていたのです。それを見たわたしは、びっくり

すると同時にとてもうれしくなりました。想像がつかないほどすばらしいプレゼントでした。それはわずか30センチほどの小さなバイナハツバウム（クリスマスツリー）でした。アルミホイルで作った小さなかざりが付いたツリーは、部屋の光を反射して、うっとりするほどきれいでした。そのアルミホイルでできたかざりをよく見ると、おどろいたことに砂糖をつめて作った小さなカラメルでおおわれているではありませんか。とても信じられませんでした。母は、小さな緑葉樹の木やアルミホイルやめったに手に入らない砂糖をどこで手に入れたのでしょうか。

こうした貴重な品々が手に入らなかった時代に母がどのようにしてあのきせきを起こしたのか、わたしは今でも分かりません。ただ、わたしに

注がれた両親の深い愛のしょうちょうとして、愛と希望のしょうちょうとして、またクリスマスのほんとうの意味を伝えるものとして、それは今もわたしの心に残っています。

今でもクリスマスの時期になると、わが家ではクリスマスツリーを置いて、電球やいろいろな装飾でかざり付けをします。子供や孫たちと一緒に、美しいクリスマスツリーに電球がかがやくのを見ていると、心温まります。そして、光かがやくアルミホイルのかざりにおおわれたあの小さなツリーが心にうかび、幸せな家族のだんらんのひとつきがなつかしい思い出としてよみがえってくるのです。■

ハリエット・ウークトドルフは大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長の妻です。

絵
タイ
ア・モ
ーリ

て づ く 手作りのかざり

て づ く 作りのかざりをつかって家族をおどろかせてみませんか。さあ、
手 必要なものをそろえましょう。

クリスマス用のクッキーの型ぬきか小さなコップ

カードやポスターのような厚紙

鉛 筆

はさみ

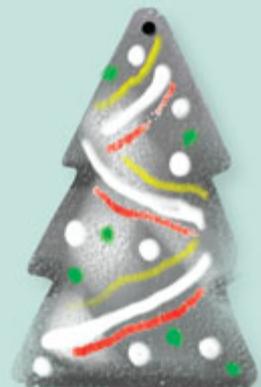
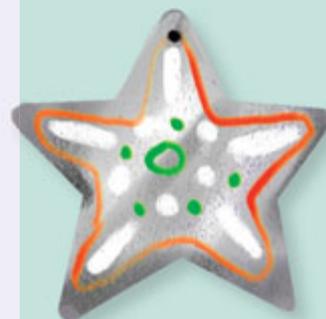
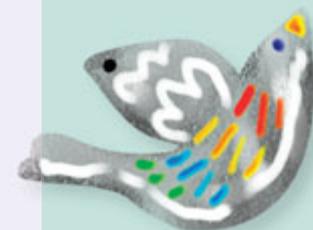
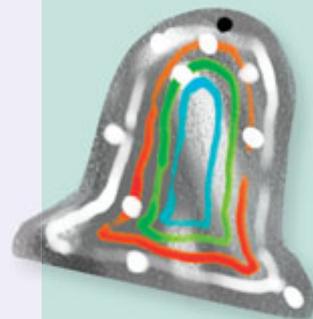
アルミホイル (必要であれば)

かわくと白く変色するのり

マーカー (もしくはクレヨンや色鉛筆)

毛糸、リボン、または糸

1. 厚紙に、クッキーの型ぬきかコップを当てて型を取ります。
2. お父さんかお母さんに手伝ってもらってその型を切りぬきます。
3. 切りぬいた型をおおうくらいのおおきさのホイルを切り取ります。
ホイルのはしにのりをつけて型の裏側にはり付けます。(ホイルを使わない場合は、このステップをはぶいて次のステップにしてください。)
4. かざりの表面に、のりでもようをえがき、完全にかわかしてください。
5. のりでかいた線と線の間にマーカーで色をつけます。(ホイルを使わない場合は、クレヨンや色鉛筆を使うことができます。)
6. お父さんかお母さんに手伝ってもらって、かざりの上部に穴を開けましょう。その穴に毛糸やリボン、糸を通して、はしを結びます。
7. あなたの家のパインハツバム (クリスマスツリー) に、完成したかざりをかざってもよいですし、だれかにプレゼントしてもよいでしょう。





ぼくの 伝道資金

スポンサー・S

不思議に聞こえるかもしれ
ませんが、ぼくは生まれる
前から自分の伝道資
金をため始めました。ぼくの母
は赤ちゃんが生まれることが分か
ると、空になったミルクのかんに穴
を開けて、「伝道資金」と書いた紙をは
りました。その日からぼくと家族は、
伝道資金を貯金しています。

ぼくの伝道資金をためるの
に、家族だけでなく親戚の人
たちも協力してくれています。
ぼくが生まれてからは、おじさ
んやおばさんはうちに来ると、
そのかんの中にフィリピンペソ
(フィリピンの通貨)を入れて
くれました。またクリスマスや
正月といった祝日があると、
家族は伝道資金にと言っ
てぼくにお金をくれました。

祖父母は、ぼくが学校で良
い成績を取ったり競技会に
出たりすると、お金をくれる
ことがあります。それも伝道
資金として貯金します。ある
ときぼくがいくつかメダルを獲
得すると、おばさんはメダルの

かずかぞえて、その数だけお金をくれま
した。そのもらったお金の什分の一
をはらった後、残りも伝道資金とし
て貯金しました。

バプテスマを受けたとき、ぼくは
伝道に出たいという気持ちが増えま
す強くなりました。家族はぼくの伝
道に必要な資金を全額たくわえるた
めの目標を立てました。今ではきよ
うだいが増えたので、ためたお金は

それぞれのための伝道資金と
しても使うことにしています。
ぼくは今9才で、伝道に出
られる年齢の半分近くのところ
まで来ています。伝道に出
たいという気持ちはますます
強くなってきました。ぼくの伝
道資金をたくわえるためにこ
れまでたくさんの人たちが協
力してくれたことを知っている
からです。

これからも伝道のために貯
金を続けていくつもりです。ぼ
くは、天のお父様の祝福によ
り、いつの日か宣教師として主
に仕えることができるようにな
ると知っています。■



まつ じつ せい と 徒 イエス ・ キ リ ス ト 教 会 の
し ん こ う か じ ょ う
信 仰 箇 条



わたしたちは、永遠の父なる神と、そのおん子イエス・キリストと、聖霊とを信じる。

2 わたしたちは、人は自分の罪のゆえにばっせられ、アダムのそむきのゆえにはばっせられないことを信じる。

3 わたしたちは、キリストのしょくざいにより、全人類は福音の律法と儀式に従うことによって救われ得ると信じる。

4 わたしたちは、福音の第一の原則と儀式とは、第一に主イエス・キリストを信じる信仰、第二に古い改め、第三に罪のゆるしのために水にしずめるバプテスマ、第四に聖霊の賜物をさずけるための按手であることを信じる。

5 わたしたちは、福音を宣べ伝え、その儀式を執行するためには、人は預言によって、また権能を持つ者による按手によって、神からめされなければならないと信じる。

6 わたしたちは、初期の教会にあったと同一の組織、すなわち、使徒、預言者、牧者、教師、祝福師などがあることを信じる。

7 わたしたちは、異言、預言、啓示、示現、いやし、異言の解釈などの賜物があることを信じる。

8 わたしたちは、正確に翻訳されているかぎり、聖書は神の言葉であると信じる。また、モルモン書も神の言葉であると信じる。

9 わたしたちは、神がこれまでに啓示されたすべてのこと、神が今啓示されるすべてのことを信じる。またわたしたちは、神がこの後も、神の王国に関する多くの偉大で重要なことを啓示されると信じる。

10 わたしたちは、イスラエルの文字どおりの集合と十部族の回復とを信じる。また、シオン（新エルサレム）がアメリカ大陸に築かれること、キリストが自ら地上を統治されること、そして地球は更新されて楽園の栄光を受けることを信じる。

11 わたしたちは、自分の良心の命じるとおりに全能の神を礼拝する特権があると主張し、またすべての人に同じ特権を認める。かれらがどのように、どこで、何を礼拝しようと、わたしたちはそれをさまたげない。

12 わたしたちは、王、大統領、統治者、長官に従うべきこと、法律を守り、尊び、支えるべきことを信じる。

13 わたしたちは、正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと、またすべての人に善を行うべきことを信じる。実に、わたしたちはパウロの勧告に従うと言ってもよい。わたしたちはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。わたしたちはすでに多くのことをたえしのんできており、またすべてのことをたえしのべるようにと望んでいる。どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいはほまれあることや称賛にあたいすることがあれば、わたしたちはこれらのことをたずね求めるものである。

ジョセフ・スミス

いつもとちがう クリスマスツリー

エリアーナ・オズボーン
じつわを もとに 書かれました。

「わたしの くびきを おうて、わたしに ^{まな}学ばなさい。」
(マタイ 11:29)



2. ちがうことって ^{なに}何かなと
カルロスは ^{おも}思いました。
^{いもうと}妹の アラセリと ^{おとうと}弟の
デイエゴも ^{なん}何だろうと
^{おも}思いました。



^{かあ}お母さん、どうして ドアに
ツリーが はってあるの。

^{ことし}今年の クリスマスは
ちょっと ちがうことを してみようと
^{おも}思うの。

4. カルロスは ^{かんが}とても いい考えだと ^{おも}思いました。
アラセリは かざりのところに ^いいちもくさんに
^{はし}走って行って、^{あか}赤の色えんぴつを ^て手にとりました。



3.

^{かみ}紙で かざりを ^{つく}作っておいたから、
みんなが これに イエスさまについて
^し知っていることや ^{おも}思っていることを書いて
^{まいにち}毎日 ツリーに はっていくの。
そうしたら クリスマス・イスまでに
このツリーは かざりで いっぱい
なるでしょう。



イエスさまは ^かバプテスマを
うけられました。



それ、いいね。
「イエスさまは たくさんの きせきを
おこされました」って 書こうかな。

かんべきよ。
ふたりとも すばらしいわね。

5.



7. ふたり 何^{なに}を書いてよいか
おも 思うかばないときには、
せいてんを しらべました。
イエスさまについて
そんなに たくさんの
せいくが あることを、
カルロスは それまで
知りませんでした。



8. クリスマス・イブの日に、 かぞくは そろって さんびかを
うた 歌い、 ツリーにはった かざりに 書いたことを よ読み上げ
ました。カルロスは イエスさまのことを たくさん 知る
ことができて とても うれしくなりました。これで
今年^{ことし}の クリスマスを むかえる
じゅんびはできたと
カルロスは
おも 思いました。



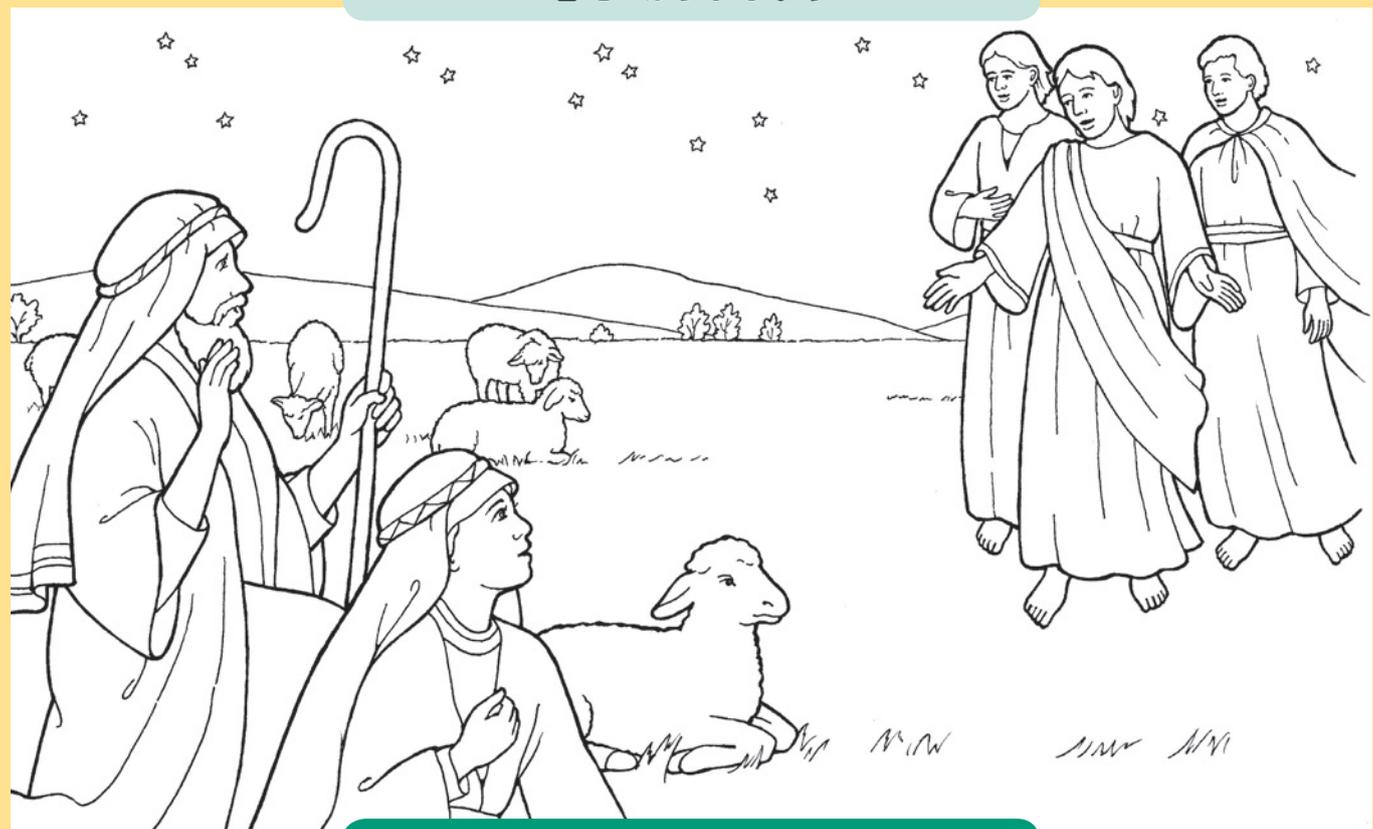
まちがいさがし

この子どもたちは イエスさまが お生まれになった
ときに おこった できごとを げきにして、イエス・

キリストの こうたんについて 學んでいます。二つの 絵を
見くらべて、ちがっているものを 9つ 見つけ出してください。



いろ
色をぬりましょう



クリスマスの ものがたり



親の皆さんへ

ルカによる福音書第2章にある最初のクリスマスの話を読み聞かせ、二つの絵に描かれている出来事を子供たちが理解できるようにしてください。そして、時間を取って、絵に色を塗るようにしてください。

右—絵(ベス・M・ホイッタカー)

教会のニュース

信仰を行使して祝福される新伝道部会長

教会機関誌

ヘザー・ウィットル・リグリー

6月、128名の新伝道部会長とその夫人がアメリカ合衆国ユタ州プロボの宣教師訓練センター〔MTC〕に招かれ、任地へ向かうのに先立ち指導を受けた。

トーマス・S・モンソン大管長が、2011年6月22日から26日の4日間にわたって行われたセミナーの開会に当たり次のように述べた。「皆さんは教会で最も忠実な人々の中から選ばれました。これから刈り入れを待つ主の畑に出て行く機会にあずかっているのです。……皆さんが召された伝道地以上にかぐわしく豊かにバラを咲かせる畑をわたしは知りません。」

その場に集った伝道部会長夫妻は世界中の22の国々からやって来ており、世界各地の18の言語圏で奉仕することになっている。彼らの経歴は様々だが、すでにある共通点がある。

これらの新たに召された伝道部会長とその夫人は物質的および霊的に備えるために、これまで犠牲を払ってきたので、即刻とも言える迅速さで信仰を働かせることによってもたらされた祝福の数々を今や目にしている。

犠牲をささげること

伝道部会長として奉仕するということは、やりがいがあると同時に霊的に高められる3年間を過ごすということである。この召しに自らをささげるときに、多くの夫婦は仕事や家族などそれまでの生活を実質的に後回しにする。

仕事を中断するということがある意味、経済的な損失を被る場合もある。教会は伝道部会長に最低限の生活手当を支給するが、夫婦は通常、支給された手当の不足分を自分たちの資産から補足できるだけの財政基盤を有する。

マーカス・マーティンズと妻のミリアンはブラジル・サンパウロ北伝道部への召しを受けたとき、

アメリカ合衆国ハワイ州ライエに住んでいた。ライエの人々は十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老から勧告を受け、犠牲は払わなければならないが、払う犠牲が過度の負担にならないように教えられたところだった。

マーティンズ夫妻は帰宅してから、この機会を受け入れるために必要な資金の捻出方法を知るために祈り求めた。彼らは持ち物すべてを売却した。「祝福でした。1日ですべてのものを売ったのです。わたしたちにとっては奇跡でした」とマーティンズ姉妹は語る。

すべての人が経済的な犠牲を払うわけではないが、すべての伝道部会長とその夫人は何らかの犠牲が求められる信仰の試しに直面する。

アメリカ合衆国アリゾナ州ツーソンのゲーリー・ラスムッセンとパメラ・ラスムッセンが日本仙台伝道部への召しを受け入れることは、6人の子供と23人の孫から離れるということの意味していた。

「天の御父はわたし以上に子供たちの面倒を見ることがおできになると知っています。ですからこうすることに喜びを感じ、子供たちにとって大きな祝福になると感じています」とラスムッセン姉妹は語る。

召しを受け入れて伝道部会長や会長夫人として働く多くの人が、進んで犠牲をささげる姿勢を示している。

マーティンズ会長は語る。「わたしは実際のところ、犠牲とは何かについて、時々考えます。ある人にはとても難しいことが別の人にとってはそれほど難しくないことがあるからです。わたしたちは人生において、……何度も主を最優先し、主のためなら何でもしよう、どこへでも行こうと言ってきました。ですからわたしたちは実際、犠牲であるとは考えていません。……それは特権なのです。つまりあらゆるものを犠牲にすることは誉れなのです」



前もって備える

伝道部会長とその夫人は伝道の召しを果たし始める前に、霊的にも物質的にも多くの準備をする。伝道部会長は一般的に6か月以上前に召されるが、準備期間がもっと短い場合もある。アメリカ合衆国ユタ州エデン出身のブレント・スコットとアン・スコットは伝道部会長セミナーのわずか1週間前にカナダ・トロント伝道部を管理するように召された。二人が奉仕の業に着任する2か月前のことだった。

新しい召しについて友人や家族に伝え、自分たちの住居を整えるために奔走する一方で、彼らは手引きを研究し、何枚ものCDに耳を傾け、霊的な備えをしていた。そのような中で最も大きな準備はMTCでのセミナーだったと彼らは語る。

「まさに霊的な知識に浸りました。〔主に仕えるために犠牲を払っている〕人々とともに過ごし、預言者、聖見者、啓示を受ける人々から教えを受けることは……間違いなく人生で最も偉大な経験の一つとなりました」とスコット会長は語る。

知恵を学ぶ

6月に行われた4日間にわたるセミナーで伝道

部会長とその夫人は、大管長会および十二使徒定員会の会員のメッセージによって霊的な養いを受けた。

「彼らの教えに耳を傾けているとき、彼らがわたしたちを教えているとき、その場に主がおられて、わたしたちを気にかけてくださることがよく分かりました。またこの業が主の業であり、ここにいる人たちが主の僕しもべであり、わたしたちは出て行って、自分たちの救い主を代表する特権にあずかっているのだと〔感じました〕」とスコット姉妹は語る。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は赴任する伝道部会長とその夫人に向けて自身が期待していることについて話した。

「肉体的にも、情緒的にも、霊的にも健康を保ち、〔さらに〕イエス・キリストの福音をよく学んで教え、うまく応用してください。会員の力をよく活用して儀式に焦点を当て、主と教会員とあなたが管理するよう託された大切な宣教師と一つになってください」と長老は語った。■

新たに召された
伝道部会長は
伝道地への
着任前に
アメリカ合衆国
ユタ州プロボの
宣教師訓練
センターにおいて
4日間の訓練に
参加する。

伝道地で自らの光を輝かせる 7人の姉妹

プレアデスあるいはセブンシスターズは7つの星から成る星座で、その光が地上に届くのに350年を要するほどはるかかなたにある。

20代前半から30代後半までの7人の姉妹たちは自分たちの光を家族間や伝道地で輝かせ、それぞれが召された5つの国々で人々に福音を分かち合っている。

マリソル(チリ・オソルノ伝道部)、アントニア(アルゼンチン・レシステンシア伝道部)、ダニエラ(コスタリカ・サンホセ伝道部)、フロレンシア(ホンジュラス・コマヤグア伝道部)、ベロニカ(チリ・サンティアゴ東伝道部)、アナイ(グアテマラ・グアテマラシティー北伝道部)、バルビナ・ナバ・アギラル(アルゼンチン・バイアブランカ伝道部)はメキシコ出身でともに現在末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師として奉仕している。

その姉妹たちが最初に宣教師たちと出会ったのは、地元の教会堂で開かれ

る無料の英会話に参加したときだった。2006年、彼女たちはもう一人の姉妹と自分たちの兄弟とともにバプテスマを受けた。彼女たちの両親であるアルビーノ・ナバとイシドラ・アギラルは30年前に教会員になっていたが、娘たちのバプテスマと同時に教会に戻り、活発に集うようになった。

アギラル姉妹は7人の娘たちを伝道地に送り出すことでもたらされる恵みを目にしていると語る。

「娘たちは主の御手の内^みにあって働き、主の福音を教^てえて多くの人々を〔主のもとへ〕導^{いて}ています」と彼女は語る。

「わたしはこの福音を愛していますし、この業が人々の生活を変えることを知っています。福音はわたしの人生を変えたのですから、わたしが教える人の人生をも変えてくれるはずですよ」とフロレンシアは語る。

姉妹たちは2011年の暮れから順に帰還し始める。■

中央幹部は定期的に世界中の教会員を訪れる。彼らの教導についての報告は news.lds.org または prophets.lds.org にある『Prophets and Apostles Speak Today』にアクセスすると、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語で閲覧することができる。以下に、最近の訪問の行程を簡単に紹介する。

・2011年5月26日、大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長はロサンゼルス国際問題評議会に出席した地域や企業、宗教界の指導者800人に向けて講演した。同評議会は国際間の理解を深めるのに貢献する超党派組織^{こんにち}である。ウークトドルフ管長は1830年から今日に至るまでの教会の成長について話した。news.lds.org にアクセスして「Uchtdorf, Los Angeles」で検索してください。

・2011年6月5日、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老はロシアで初めてのステーキとなるモスクワステーキを組織した。旧ソビエト連邦支配下の地域では2番目のステーキである。出席者は1,100人を超えた。news.lds.org にアクセスして「Nelson, Moscow」で検索してください。

・5月、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老はインド、香港(現地では十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が合流)に次いでモンゴルを訪れた。news.lds.org にアクセスして「Holland, India」で検索してください。

・2011年6月15日、管理ビショップのH・デビッド・バートン長老が日本の東松島を訪問し、3月11日の地震と津波以降の同国の状況を確認し、現地で提供されている教会の支援を視察した。news.lds.org にアクセスして「Burton, Japan」で検索してください。■



このメキシコシティー出身の7人の姉妹たちは
同時期に南米各地で専任宣教師として奉仕している。

エルサレム映画撮影 セット, 奉献される

福音をテーマにした映画制作のために教会が設立したエルサレム映画撮影セットが奉献され、現在撮影で使用されている。新しい施設を使用して制作中の第1作目は新約聖書聖文ライブラリープロジェクトで、これはイエス・キリストと使徒の生涯から重要な場面を描写したビデオシリーズである。

当撮影セットは、ソルトレーク・シティーの教会本部から南に97km離れたユタ州ゴーシェンの敷地内にある、アメリカ合衆国LDS映画南スタジオ内にある。エルサレム市街そのままの複製ではないが、市内の重要な場所が再現されている。

小さな街ゴーシェンが選ばれたのは、なだらかな丘、平野、ヒマラヤスギの森、砂丘、そして小川など周辺地域がエルサレムの地形と似ているからである。近くのユタ湖は撮影時にはガリラヤ湖に見立てられる。

時にはコンピュータグラフィックによって、セットでは実現できない綿密な映像が可能になる。■

シニア宣教師の 方針変更

先日、大管長会と十二使徒定員会はシニア宣教師の奉仕期間および宣教師の住居に関する方針の変更を承認した。この変更は、



ユタ州ゴーシェンにある教会の新しい映画撮影セットは、イエス・キリストの生涯を新約聖書の記述に沿って映像化するために使用される。

より多くの夫婦が専任宣教師として奉仕できるようにし、夫婦伝道でより良い経験ができるようにすることを目的とするものである。

2011年9月1日付けで、夫婦宣教師は今後、6か月、12か月、18か月あるいは23か月の任期で奉仕することになった。さらに1か月分の住居費の上限が1,400ドル(合衆国)に決められた。食費およびその他の個人的な費用は今までどおり夫婦が支払う。

従来の方針では、自国以外の国で奉仕する夫婦の伝道期間は

最低18か月であった。今回、18か月に満たない期間、自国以外の国での奉仕を希望することが可能になったが、その場合、伝道地への往復費用は夫婦が負担することになる。

シニア宣教師に関する質問は電子メールで seniormissionaryservices@ldschurch.org まで送信してください。■

教会、オンラインで利用できる言語数を拡大する

LDS.orgでは利用できる言語数を拡大している。最近48の新たな言語のホームページが教会公式ウェブサイト追加された。LDS.orgのどのページでも右上に表示されているリンク“Languages”下の各言語をクリックすると、選んだ言語でオンラインでそのとき閲覧可能な教会資料を閲覧できる。

LDS.orgのそれぞれのセクションも最終的に10から15の言語で利用可能になる。その時点で、新たに追加された言語向けの言語ページは閉鎖される(例えば、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語については、各言語でLDS.orgの多くがすでに開設されているため、言語ページは掲載されていない)。

教会職員はまた、LDS.orgに掲載されている機関誌や翻訳資料をモバイル端末で利用できるようにしようとしている。■

オープンハウスおよび奉獻式が発表されたケツアルテナゴ神殿

2011年12月10日土曜日、グアテマラ・ケツアルテナゴ神殿の奉獻を祝うため、同国の教会の若人が音楽とダンスによる文化的祭典に参加することになっている。

それに続いて2011年12月11日曜日、同神殿は3度にわたるセッションを通じて奉獻され、その模様はグアテマラのすべてのユニットに放送される。

奉獻式の後、2011年12月13日火曜日から神殿は儀式を開始する。

フランスにおける神殿建設に期待を寄せる教会

トーマス・S・モンソン大管長が6月に発表したところによると、教会はパリ郊外の地所に予定されているフランスでの最初の神殿建設に期待を寄せている。

これまで何か月にもわたって教会は地元の管理役員とともに計画を進めてきた。

これまでもフランスの神殿にふさわしい用地を探す試みが何度か行われてきたが、どれも最終決定には至らなかった。神殿への訪問を希望するフランスの教会員は通常、隣接するヨーロッパの国々まで足を伸ばしていた。

音声による聖典の新たなフォーマット、アクセスの利便性が高まる

教会はLDS標準聖典音声版を発行し、iTunesのオーディオブック(“enhanced audio content” on iTunes)、あるいはMP3でのダウンロードが可能になった。

4大標準聖典合本音声版は英語、スペイン語で利用することができ、3大聖典合本の音声版は日本語、ポルトガル語、韓国語で利用できる。

これらの新しい資料にアクセスするには、iTunes.lds.orgで教会チャンネルの聖典セクションを訪れてください。■

標準聖典の音声版は現在の言語で iTunes.lds.org で利用できる。



感謝に満ちあふれる心

毎月機関誌が届くと最初に開く記事は決まって「末日聖徒の声」です。「あなたがたは天使でした」(『リアホナ』2010年12月号、38)という記事を読んだときもそうでした。霊的な強い力に感銘を受け、救い主の使命や主の名によって無私の奉仕をしている人々に対する感謝でいっぱいになりました。ハイジ・ウィンディッシュ・フェルナンデスがすばらしい経験を分かち合ってくれたことに深く感謝しています。

ラリー・D・クンプ
(アメリカ合衆国、ウェストバージニア州)

変化をもたらす『リアホナ』

『リアホナ』のメッセージは人として、父親、夫、指導者として、これまで常にわたしを支えてくれました。そして総大会号は我が家に特別な御霊みたまをもたらしてくれます。常にわたし自身と妻、息子たちそれぞれに専用の大会号を注文して、各自が好きなときにメッセージを読んで印を付けられるよう、また機関誌を手にするのに順番を待たなくてもよいようにしています。年末には機関誌をバインダーに納め、余分に注文したものはお休み会員や教会員ではない友人にプレゼントします。『リアホナ』はわたしたちの生活に変化をもたらしてくれることをあかしを証します。

ファビオ・アグレッティ・クーバー (ブラジル)

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org にお送りください。掲載されるお手紙は、文字量により、あるいは明瞭な表現めいりょうにするために編集されることがあります。■

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「独身会員としての奉仕」 12 ページ — パーデット姉妹の記事を読んだ後に、教会での奉仕から得られる祝福について話し合うのもよいでしょう。召しを果たしているときに得られた意義深い経験を分かち合うよう家族に促すのもよいでしょう。

「救い主が生きておられると知ることを得る平安と喜び」 18 ページ — 来年救い主のためにできることについて、家族一人一人に尋ねるのもよいでしょう。「主への贈り物」という見出しの下にある記事の最後の段落を読んでください。ネルソン長老はわたしたちが主にささげることができる最大の贈り物は何であると言っていますか。

「急ぎ行きて拜まずや」 42 ページ — レッソンの前に家族に最も当てはまるセクションを、祈りの気持ちで選んでください。羊飼についてのセクションを選んだ場合は、モンソン大管長の「促しを受けたら決して先延ばしをしない」という勧告を家族と分かち合い、この記

事の重要性について話し合うのもよいでしょう。幼い子供たちに要点を分かりやすく教えるために、耳もとで指示をささやき、それに従うよう励まします。



「ジョセフ兄弟をご紹介します」 58 ページ — ジョセフ・スミスの絵を示しながら、その記事にあるジョセフ・スミスに関する出来事の一覧を読むのもよいでしょう。家族が出来事を幾つ覚えられたかを知るために、レッスンの後でゲームをするのもよいでしょう。

「そういう言葉」 60 ページ — 家族でその記事を読んだ後、周りのだれかが下品な言葉を使ったとき何と言えばよいか話し合ってもよいでしょう。幼い子供たちになぜ出エジプト記第20章7節で主の名をみだりに唱えてはならないと戒められているか説明してもよいでしょう(教義と聖約 63:60 - 64 も参照)。■

改宗談と御霊みたまを分かち合う

ヤングアダルトワードに所属していたときのことで、家族のようなワードの会員と家庭の夕べを開きました。これまで参加した中で最も思い出深い家庭の夕べの一つは、ある夜、専任宣教師の管理の下で開かれた集会です。

長老たちはワードにいる改宗者を何人か招いて、改宗したときのことを話してもらいました。改宗談が幾つか語られている間、その場に御霊の存在が確かに感じられました。

改宗者の話が終わると、わたしの脳裏に専任

宣教師として、また生涯にわたる宣教師としての自身の経験がよみがえってきました。その後わたしは、福音を分かち合うに当たって自分が取った行動を毎日よく思い返し、翌週の行動に反映させるよう継続的に努めるようになりました。

後にワードの家庭の夕べを管理するよう召しを受けたとき、定期的に開く『改宗談の夕べ』の活動を継続していくことを決意し、ワードの様々な改宗者に参加してくれるよう頼みました。■

ジャンナ・マクファーソン (アメリカ合衆国、カリフォルニア州)

世の光

ジェフ・S・マッキントッシュ

デパートの紳士服売り場で数年間経験を積んできたわたしは、スーツに合ったワイシャツやネクタイを選ぶのがかなりうまくなりました。完璧な組み合わせをコーディネートする仕事にはやりがいがありましたし、たいいていの場合、お客様はわたしが提案した組み合わせに満足してくれました。

しかしスーツ売り場は蛍光灯、ワイシャツとネクタイ売り場は白熱灯という店舗があって、この二つの光源の違いは、なかなかの難題でした。

お客様が選んだ1、2着のスーツを持って、ワイシャツとネクタイの陳列棚に行き、うまく合いそうなものをわたしが選びます。ところがそれを持ってスーツ売り場に戻りスーツに合わせてみると、驚いたことに違う光源の下では色が「変わって」しまい、全然しっくりこないのです。

逆にスーツをワイシャツとネクタイ売り場に持って行って合わせてみるとうまく合います。しかしこのようにすると、お客様は混乱してしまう場合がよくありました。わたしたち店員が手にしたスーツが、自分で選んだものに見えないからです。蛍光灯の光の下で見たオリーブグリーン色のスーツは、白熱灯の光では灰色や暗灰色あるいは茶色に見えてしまいます。黒やチャコールグレーあるいは濃紺色のスーツも同じように色が変わって見えるのです。

そこでよくするのですが、お客様をドアの近くまでお連れして、組み合わせたものを日の光で見ると、問題は解決します。日の光で見るとた



光は
真実を見るのに
役立ち、
光を通して
さらにはっきりと
見ることが
できます。

ちどころに本来の色が分かるので、適切な選択ができるのです。

デパートを一步出た現実社会で、日々わたしたちは様々な選択に迫られます。時としてそのような選択は人の教えにより変色されてしまいます。また、この世の誘惑によって色がぼかされてしまうこともあります。目の前の選びが必ずしも正しいとは思えないかもしれませんし、何が本当で何がそうでないのか困惑することがあるかもしれません。真実を見極めるにはどうすればよいか迷うこともあるでしょう。

そうした問題を解決するには、御子の模範に倣い、その光を受けて、選ぶ対象に目を向ける必要があることをわたしは知りました。主は次のように約束しておられます。「わたしはまた、荒野であなたがたの光となろう。あなたがたがわたしの命令を守るならば、わたしはあなたがたの前に道を備えよう。……そして、あなたがたを導いているのがわたしであることを知るであろう。」(1ニーフай 17:13, 強調付加)

まことの光に従って選択しようと努めるならば、自分自身だけでなく家族にかかわることについても正しい選択ができるようになります。また、聖霊の導きに従って神に目を向けることによって、惑わされることもなく、善と悪を見分けることができるようになるのです(モロナイ7:16 参照)。

愛に満ちた救い主は、主に従うことを選ぶならばその光をわたしたちに分け与ると次のような言葉で約束しておられます。「神から出ているものは光である。光を受け、神のうちにいつもいる者は、さらに光を受ける。そして、その光はますます輝きを増してついには真昼となる。」(教義と聖約 50:24) ■



「マリヤの腕の中で」 サイモン・デューイ画

「見よ、わたしは、世の初めから人の子らに知らせてきたすべてのことを成就するため、また父と子の両方の思いを行うために、わたし自身の民のもとへ行く。わたし自身の

ゆえに父の御心^{みこころ}を行い、わたしの肉のゆえに子の思いを行う。見よ、時は近い。今夜、しるしが示されるであろう。」
(3 ニーファイ1:14)



「キリスト・イエスが生ける神の御子であられることを^{あかし}証します」と
十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は書いています。
「皆さんが主を愛して主の戒めを守るなら、主は皆さんを愛し、高く上げ、
皆さんに御自身を現されるでしょう（ヨハネ14：21 参照）。
実際、賢明な男女は今もなお主をあがめ続けているのです。」
「救い主が生きておられると知ることのできる平安と喜び」18 ページ参照